

〔表紙〕

天保十六年乙巳正月改

日記

正純

弘化二年乙巳

正月元日、晴、癸亥、

一今朝例年之通規式家内中相居り候事、

一氏神先祖江拝礼いたし候、以後毎日拝礼いたし候付日

々は不記候事、

一今日四ツ時出勤、御礼後退出より上方大目付以上并ニ

親類知人之方江夫々見舞、尤福昌寺

御正流様方御位牌殿且 (島津家久) 中納言様 (島津重豪) 榮翁様 (島津齊宣) 溪山様御

靈屋江拝礼、此方福昌寺・興国寺墓所并ニ延寿堂江参詣、帰り掛草牟田方迄礼廻いたし八ッ過帰家、供川烟源之助・山次左衛門・大迫貞太郎・前原貞次郎、其外行列籠・挟箱・合羽籠・長柄加籠為持候事、

一今日中内迄来儀之人、永山清兵衛殿・市來清十郎殿・小森新之丞殿・鎌田政十郎殿・同氏吉左衛門殿・島津主税殿・鎌田佳藤太殿・同直五郎殿・上村源七殿・志和地源兵衛殿・森川藤八郎殿・市來十左衛門殿ニ而候事、

正月二日、晴、甲子

昼時分少々雨、夕方より漸々降、

一今日四ツ時より為礼廻西田方・荒田方・新屋敷・加治屋町辺大目付以上親類知人之宅江見舞、尤 西田山王宮江参詣、左候而八ッ過比帰家、供角野喜左衛門・山次左衛門・川畑源之助・川口林之進ニ而候、其外行列昨日通ニ而候事、

一今日中内迄来儀之人、森川利右衛門殿・桂岩次郎殿・鎌田眞助殿・柏良清兵衛殿・柳休左衛門殿・東郷孫八

殿・鎌田權右衛門殿・鎌田曾兵衛殿・和田中太夫殿・
上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿・堀直四郎殿・有川藤左
衛門殿ニ而候事、

但半兵衛殿・喜平太殿は緩々被相咄、且桂内記殿・

相良清兵衛殿ニも暮時分より初咄ニ入来、尤甲子日

ニ付拙者年日并(鎌田正純女子)鼎年日祝いたし、吸物・酒肴一通

振舞、四ッ前比追々被帰候事、

一子日祭ニ家来山伏濱田本覺院參り酒等為飲候、且役人

休左衛門ニも招呼酒為飲候事、

一家来共江劍術打初為致候事、

正月三日、雨、乙丑五ッ時分より止、
後晴

一今日四ッ時早目出勤、諸士御祝義席詰并ニ御謠初江相

詰九ッ過相済、退出より為礼廻中ふくら辺大目付以上

親親且知人之宅江見舞、尤

南林寺江参拜、此方墓所、桂家祖父墓所等江参詣、夫

より千石ば、天神馬場・西田方迄諸々相廻り八ッ過

帰家、供角野喜左衛門・川畑源之助・大迫覺太郎・山
次左衛門、其外行列昨日通ニ而候事、

一今日内迄来儀之人、町田平八殿・毛利理右衛門殿・鎌

田源春殿ニ而候事、

正月四日、晴、丙寅、

一今日四ッ時早目出勤、八ッより帰家、供川畑源之助・

川口林之進ニ而候事、

一今日於數舞台御家老衆列座、菱刈安房殿より大番頭以

下諸御役人月次御礼罷出候面々迄、年号弘化と改元之

旨被仰渡候、尤去辰十二月十三日於江戸仰渡相成候旨

御通達をも承知いたし候事、

一今日内迄為祝義来儀之人、鎌田四郎右衛門殿・和田源

太兵衛殿ニ而候事、

一例年之通慶賀三頭祝之事、

一役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

正月五日、雨、丁卯、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供山次左衛門
・川口林之進ニ而候事、

一今日川上十郎左衛門師馬乗初吹聴昨日申来候へとも、
地頭所之者共参候故得不差越、肴一折遣候事、

一今日八ツ後地頭所日當山年寄最勝寺作右衛門・与頭最
勝寺宗之丞・地頭横目牧源左衛門・郡見舞竹下傳左衛
門参り、於書院盃一通為取、左候而於使者間取次、役
人亭主振ニ而吸物・酒肴一通振廻ニ而候事、

但拙者上下着用帯刀、取次相良清兵衛殿入来ニ而席
詰、尤取次并ニ給仕所役之者共都而上下着用帯刀為
致候事、

一毎之通兩種并ニ土産物差出候、且此内重出米人別老奴
出銀被成御免候御礼として、兩種料土産物差出候事、
一先度御儉約被仰出候ニ付而、地頭所之者共へ振舞沙汰
も格別相成候事、

正月六日、晴、戊辰、

一今朝相良清兵衛殿入来、日當山嘉例川村庄屋井上伊左
衛門年数筈合断申出、代り役兩人取調申出候旨承候付、
毎之通取計、筆頭之者江被仰付候様郡方へ可被申出旨
相達置候事、

一今日講堂別勤ニ付四ツ時より出席、四ツ後帰り掛伊集
院隼衛殿江年頭之祝義として玄喚迄参り帰家、供角野
喜左衛門・川畑源之助也、

一夕方役所江用頼相良清兵衛殿入来、内江被通候事、
一今日年頭之祝義として鎌田藤之丞殿・桂民右衛門殿内
迄入来ニ而候事、

正月七日、曇、己巳、

一一年内十二月廿九日御家老衆嶋津石見殿より与中之義ニ
付、同役嶋津權五郎・川上龍衛承知之趣有之、面々受
持与頭より小与頭江相達、小与中江不洩様為申渡候筈
ニ而今日拙者与小与頭惣人数五ツ時御用ニ而招呼、四

ツ時相揃候付口達を以委細相達、石見殿より御口達之
覚書付忝通相渡候事、

但申渡之大意、此比一統酒・焼酎等取はやし、就中年

若二才揚り之面々猥り之風俗相聞得不可然事ニ付、

向後屹と右様之風俗立直り候様ニとの趣ニ候事、

一書役東郷孫八入来、諸差引等いたし候事、

一前件ニ付今日は別勤ニ而出勤不致候事、

一今朝例年之通雑吸相居候事、

一今日年頭之祝義として桂真十郎殿・鎌田筑左衛門殿内

迄入来ニ而候事、

一今夕歌会相催大鐘時分より桂内記殿・森川孫八郎殿・

堀直四郎殿・長谷場越之助殿・宮里新助殿追々入来、

且和田中太夫殿ニも不計入来、酒肴并ニ雑吸一通振舞

八ツ時分ニ而も候半、皆々被帰候事、

一例年之通鬼追之式いたし候事、

一九ツ時分毛利理右衛門殿入来、八ツ時分迄相咄被帰候

也、

正月八日、晴、庚午、

一今日より演武館諸師家武芸初ニ付、四ツ時早目出席夫

々見分相濟九ツ前比帰家、供山次左衛門、川口林之

進ニ而候事、

一今日中年頭之祝義として鎌田愛太夫殿・上井甚七殿内

迄来儀ニ而候事、

一大鐘時分大河平小左衛門殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

正月九日、晴、辛未 夜中雷雨、

一今日は武芸別勤之筋ニ而出勤不致候事、

一今日論語会読式日ニ付、八ツ後より毛利理右衛門丈・

森川孫八郎殿・長谷場助七殿入来、尤今日より初方ニ

付、跡ニ而吸物一通挟肴ニ而盃いたし候、皆共上下着

用ニ而候、左候而七ツ後被帰候事、

一年頭之祝義として桂内記殿一刻入来ニ而候事、

一役所迄用頼相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一南村役人岩元助太夫其外、来ル十一日祝義として参候

届申出候事、

正月十日、雨、壬申 今朝迄雷鳴、

- 一 今日諸師家流義演武館初方付、四ツ時早日出席、夫々見分相濟九ツ前帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、
- 一九ツ後仁禮善左衛門殿一刻入来ニ而候也、
- 一 役所迄用頼相良清兵衛殿入来ニ而候事、

正月十一日、曇、癸酉 後晴、

- 一 今日四ツ時早日出勤、四ツ後頼合御殿ニ而犬追物初江出席、九ツ前相濟夫より直ニ帰家、供川畑源之助・山次左衛門ニ而候事、
- 一 今日菱刈孫兵衛殿当番頭より、拙者共同役江転役ニ而候事、

- 但外ニ当番頭以下之御役替七八人有之候事、
- 一 今日例年之通祝義ニ付、南村より役人岩元助太夫、年貫大明神社司永山近江家中相中、森田宗四郎、肥後平

左衛門、且玄朗寺住增出府ニ而候、且吉田・花棚中宿之家来川畑善助・脇田休左衛門・川畑伊兵次出府ニ而候事、

- 一 南村并ニ花棚村等より例年之通進物差出候事、
- 一 今八ツ後於書院例年之通規式饊之餅煮いたし、用頼相良清兵衛殿相伴右規式相濟引次、此方役人、南村役人其外江通り為飲候、終而玄朗寺住增江对面、茶并ニ茶受挾昆布一通ニ而盃いたし退座ニ而候事、

但是迄通り為飲候面々は無刀ニ而候へとも、当年より帯刀為致候事、

- 一 先日酒食沙汰之義ニ付、石見殿より承知与中江申渡候趣家来中へ為心得申聞被置候様、用頼清兵衛殿江相達、今日外家来迄も都而役所江招呼被相達候事、
- 一九ツ後奈良原助左衛門殿年頭祝義として入来ニ而候事
- 一 八ツ後野元源五左衛門殿咄ニ入来之由、取次を以承候へとも規式前ニ付相断候事、

一番所詰川口林之進代り永山彦太郎一昨九日參着候事、

正月十二日、晴、甲戌、

一今日和田源太兵衛流義演武館初方ニ付四ツ時早目出席
四ツ時見分相濟候付、夫より菱刈孫兵衛殿昨日同役被

蒙 仰之祝義として玄喚迄見舞、左候而南林寺墓所江

(鎌田正縁) 高穂院様・高章院様御忌日ニ付参詣、帰掛鎌田曾兵衛

殿江、仁禮善左衛門殿夏中唐物締之内意申置候処、被

仰付候由、右礼として門迄見舞帰家、供川畑源之助也、

一今朝森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

一九ツ後堀權四郎殿年頭之祝義とし而一刻入来ニ而候事

一七ツ前大河平小左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一七ツ時分鎌田圓窓殿年頭之祝義として一刻入来ニ而候

事、

一今日和田源太兵衛師宅剣術初ニ付七ツ後より出席、日

入時分帰家、供角野喜左衛門ニ而候、家来岩元助太夫

・川畑源之助・山次左衛門・森田宗四郎・肥後平左

衛門・川口林之進ニも出席いたし候、尤看一折差遣候

事、

一夕方上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一今晚岩元助太夫江緩々対面いたし、南村諸事之義共承、

猶又万端行届候様可取計旨申付置候事、

正月十三日、晴、乙亥 八ツ時分より雨、

一今日は演武館別勤之筋ニ而出勤不致候事、

一今朝森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

一四ツ前年頭之祝義として嶋津清太夫殿来儀ニ而候事、

一今日は川上式部殿宅江頼娃織部殿同道参り候様承、七

ツ前より織部殿江立寄同道いたし参り、外ニ両三人合

客有之、七ツ時分迄相咄帰家、供永山彦太郎、後山次

左左衛門ニ而候事、

一南村庄屋森田勘左衛門今日出府之届申出候、尤昨日之

祝義ニ出府之賦候へとも間違相成候断申出、左候而土

産物差出候事、

正月十四日、雨、丙子 四ツ後より曇、
間々降、

一今日演武館諸師家武芸初ニ付四ツ時早目出席、四ツ後夫々見分相済帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今日は子日ニ付伊敷別業江松引之趣向相催置候処、雨天ニ而見合居候へとも、八ツ前より漸々晴模様ニ而、

森川孫八郎殿・長谷場越之助殿・宮里新助殿打立被参ニ付同道いたし差越、跡より堀直四郎殿ニも被参、歌

読等ニ而夜入九ツ時分打立帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一南村より年頭祝義ニ出府いたし居候社司永山近江、其

外森田宗四郎・肥後平左衛門、且番所詰江参り居候川口林之進、今日暇申出相帰り候事、

一拙者留主ニ鎌田筑左衛門殿入来之由、相帰り承候事、

正月十五日、晴、丁丑夜四ツ時分より雨

一今朝例年之通小豆粥相居り候也、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後帰家、供川畑源之助・永山彦太郎ニ而候事、

一八ツ後和田中太夫殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ後小野甚五左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一南村役人岩元助太夫・庄屋森田勘左衛門、今日暇申出相帰り候事、

一大鐘時分より和田中太夫殿又々入来、跡より上村半兵衛殿ニ茂入来、酒肴一通振舞四ツ過比被帰候事、

正月十六日、晴、戊寅、

一今日四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇いたし、嶋津中

務殿同道ニ而、鎌倉流馬寄南林寺下ニ而有之、中務殿棧敷江参り、八ツ前未央も不相済候得共帰家、供山次

左衛門ニ而候事、

但此方馬ニも乗方ニ出し候事、

一例年之通講読として朝音院住増参り、家来濱田本覺院僧

亭主振ニ而例式通振廻いたし候也、

但用頼ニも亭主振之管候へとも、相良清兵衛殿病氣ニ付本覺院脱カ老人ニ而候事、

一留主ニ桂岩次郎殿入来、今日より彼方毛利氏入来之講
釈式日相初候旨被申置候へとも、ちと差支有之断申遣
候事、

一用頼相良清兵衛殿五六日病氣、其内用向上村半兵衛殿
江相頼置、今日も役所江入来、内江も一刻被参候事、

正月十七日、曇、己卯、

一今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而
候事、

一七ツ後より森川孫八郎殿・堀直四郎殿、孟子会読式日
ニ付入来ニ而候、尤今日より相初候へとも平服ニ而読
方いたし、左候而夜入迄被相咄、酒肴一通振舞、四ツ
時分被帰候事、

一暮前より鎌田權右衛門殿内江入来、且相良清兵衛殿ニ
も役所江被参、内江も入来、拙者ニは対面不致、御か
様御亭主振ニ而四ツ前被帰候事、

正月十八日、曇、庚辰、

一今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供永山彦太郎ニ而候
事、

一七ツ後より桂内記殿入来、夫より和田中太夫殿江申遣
入来ニ而、酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一今ばんは長谷場越之助殿宅へ歌会ニ参答候へとも、余
寒甚敷ちと疝癩氣ニ有之、筆題之分遣、断申遣候事、

正月十九日、晴、辛巳、

一今日は終日別相頼出勤不致候也、

一今日論語会読式日ニ付、八ツ後より毛利理右衛門丈・
森川孫八郎殿・長谷場助七殿入来、左候而大鐘過迄之
間追々被帰候事、

一今朝相良清兵衛殿一刻入来ニ而候也、

但日當山地頭横目松元萬兵衛断申出、且郡見廻竹下
傳左衛門・藪田喜太郎年数管合断申出候旨披露承候
付、萬兵衛義は願通差免、且喜太郎ニも同断差免、傳

左衛門義は勤続キ所役より申出候間其通被申候付、
喜太郎代り井上伊左衛門所役より申出之筆頭ニ付、
右江申付候筋被取計、萬兵衛代り役取調差出候様可
被申越旨相達置候事、

一 今夕役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

正月廿日、曇、壬午 夕方より雨、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而
候事、

一 今夕和田中太夫殿宅江参り候様承り、大鐘時分より桂
内記殿入来ニ付同道いたし参り、夜入四ツ時分帰家、
供山次左衛門ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿被参候、尤中太夫殿宅江も被
参候事、

一 地頭所日當山郡見廻竹下傳左衛門、年数管合勤続キ清
兵衛殿より被申出置候処、被仰付候由、今日御受礼と
して役所迄参り両種料差出候事、

一 和田氏江参候付加籠肴一折遣候事、

一 七ツ後中村仲右衛門殿、年頭祝義ニ一刻入来ニ而候事、

正月廿一日、曇、癸未 今朝雨、
間々降、後

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而
候事、

一 去ル十八日より昨廿日迄於福昌寺 (島津重豪)
大信院様御十三回

忌御法事御執行有之、右被為済候御機嫌うかゞひ今日
有之候事、

一 大鐘時分より飯牟禮八郎殿入来、無程相良清兵衛殿ニ
も入来、然処市來清十郎殿宅江参り候様被申越候付、
肴一折為相持断申遣置候処、暮時分市來十左衛門殿入

来、是非参り呉候様被申候付、八郎殿・清兵衛殿ニも
列立候而参り、外ニ桂内記殿、其外合客両三輩有之、

左候而九ツ時分ニ而も候半帰家、供川畑源之助ニ而候
事、

一 昨日伊敷別業杉差松植として花棚家来共参り候、尤今

日之賦候処間違ニ而昨日參候付、此方より誰も不參候也、

正月廿四日、曇、丙戌 暮前より雨、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

正月廿二日、晴、甲申、

一 今朝森山清藏殿一刻入来ニ而候事、

一 今日四ツ時早目出勤

一 七ツ時分森川孫八郎殿入来、暫相咄被帰候事、

(島津秀興)
大守様江戸御暇給り旧臘廿五日被為濟候旨、御到来之

一 暮過より市來十左衛門殿入来、酒肴一通振舞、四ツ前迄相咄被帰候事、

御祝義有之、御礼後頼合御暇いたし、上山寺無參和尚江年頭之祝義として門迄参り帰家、供川畑源之助ニ而候事、

正月廿五日、雨、丁亥 八ツ前より止、

一 七ツ後仁禮善左衛門殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

候事、

正月廿三日、曇、乙酉、

一 八ツ過小野甚五左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、
一大鐘過より森川孫八郎殿宅江歌会催ニ付参り、外ニ同門之人数六七輩集り候而晝七ツ過帰家、供永山彦太郎

一 今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

也、

一 七ツ時分小野甚五左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

正月廿六日、曇、戊子 間々雨、

一 今日四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇ニ而帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 諏訪直衛殿被致入来度旨此内承居候付、今夕大鐘時分

より被参候様案内いたし置候処、税所甚五左衛門殿同

道ニ而入来、且堀直四郎殿・森川孫八郎殿・桂若次郎

殿江亭主振相頼入来、茶菓子并ニ吸物一ツ・酒肴・飯

振舞四ツ前迄相咄被帰候、岩次郎殿は少跡被帰候事、

直衛殿事未若年年輩違ニは候得共、亡兄甚左衛門殿

江心易相交居候付被参度との事ニ候、尤肴一折被遣

且税所氏よりも同断被遣候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

正月廿七日、雨、己丑 間々雨、

一 今日終日別頼出勤不致候事、

一 今夕は孫子会読式日前ニ而候へとも、何れも差支ニ而

候事、

一 八ツ後和田中大夫殿一刻入来ニ而候也、

一 大鐘過より桂内記殿・同真十郎殿・和田中大夫殿追々入来、酒肴一通振廻、且役所江相良清兵衛殿被参居、

内江も入来候而四ツ時分皆々被帰候也、

一 地頭所日當山庄屋井上伊左衛門代り濱崎三左衛門江取

次より被申出置候処、被仰付候由、御受之礼として今

日役所迄参り兩種料并ニ土産物差出候事、

正月廿八日、曇、庚寅 追々晴、

一 今日茂終日別頼出勤不致候事、

一 今日永吉村花岡別業ニおひて、曾木權之介殿江和田

源太兵衛殿門弟中より殘別企有之、八ツ後より桂内記

殿入来ニ付同道いたし参り、左候而夜入四ツ前比帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

但相帰り居候処、曾木權之介殿入来、森川利右衛門

殿江参り候様遮而被誘ニ付無是非参り、四ツ半比ニ

而も候半帰家いたし候事、

一 九ツ後長谷場助七殿一刻入来ニ而候也、

一 八ツ前森川孫八郎殿明日より旅行之由、暇乞として一

刻入来ニ而候事、

一 今夕留主ニ上村半兵衛殿入来之由也、

正月廿九日、晴、辛卯、

一 今日迄は終日別相頼出勤不致候也、

一 今朝牧仁兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 今日論語会読式日ニ付、八ツ後より毛利理右衛門丈・

長谷場助七殿入来、左候而七ツ過比被帰候事、

一 七ツ後桂岩次郎殿一刻入来ニ而候、尤明日御用承知被

致候由、亡太七郎殿継目相統被仰付候而可有之、右ニ

付大鐘過より一刻参り、且差掛不如意之事ニ付、看代

として金式朱持参いたし候、左候而暮前帰家、供永山

彦太郎ニ而候事、

一 役所江相良清兵衛殿入来、拙者留主ニ内江茂一刻被参

候由ニ而候事、

一 暮過より和田源太兵衛殿・仁禮善左衛門殿入来、酒肴

一通振舞、四ツ時分迄相咄被帰候事、

二月朔日、曇、壬辰 間々雪あゆる、

一 今日より月番ニ而四ツ時出勤、八ツ後御下りより帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

但合月番菱刈孫兵衛殿ニ而候事、

一 出勤前桂岩次郎殿入来ニ付、今日御殿江御用ニ被罷出

候手引ニ同道いたし候事、

一 八ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江代参永山彦太郎江申

付候事、

二月二日、雪、癸巳、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御下りより帰家、供永山

彦太郎ニ而候事、

一 今晚五ツ前大河平小左衛門殿入来之段、取次より承候へとも、ちと疝癘氣ニ而相休居候間形行断申入候事、

候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

二月三日、晴、甲午、

二月六日、晴、丁酉、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御下りより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 今日四ツ時出勤、八ツ後御下りより帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一 七ツ過より桂内記殿入来、暮時分相良清兵衛殿ニ茂入来、酒肴一通振舞、四ツ時分被帰候也、

一 同役川上式部殿今日より湯治御暇ニ付、地頭所倉岡、拙者江被頼置候旨承り受合置候事、

二月四日、晴、乙未、

一 七ツ後より桂真十郎殿入来、夫より和田中大夫殿江申遣入来、且暮過より上村半兵衛殿・相良清兵衛殿入来、酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供永山彦太郎、後川畑源之助ニ而候事、

一 今朝役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

二月七日、曇、戊戌 間々雨、

一 夕方役所迄右同人入来ニ而候事、

一 今日四ツ時早目出勤八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ

二月五日、晴、丙申、

而候事、
一 月船様御忌日ニ付、興國寺墓所江代参永山彦太郎申付

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而

候事、

一役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被參候事、

一今日七ツ後孫子会読式日ニ而候へとも、暮時分堀直四郎殿一刻入来、来ル十日江相延具候様承ニ付其通相究置候事、

一市來中宿家来鳥丸助八と申者、下町江中宿いたし度由ニ而証文之願申出候付、如何可致哉と役人濱田休左衛門より披露承候付、願通証文差出候様相達候、右ニ付昨日兩種差出候事、

二月八日、晴、己亥、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御下りより帰家、供川畑源之助ニ而候也、

一来月方南村江差越考ニ而候間、今日御暇之願書日教廿日被成下度旨、御用人江相付差出置候事、

二月九日、曇、庚子、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供山次左衛門

ニ而候事、

一今八ツ後論語会読式日ニ而候得共、毛利氏差支ニ付取止候事、

一役所江八ツ後より上村半兵衛殿・相良清兵衛殿内用向相談として入来、上村氏は大鐘過被帰候由、相良氏は内江被參候、尤南村与頭神田榮右衛門勤方断申出候旨披露承候付、今一往相勤候様可被申付旨相達候、且横目川枝伊右衛門・栢楮掛永山恕兵衛ニも同断承、尤恕兵衛ニは年数筈合居、伊右衛門ニは及兩度断申出候付、願通差免可然旨相達置候事、

一池田仲太郎老昨夜病死之由吹聴承候付、官香一把為持悔として使川畑源之助差遣候事、

一今朝桂眞十郎殿入来、此方馬借用いたし谷山江被差越候事、

一七ツ後より桂内記殿入来、且清兵衛殿ニも被參、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候、桂眞十郎殿ニも馬返しとして被參候へとも暫ニ而被帰候事、

二月十日、晴、辛丑、

一 今日四ツ時出勤、八ツ後御下りより帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一 八ツ後桂岩次郎殿一刻入来ニ而候也、

一 七ツ後小野甚五左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一去ル七日孫子会読式日今日ニ延置、大鐘過より堀直四郎殿入来、左候而跡より酒肴一通振廻、四ツ前比迄相咄被帰候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 壽姫様御卒去ニ付
(島津重豪女子)

一 太守様御忌十日御服九十日被為受候ニ付、明十一日御

一 門方より月次御礼罷出候向々迄伺 御機嫌之御通達
央殿より嶋津要人取次ニ而今晩八ツ時分承知いたし候
間、即此方より同役中江上方、下方二通ニ相認早々廻
達いたし候、尤右ニ付今日より日数五日御停止、普請
は不苦候事、

二月十一日、曇、壬寅 後晴、ひかん入、

一 今日四ツ時出勤、四ツ半比頼合御暇ニ而帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 今日には伊敷別業江発足相企候而、九ツ前より桂内記殿・

一 穎娃織部殿・河野甚助殿入来ニ付同道いたし参り、跡より相良清兵衛殿・津留與右衛門殿追々被参、尤與右衛門殿江柿木続方相頼候、左候而夜入五ツ前打立帰家
供山次全左衛門ニ而候、跡より役人濱田休左衛門ニも

参り候事、

二月十二日、晴、癸卯、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御下りより、高章院様・高
(鎌田正昌)
穩院様御忌日ニ付、南林寺墓所へ参詣、七ツ時分帰家、
供川畑源之助ニ而候事、

一 去ル八日南村御暇、左之通差出置候処、昨日願通央殿より嶋津要人取次ニ而相下り、川上矢五太夫殿名代承り被呉候由、今日相受取候事、

一私事大始良之内南村江持切在有之、家来共召置候処、
此涯内用向之義共有之差越申度御座候間、日数廿日御
暇被成下度奉願候、是等之趣被仰上可被下儀奉願候、
以上、

二月八日

鎌田刑部(左總)

願之通御暇被下候、

二月八日

取次嶋津要人

一夕方役所江相良清兵衛殿・上村半兵衛殿入来、左候而
内江被參、酒肴一通振廻、四ツ時分被歸候也、

二月十三日、晴、甲辰、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供山次左衛門
ニ而候事、

一地頭所日當山郡見廻園田喜太郎代り、井上伊左衛門江
被仰付候様、取次相良清兵衛より被申出置候処、今日

被仰付、御受之礼として役所迄参り兩種料并ニ土産物

差出候事、

一役所迄相良清兵衛殿入来、内江も一刻被參候事、
一津留與右衛門殿江一昨日次木相頼候礼とし而肴一折差
遣候事、

二月十四日、雨、乙巳 後晴、間々降、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御下りより帰家、供永山
彦太郎ニ而候事、

一大根占郷士某古鎧一領払物之由ニ而年内より預置、祝
井杯江吟味為致之上、昨日金巻兩式朱ニ取入いたし候
也、

一祝井吉左衛門方へ相頼置候步行具足修復方、年内三領
出来、跡月三領出来、跡ニ拙者肴料壹領・步行具足五
領未出来無之候事、

一拙者疝癩氣ニ而松山三騰江申遣置、八ツ後見廻ニ而療
治相頼薬用いたし候事、

二月十五日、晴、丙午、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今朝五ツ前桂内記殿、御用談之義ニ付一刻入来ニ而候事、

一今朝五ツ半比相良清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一日常山地頭横目松元萬兵衛断跡代り齒田喜太郎・濱崎

清右衛門取調差出候旨、清兵衛殿より披露承ニ付、筆

頭之喜太郎江申付候様可被取計旨相達置候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一夕方山澤甚五右衛門殿入来之由、取次を以承候へとも、

不快ニ而伏入居候付相断候事、

二月十六日、晴、丁未、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御下りより帰家、供川畑

源之助ニ而候事、

一今日迄も疝癪氣不宜ニ付松山三騰へ申遣、七ツ後見廻

ニ治療相頼、尤御か様にも御癪氣ニ而御頼被成候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙夕方見廻候事、

一七ツ後鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候也、

一七ツ後より榎本九八郎殿入来、且夜入相良清兵衛殿ニも入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰、相良氏は少跡ニ被帰候也、

一去ル辰年御儉約向分而被 仰出候処、比日ニ至り最早心得違之向も相聞得候付、以来屹と 御趣意通相守候

様与中江可申渡旨、大目付衆頼母殿より川上矢五太夫承知ニ而、拙者支配小与頭人別召出、今日於松之間縁

申渡、頼母殿より被相渡候口達之覚書相渡候事、

二月十七日、晴、戊申、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一上巳ニ付御取締向 御趣意通被相行候様、当年は分而与中江可申渡旨、大目付衆久馬殿より拙者承知いたし、

書付を以、尤口達をも相添小与頭江申渡答候事、

一八ツ後相帰り候処、堀四郎左衛門殿・鎌田筑左衛門殿被参居七ツ後迄相咄被帰、四郎左衛門殿は少跡ニ被帰候事、

一大鐘時分より桂内記殿・和田中太夫殿・小野甚五左衛門殿・相良清兵衛殿追々入来、併拙者ニはちと不快ニ而対面いたさず、御か様御亭主振ニ而酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候也、

二月十八日、雨、己酉、

一今日は不快故雨天ニも有之候付、月番之義は桂内記殿江相頼出勤不致、星は別勤之筋ニ相頼候事、

一松山三騰江申遣置八ツ後見廻ニ而候也、

一堀直四郎殿夕方入来之由候得共、外迄ニ而対面いたさず候事、

二月十九日、雨、庚戌、

一今日迄は不快尤雨天ニも有之候故、合月番菱刈孫兵衛

殿江頼遣出勤不致候、星は別勤ニ頼遣候也、

一今日も松山三騰へ申遣置七ツ後見舞ニ而候、且山本蘇仙ニも夕方入来針いたし候也、

一役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

二月廿日、雨、辛亥、

一今日迄も寸切と無之、尤天氣も悪敷ニ付、合月番菱刈孫兵衛殿江頼遣候事、

一拙者未快方無之候付、医師朝稻三益江相替今朝頼遣候処、七ツ後見舞ニ付療治相頼候事、

但役人濱田休左衛門を以医師之義 (島津廣久) 大中様江御せん

いたゞき候処、朝稻三益相応との事候付、同人を以

朝稻方へ頼遣候事、

一山本蘇仙見廻鍼いたし候事、

一夕方相良清兵衛殿入来ニ而候事、

二月廿一日、雨、壬子、

一 今日も病氣ニ付出勤不致候也、

一 今朝相良清兵衛殿見廻ニ而候事、

一 夕方同人役所迄被参候事、

一 今朝書役東郷孫八江申遣参り候付、当月番之事候へと

も不快ニ付、今暫は得出勤不致候間宜様相頼候旨、合

月番菱刈孫兵衛殿へ申遣候、尤明後廿三日支配下惣見

分之義も同断相頼候旨申遣候事、

一 山本蘇仙参り鍼いたし候事、

二月廿二日、晴、癸丑、

一 今日も昨日同断出勤不致候也、

一 今朝も相良清兵衛殿見廻ニ而候、夕方役所迄被参候事、

一 朝稻三益江役人休左衛門を以申遣、八ッ後見廻ニ而候

也、

一 山本蘇仙見廻鍼いたし候事、

一 今晚上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

二月廿三日、雨、甲寅、

一 今日も昨日同断出勤不致候事、

一 今朝も相良清兵衛殿見廻、且夕方役所江も被参候事、

二月廿四日、曇、乙卯 間々雨、

一 今日も昨日同断出勤不致候、併病氣は漸々快候事、

一 朝稻三益江役人休左衛門を以申遣、夕方見廻ニ而候事、

一 山本蘇仙参り針いたし候事、

一 夕方和田中太夫殿一刻被見廻候也、

一 濱田本覺院参り候事、

一 夕方役所迄上村半兵衛殿・相良清兵衛殿被参候事、

一 今朝永山清兵衛殿見廻ニ而候事、

二月廿五日、晴、丙辰、

一 今日も昨日同断出勤不致、病氣は弥快方ニ而候事、

一 今朝相良清兵衛殿被見廻、夕方茂役所迄被参候事、

一 山本蘇仙参り針いたし候事、

一七ツ後桂内記殿一刻見廻ニ而候事、

二月廿六日、晴、丁巳、

一今日茂昨日同断出勤不致候也、

但病氣は日ニ増快候事、

一今朝も相良清兵衛殿被見廻、且夕方も同人被參候事、

一四ツ後島津清太夫殿被見廻候事、

一四ツ後桂岩次郎殿被見廻候事、

一和田源太兵衛殿より病氣尋として肴一折被遣候事、

一山本蘇仙見廻針いたし候事、

一朝稻三益殿へ役人休左衛門を以申遣置候処、門弟田山

正庵と申人見廻ニ而候事、

一南林寺墓所江角野喜左衛門代參申付候事、

二月廿七日、晴、戊午、

一今日も昨日同断出勤不致、病氣は倍快候付月代いたし

候、尤三益江尋之上すり候事、

但此節之病氣第一不廻其上疔癩氣ニ而可有之候、

三益殿見込ニ而候也、

一今朝も相良清兵衛殿被見廻、且夕方も役所迄被參候事、

一今朝森川利右衛門殿見廻ニ而候事、

一八ツ後より鎌田佳藤太殿入来、大鐘時分被帰候事、

一山本蘇仙見廻鍼いたし候事、

一相良清兵衛殿より病氣尋として肴一籠被遣候事、

一南村横目肥後軍兵衛用向ニ付參候由ニ而土産物差出候

且上巳ニ付而野菜も差出候事、

二月廿八日、晴、己未、

一山本蘇仙見廻鍼いたし候事、

一今日迄も養生いたし出勤は差扣候事、

一朝稻氏江役人休左衛門を以申遣置候処、門弟土橋恕心

と申人見廻ニ而候事、

一御馬乗家村平六殿江馬之義ニ付旁相頼事有之肴一折遣

候事、

二月廿九日、曇、庚申 間々雨、

一 今日も養生いたし、天気も悪敷候付出勤差扣候事、

一 今朝朝稻三益殿被見廻療治相頼候事、

一 今朝相良清兵衛殿被見廻候也、

一 八ツ後毛利理右衛門丈見廻ニ而七ツ過迄相咄被帰候、

尤論語会読式日ニ而候へとも、病氣故暫は相断置候也、

一 水引中宿未家鎌田爲兵衛殿七ツ前より入来、大鐘時分

被帰候、尤土産物等持参ニ而候也、

一 日當山地頭横目松元萬兵衛断跡代園田喜太郎江申付候

筋ニ而、大目付衆方、人柄差支無之取次より御用申越

被置候処、一昨日出府之届申出、今日七ツ後於書院申

渡血判見届候、尤取次清兵衛殿入来、差引被致候事、

但今日は御精進月之由候付、余日ニ血判為致候筋取

計被置候様、清兵衛殿江相達置候事、

(朱書)
「本文上村半兵衛殿御用人座江久敷被相動候付、誓詞之義清

兵衛殿より被相尋候処御精進月ニ而も差支無之、毎月十七日

迄 権現様御月ニ付差支候由承候間、以後為見合記置候事、」

一 右喜太郎御受礼兩種料并ニ土産物差出候事、

一 喜太郎江申付候書付左之通、

地頭横目
園田喜太郎

右之通申付候、

(録田正純)
二月刑部

二月晦日、曇、辛酉 夜入過より雨

一 今日は倍々快候付出勤いたし、八ツより帰家、供山次

左左衛門ニ而候事、

但四ツ時早目出勤掛調所笑左衛門殿一昨日江戸より

着之由候付、為祝義表玄喚迄見舞候、左候而出勤、

尤今日迄之月番ニ而首尾能相仕廻候事、

一 八ツ過木場八郎殿入来、七ツ過迄相咄被帰候也、

一 七ツ後山本蘇仙参り鍼いたし候也、

一 大鐘前より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、五時分

被帰候也、

一 穎娃織部殿家中川井田清右衛門より、病氣見廻として
看一折差出候也、

一家来川畑源之助昨日

御殿六組触役所江使ニ遣候を失念いたし、右ニ付不束
之取締有之段聞得候付、役人休左衛門を以相糺候処、
取違之旨厚断申出候付、向後吃と入念候様稠敷申付、
万端教訓いたし可置旨尚又相達置候事、

一 病中為尋此内より追々玄喚迄見廻之衆、堀直四郎殿・
和田源太兵衛殿・同二郎殿・上井甚七殿、其外ニも有
之候得共略候事、

三月朔日、雨、壬戌、

一 今日は講堂別勤ニ而候得共、余寒甚敷敷天氣ニ付、病後
堪兼候間、合詰菱刈孫兵衛殿へ助合頼遣候事、

一 山本蘇仙参り針いたし候事、

一 鎌田爲兵衛殿明日水引之様被帰候由、八ツ前暇乞ニ被
参暫相咄被帰候、尤飯振廻候事、

(鎌田殿近)
一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江永山彦太郎代参申付
候也、

一 役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、

一 上井甚七殿明日より田舎旅行之由、暇乞として被参候
由、取次角野喜左衛門を以承候事、

一 財部抱地家来川畑袈裟次郎用向ニ付参り候由、土産物
差出候也、

一 今日は於御対面所御条書弘為有之由候事、

三月二日、晴、癸亥、

一 今日四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇いたし、朝稻三益殿
宅江是迄療治方相頼候礼として参、乍序尚又療治方相
頼、左候而帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 相良清兵衛殿より上巳之祝ニ着一籠・魚形作物一ツ被
遣候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 足輕永田與左衛門琉球より相登候由、外迄参り候段取

次永山彦太郎を以承候事、

三月三日、晴、甲子、

一今日四ツ時早目出勤、御礼後頼合御殿ニ而帰家、供山次左衛門・角野喜左衛門ニ而候事、

一今日上巳節句祝義として内迄参り候人、相良清兵衛殿

・永山清兵衛殿・市來清十郎殿・同十左衛門殿・鎌田喜平太殿・同氏吉左衛門殿・東郷孫八殿・榊休左衛門殿・和田源太兵衛殿、足軽永田半次郎・恒吉喜作子共・鎌田權右衛門殿・上村源七殿ニ而候事、

一、二女雪初ひなニ付家内中如形祝ひいたし、七ツ時分より相招追々参り候人、桂内記殿・同眞十郎殿・和田中太夫殿・上村半兵衛殿・鎌田權右衛門殿・鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿、其外鳴津清太夫殿家内、桂内記殿子共ニ而候、左候而當時仰出通之振廻いたし候事、

但右之人数より銘々看等被遣候、有川藤左衛門殿江も申遣置候へとも不被参、看被遣候事、

一南林寺墓所江永山彦太郎代参申付候事、

三月四日、曇、乙丑 間々雨、夜中大降、

一今日は終日別勤相頼出勤不致候事、

一今日は歩行として九ツ過より上村半兵衛殿入来ニ付、同道いたし伊敷別業江参り、跡より相良清兵衛殿ニも被参、尤御か様、桂家御祖母様ニも被成御出候、左候而大鐘過帰家、上村氏・相良氏も此方へ被参、酒肴一通振廻、五ツ前被帰候事、

一相良氏は今朝も一刻被参候事、

一留主ニ家来濱田本覺院、昨日之子日祭として今日参候由承候事、

三月五日、曇、丙寅、

一今日は願娃織部殿宅ニおひて一番組中江御条書弘方いたし四ツ時より参り、鳴津久馬殿亭主、拙者列席ニ而北郷清左衛門相弘候、左候而四ツ半比帰家、供永山彦

太郎ニ而候、尤出掛森川利右衛門殿・桂内記殿へ拙者病氣之節見廻ニ預候礼として一刻ッ、参り候事、

一八ツ後鎌田愛太夫殿入来、飯振廻候而暫相咄被帰候事、

一七ツ後山本蘇仙参り針いたし候也、

一七ツ過鎌田藤次郎殿入来ニ而候也、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、

三月六日、晴、丁卯、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供山次左衛門

ニ而候事、

一森川利右衛門殿セ話ニ而攝州より御物御買下シ相成候

椿苗千五百本貰受候付、即今日川畑源之助才領申付、

南村之様遣、早速植付方仕廻右見届候而、源之助ニは

相帰り候様昨日清兵衛殿を以申付、尚又直ニも委細申

付遣候事、

一二女雪今日初誕生日ニ而、餅踏為致候、右ニ付家内中

心祝いたし候事、

一役所江相良清兵衛殿入来、家内中祝ニ付内江も被参候

様申候而夜入内江被参、役人休左衛門并ニ納殿川畑與

八ニも招呼酒為飲候、左候而五ツ半比相良氏被帰候事、

三月七日、雨、戊辰、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後夫より朝

稻三益殿江参り療治相頼左候而帰家、供角野喜左衛門

ニ而候事、

一出勤跡和田中太夫殿一刻入来之由也、

一今日は堀直四郎殿来会、孟子読式日ニ而候へとも未長

座等少大屈有之候付、右之形行を以断申遣候事、

一夕方堀直四郎殿一刻入来ニ而候事、

一役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一今晚山本蘇仙参鍼いたし候事、

一鉄炮師家種子嶋次郎右衛門殿嫡子初矢祝ニ付、明日八

ツ後より参呉候様被申越、併病後ニ付断申遣着一折差

遣候也、

三月八日、晴、己巳、

一 今日四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇ニ而帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一 今朝桂内記殿一刻入来ニ而候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 今晚山本蘇仙参り針いたし候也、

一 祝井吉左衛門殿へ此内鑑威方相頼置候付、尚又催促之為着一折差遣候、使山次左衛門ニ而候也、

三月九日、曇、庚午、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後相濟帰家、

供山次左衛門也、

一 今朝出勤前森川利右衛門殿一刻入来ニ而候事、

一去ル六日南村江楮苗植方才領として遣候川畑源之助、

今日相帰候届申出、直ニ招呼巨細之義共承候事、

一 今八ツ後毛利理右衛門丈入来之論語会読式日ニ而候へとも、未病後ニ付断申遣置候事、

三月十日、曇、辛未 後晴、

一 今日は終日別勤之筋頼遣出勤不致候事、

一 九ツ過より伊敷別業江参り諸植物等之下知いたし、大

鐘過帰家、供川畑源之助ニ而候事、

(鎌田正純字)
但鼎ニも跡より参り候事、

一 相帰候処桂内記殿・相良清兵衛殿被参居、酒肴一通振廻、相良氏は日入時分被帰、内記殿は四ツ前比被帰候也、

一 御か様御風邪氣ニ付松山三騰へ申遣置候処、拙者留主

ニ参候由也、

三月十一日、晴、壬申、

一 今日は四ツ時出勤、八ツより帰家、供永山彦太郎ニ而

候事、

一 今朝相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 此方乘馬歳九ツニ相成、其上足之病等有之候付、恒吉生立之青馬、伊作より引越候由ニ而、西田居住之者先

日引來候付、御殿は勿論夫々江も吟味いたし候処、可然との事候間今朝引替ニいたし候事、

但引來候馬、七両之馬代ニ而此方馬三両老部ニ貫受候事、

一此節より馬役老人申付取始抹為致候者可然哉と清兵衛殿より承候付、随分其通可然候間、角野喜左衛門へ被申付候様相達置候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入來ニ而候事、

一七ツ後山本蘇仙參り鍼いたし候事、

三月十二日、晴、癸酉、

一今日は終日別頼遣出勤不致候也、

一今朝四ツ前小野甚五左衛門殿入來ニ而候也、

一今日高章院様・高穩院様御忌日ニ付、(鎌田正雄)南林寺墓所江代

參山次左衛門へ申付候也、

一今日高出米綱相濟候事、

一來國次刀・信國脇差鞘塗直し方此内相頼置今日出來候

事、

三月十三日、晴、甲戌 後曇、

一今日(島津齊興)太守様御着城ニ付、五ツ半時より出殿、四ツ後

御城下江罷出、九ツ過 御光着被遊候、左候而八ツより歸家、供川畑源之助ニ而候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入來、内江茂一刻被參候事、

三月十四日、曇、乙亥 間々雨、

一今日は高田猛八郎弓術大番頭方与方見分ニ付、四ツ前

より演武館之様出役四ツ後相濟、夫より朝稻三益江未拙者寸切と無之候付、療治相頼含ニ而參り候処留主故、

夫より碓山將曹殿昨日御供ニ而着ニ付、祝義として表

玄喚迄見廻歸家、供山次左衛門ニ而候事、

一太守様今日錦崎江被為入、夫より玉里御茶屋江被為入

御滞在之筈候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入來ニ而候也、

三月十五日、雨、丙子 三尺位洪水
ニ而候

一今日は頼遣候而出勤不致候也、

一郡奉行見習永田新八郎殿大始良方受込ニ付、南村之義も万端セ話相頼候旨、此内森川利右衛門殿を以相頼候処受合ニ付、今夕緩々相招大鐘比より利右衛門殿同道ニ而入来、尤相良清兵衛殿ニも被参、吸物・酒肴・茶

つけ一通振廻、左候而四ッ過比迄相咄被帰候事、

一小野甚五左衛門殿入来之由、取次を以承候へとも前件ニ付相断候事、

一家来志々目金次郎、一昨日御供立伊集院織衛殿江相付江戸より着之由、今日外迄参り候届承候也、

三月十六日、曇、丁丑 間々雨、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候也、

一今日四ッ時出勤、八ッより帰家、供永山彦太郎ニ而候也、

一八ッ後飯牟禮八郎殿一刻入来ニ而候也、

一永田新八郎殿昨夕入来候ニ付肴一折被遣候付、礼として使川畑源之助差遣候事、

一夕方より和田中太夫殿入来、且相良清兵衛殿役所江被参居、内江も入来、酒肴一通振廻、四ッ時分被帰候事、

三月十七日、雨、戊寅 雷鳴、

一今日は講堂別勤之賦候へとも、足江ちときうの痛有之、雨天ニ而候故合詰菱刈孫兵衛殿へ頼遣候、然処試業ニ而今日は講釈無之由、孫兵衛殿ニは 御殿之様被出候付、拙者ニは別勤之筋取計可呉旨返答承候事、

一鳴津主計殿今日 御城代被仰付、御勝手方掛・琉球掛、其外諸掛是迄之通ニ而、御役料高千五百石被下置、左候而以来豊後と改名御差支無之、勝手次第可致旨被仰付候段吹聴有之候、併拙者事きう之痛ニ而出勤も不致候付、得不参即兩種為持、使川畑源之助差遣候事、

一幕時分より上村半兵衛殿入来、且役所へ相良清兵衛殿被参居、是も内江被参、酒肴一通振廻、四ッ時分被帰

候也、

三月十八日、晴、己卯、

一今日は町田佐平次流義馬術大番頭我々見分ニ付、演武館之様四ツ時出役、九ツ前相濟夫より鳴津主計殿江昨日之為祝義参り候処、主計殿ニは留主、奥方ニは仕廻掛之段承候付納殿江口上申置、夫より朝稻三益殿江参り、未寸切と迄無之候付療治相頼、左候而帰家、供川畑源之助ニ而候也、

一永田新八郎殿先夕被参候礼として今朝玄喚迄被見廻候事、

一七ツ時分湯地甚之丞殿先日御供ニ而着之由一刻入来ニ而候事、

一七ツ後中山才之丞殿一刻入来ニ而候事、

一大鐘前より桂内記殿・小野甚五左衛門殿・山澤甚五右衛門殿・和田中大夫殿追々入来ニ付酒肴一通振舞、四

ッ過比被帰候也、

一役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一興国寺墓所へ山次左衛門代参申付候也、

一大中様江官香五把、役人濱田休左衛門へ為持奉寄進候

処、御菓子頂戴いたし候事、

三月十九日、晴、庚辰、

一今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一八ツ後論語会読式日ニ而、毛利理右衛門丈・長谷場助

七殿入来、大鐘前迄之間追々被帰候事、

一八ツより相帰候処、堀四郎左衛門殿被参居、七ツ過被

帰候也、

一七ツ時分小野甚五左衛門殿一刻入来也、

一七ツ後鎌田藤次郎殿一刻入来也、

一日當山与頭御着城御祝義として役所迄鶴丸宅右衛門参り、兩種料并ニ土産物差出候事、

一家来濱田本覺院参り候事、

一大坂より御物御買下し相成候椿苗千四百本、森川利右衛門殿セ話ニ而今日在番所より申受相受取候事、
一役所へ八ツ後より相良清兵衛殿入来ニ而候事、

三月廿日、晴、辛巳、

一今日四ツ時出勤、八ツ星別ニ而、四ツ後演武館梅田九左衛門・東次郎左衛門・伊集院嘉母殿流義不時見分として、義岡藏人殿同道出席いたし、左候而九ツ前帰家、
供山次左衛門也、

但伊集院嘉母殿流義は出席人無之候事、

一今朝大山小藤次殿一刻入来ニ而候也、

一此内同役川上式部殿地頭所倉岡式部殿湯治留主拙者預り居候処、右礼として与頭關兵左衛門役所迄参り、半切二折差出候事、

但式部殿江於 御殿ニ右之礼申述置候事、

一森川利右衛門殿へ昨日椿苗セ話いたし被呉候礼ニ使角野喜左衛門遣候也、

一番所詰永山彦太郎代り、川村次右衛門出府之届、且椿掛財津彦左衛門、椿上納ニ出府之届申出、兩人共土産物差出候也、

一左陸奥守之大脇差拵方いたし今日出来候事、

一高橋新十郎殿先日江戸より着之由玄喚迄見廻ニ而、取次川畑源之助也、

三月廿一日、晴、壬午、

一今日は終日別相頼置出勤不致候也、

一(島津齊興)太守様今日より郡山・入來御差入ニ而高岡辺諸々被遊

御光越、福山・國分辺、(富)重留表より御乗舟磯御茶屋江

被為入、夫より御帰殿之筈候事、

一家来志々目金次郎より先日江戸より着之土産物差出候事、

一濱田休左衛門昨日より産穢之届申出候事、

但穢差免之旨相良清兵衛殿江相達置今日より出候事
一四ツ後より鳴津清太夫殿江一刻参り、夫より伊敷別業

江差越一昨日申受候椿苗百本植付方いたし、其外諸下
知等相加へ左候而日入前比歸家、供山次左衛門ニ而
候事、

一役所迄相良清兵衛殿夕方入来ニ而候也、

一湯地甚之丞殿より江戸より着之土産として品々被遣候
事、

一土持孫兵衛殿先日江戸より着之由玄喚迄被見廻、取次
角野喜左衛門也、

一永山彦太郎今日暇ニ而相返候付紙包為取候事、

三月廿二日、曇、癸未 間々雨、
夜入大雨、

一今日四ツ前出勤、八ツより歸家、供川畑源之助ニ而候
事、

一湯地甚之丞殿江昨日土産物被送候礼として肴一折差遣
候、使角野喜左衛門ニ而候事、

一山本蘇仙江此内長々鍼相頼候礼ニ肴一籠遣候、使川畑
與八也、

一役人濱田休左衛門初而女子出生之由候付、歛ニ肴一籠
遣候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被參候事、

三月廿三日、曇、甲申、

一今日は田代新右衛門流義長刀大番頭我々見分ニ付、四
ツ時より演武館江出席、九ツ前相濟歸家、供山次左
衛門ニ而候事、

一今朝桂岩次郎殿一刻入来ニ而候也、

一足輕永田與左衛門より此内琉球登之土産物差出候事、

一七ツ後より和田中太夫殿・長谷場越之助殿入来、少跡
より堀直四郎殿入来、左候而酒肴一通振廻、四ツ時分
被帰候也、

一大鐘比桂内記殿一刻入来ニ而候也、

一役所迄相良清兵衛殿夕方入来也、

一八ツ後和田源太兵衛殿一刻入来ニ而候也、

三月廿四日、晴、乙酉、

一 今日四ツ前より出勤、九ツ過頼合御暇いたし 南林寺江参拜、夫より此方墓所江参り八ツ時分帰家、供角野喜左衛門ニ而候也、

一 南村庄屋森田勘左衛門、御物方御用ニ付出府之由にて土産物差出候事、

一 明廿五日萩原天神御連歌発句前之由、一昨日浄光明寺より申来候付、今日出来同所江為持遣置候事、

一 濱田本覺院看経ニ参り候事、

一 七ツ後毛利貞太郎殿一刻入来ニ而候事、

一 今夕頼娃織部殿宅江相良清兵衛相誘参候様承、七ツ後

より清兵衛殿入来ニ付同道いたし参り、外ニ諏訪直江殿杯段々逢客有之、左候而四ツ時分帰家、供山次左左衛門、後川畑源之助ニ而候事、

一 御か様御針ニ山本蘇仙参り候也、

一 朝稻三益殿江此内より療治相頼候礼として肴一折遣候使山次左左衛門也、

三月廿五日、晴、丙戌、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供川村次右衛門ニ而候事、

一 萩原天神御連歌発句前ニ付重之内差出候、才領川畑源之助也、

一 今日唐湊川井田清左衛門別業借受、同役中五六輩ぶた殺し企有之九ツ過より出張、左候而夜入五ツ時分帰家、供川村次右衛門ニ而候事、

一 留主ニ嶋津主税殿入来之由候也、

一 御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

三月廿六日、晴、丁亥、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 留主ニ鎌田甚助殿入来之由候事、

一 大鐘前より鎌田喜平太殿・同氏吉左衛門殿入来、且家村平吉殿江きう治相頼置候処、日入時分入来ニ付相頼、

左候而酒肴・吸物一通振廻、役所へ相良清兵衛殿被參居、是も内江入来候而四ツ時分何れも被帰、家村氏は少早日被帰候事、

一野村喜八郎殿近日京都江出立之由、緩々(緩)殘別之舍候へ

とも最早無余日相成候付、煙草二斤・肴一折相送候、

且田中源五左衛門殿江調文品相頼候付、此内も鎧威糸

調文等相頼旁セ話ニ預り候故、蠟燭四拾挺喜八郎殿江

相頼差登セ遣候事、

一堀金次郎殿先日御供ニ而着ニ付玄喚迄被見廻候、取次

川畑源之助也、

三月廿七日、晴、戊子、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ前出掛、上山寺無參和尚此内

妙国寺江転住被蒙 仰候為祝義參り夫より出席、四ツ

後夫より嶋津石見殿明後廿九日江戸江出立之筈ニ付為

暇乞玄喚迄參り、左候而堀四郎左衛門殿宅江一刻參り

帰掛嶋津内藏殿実父石見殿江相付被登候付、暇乞とし

て玄喚迄參り九ツ過帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一大鐘前より桂内記殿入来、且役所江上村半兵衛殿・相

良清兵衛殿被參居候而是も内江被參、酒肴一通振廻、

四ツ時分被帰候也、

一大鐘時分野村喜八郎殿、明後日京都江出立之由ニ而暇

乞ニ一刻入来ニ而候事、

三月廿八日、晴、己丑、

一今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而

候事、

一此内永田新八郎殿江南村之義ニ付、諸下知相頼今日よ

り彼表旅行之由ニ付煙草一包差遣候而、猶又万端今朝

相良清兵衛殿差越被相頼候事、

一下町中宿末川久馬殿家来荒卷嘉右衛門と申者、此内よ

り南垂蠟支配等いたし候者ニ而、対顔いたし度旨先日

より承り居候付、今日八ツ後召呼挟着一通ニ而盃いた

し候、尤拙者平服ニ而対面いたし候事、

但兩種差出候付、於役所吸物一通披キ為取候事、

一右ニ付相良清兵衛殿入来、差引被致候也、

一今晚市來十左衛門殿入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被

歸候事、

三月廿九日、曇、壬寅、^(庚)

一今日は終日別相頼出勤不致候也、

一八ツ後家村平吉殿入来、きう治相頼候事、

一八ツ過東郷孫八殿一刻入来ニ而候也、

一明日より天氣次第南村江差越候筈ニ而、今日明日差越

之御届東郷孫八江相頼申出置候、尤昨日同役中江も頼

合置候事、

一八ツ後より相良清兵衛殿入来、旁セ話被致候事、

一七ツ時分より諏訪直衛殿・税所甚五左衛門殿・毛利理

右衛門殿・堀直四郎殿追々入来、日入前迄之間追々被

歸候事、

一今日は論語会読式日ニ而候へとも色々取込ニ付、毛利

氏江断置候事、

一日入時分和田中大夫殿一刻入来ニ而候也、

一幕過和田源太兵衛殿一刻入来ニ而候也、

一幕過上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、五ツ過被歸候

也、

一明日より南村江差越候ニ付而、森川利右衛門殿江役人

濱田休左衛門差遣、留主中之義、心添相頼置候事、

一地頭所并ニ支配下之義頼娃織部殿江相頼置候事、

四月朔日、曇、癸卯、^(辛)後晴、
立夏、

一今日より愈南村江差越候ニ而、朝六ツ半比より堀直四

郎殿・相良清兵衛殿追々入来ニ付同道いたし、五ツ時

分打立、有川藤左衛門殿へ一刻立寄、夫より下町居住

二階堂左門殿家中石澤直左衛門と申者之所へ立宿いた

し、五ツ半比木綿織屋下より丸木舟ニ而出帆いたし候、

浜端迄之供角野喜左衛門、且役人濱田休左衛門ニも送

ニ出候、先迄之供川畑源之助・山次左衛門ニ而候事、

但拙者服も、引・野羽織ニ而候事、

一是より先道行并ニ南村滞在中、相帰迄之間別冊ニ記候
故十日迄之間爰ニ略ス、

(朔日より十日迄は本巻699—703頁に掲載ス、)

四月十日、晴、庚子、

一今朝五ツ過比南村打立、垂水町手前川尻より丸木舟ニ
而出帆、日入時分下町下江着候付、おきのがんぎ江暫
見合、暮時分陸江上り五ツ前比帰家、堀直四郎殿・相
良清兵衛殿ニも此方迄被參、吸物・酒肴・飯一通振廻、
暫候而被帰候也、

但今朝五ツ過打立新城浦ニ而弁当仕ひ七ツ時分垂水
川尻迄參り着、夫より出帆日入時分下町がんぎ江着
候事、

四月十一日、晴、辛丑、

一今日未御暇内ニ付出勤不致候也、

一九ツ過より相良清兵衛殿入来、夫より役所江被參、暮

過上村半兵衛殿入来、相良氏ニも内江被參、酒肴一通
振舞候而、五ツ半比被帰候事、

一大鐘時分堀直四郎殿一刻入来也、

一今日南村より帰り之荷物舟相届、川村次右衛門才領ニ
而相帰候事、

一森川利右衛門殿江土産物差遣候也、

四月十二日、晴、壬寅、

一先日より南村江荒卷嘉右衛門參り居、昨日荷物舟より
相帰候由、今朝肴一折外迄持參ニ而候事、

一今日茂昨日同断出勤不致候事、

一桂内記殿・同氏岩次郎殿・額娃織部殿・嶋津清太夫殿
・上村半兵衛殿・和田源太兵衛殿江銘々土産物差遣候、
且留主ニ罷居候者共江何れも土産物為取候事、

一七ツ時分より桂眞十郎殿入来、夫より和田中太夫殿・

同氏源太兵衛殿・仁禮善左衛門殿追々入来、且役所江

相良清兵衛殿被参居内江も被参、酒肴一通振舞、四ツ時分迄之間追々被帰候事、
(鎌田正昌)
(鎌田正峰)
 一高章院様・高穂院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参川畑源之助江申付候事、

四月十三日、晴、癸卯、

- 一今日も昨日同断出勤不致候事、
- 一四ツ後毛利理右衛門殿一刻入来ニ而候也、
- 一四ツ前桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、
- 一毛利理右衛門殿江土産物差遣候事、
- 一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、
- 一福昌寺墓所江山次左衛門代参申付候事、

四月十四日、晴、甲辰、

- 一今日茂昨日同断出勤不致候也、
- 一今朝東郷孫八殿江申遣入来ニ付、先日相帰候へとも来ル廿日迄之御暇、其迄ちと種物いたし候付暫は得出勤

不致候付、其段同役月番江申達被具候様相頼候、尤今日弁当差出候間是以都合宜相頼置候事、
 一今朝小森八左衛門殿一刻入来ニ而候事、
 一七ツ後有川藤左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、
 一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

四月十五日、晴、乙巳 間々雨、

- 一今日茂昨日同断出勤不致候事、
- 一今朝相良清兵衛殿入来ニ而候、尤拙者同日より南村江頼越之御届ニ而、来ル廿日迄之御暇内ニ候間、今日より出勤不致残り日数差上、御礼御届親類桂内記殿名前ニ而可被申出旨承候付、其通可然返答申達置候事、
- 一今日は拙者誕生日ニ而山王宮江川畑與八上下着用ニ而代参申付候、尤拙者ニ茂上下着用、床より拝礼いたし置候也、
- 一右ニ付家内中之祝いたし、八ツ後より桂真十郎殿入来、夫より和田中太夫殿・桂内記殿・東郷孫八殿・上村半

兵衛殿・相良清兵衛殿・堀直四郎殿追々入来、吸物・

酒肴一通振舞、四ツ時分迄之間追々被帰候事、

四月十六日、曇、丙午、月食皆既、夕方より雨、

一 今日茂昨日同断出勤不致候事、

一 仁雄院様御正忌日ニ付、南林寺墓所江代参山次左衛門上下着用ニ而申付候、尤拙者上下着用、位牌殿江拜

礼いたし候事、

一 川畑源之助私用ニ而暇申出、昨八ツ後より吉野村之様

差越今日相帰り候事、

一 八ツ後毛利理右衛門丈一刻入来ニ而候事、

四月十七日、晴、丁未、

一 今日も昨日同断出勤不致候也、

一 今朝森川利右衛門殿一刻入来也、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被参候事、

一 暮時分より中山才之丞殿入来、四ツ時分迄相咄被帰候

事、

一 七ツ時分小野甚五左衛門殿入来、大鐘比迄相咄被帰候

事、

一 八ツ後鎌田喜平太殿入来、七ツ時分迄相咄被帰候事、

四月十八日、雨、戊申、夕方少々洪水、

一 今日も昨日同断出勤不致候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

四月十九日、曇、己酉、

一 今日も昨日同断出勤不致候事、

一 今日論語会読式日ニ而、八ツ後より毛利理右衛門丈・

長谷場助七殿入来、左候而七ツ後被帰候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

四月廿日、曇、庚戌、四ツ後より雨、

一 今日も昨日同断出勤不致候事、

但今日迄之御暇ニ而候事、

一大鐘前より和田中太夫殿入来、夫より相良清兵衛殿ニも入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一今朝も相良氏は一刻入来ニ而候也、

一今ばん御か様御鍼ニ山本蘇仙参り候事、

四月廿一日、曇、辛亥 後晴、

一今日は吉野御馬追有之候事、

一昨日迄之御暇日数ニ而今日四ツ前より出勤、御用人伊

勢雅樂殿江御礼御届申出候、左候而八ツ後退出より鳴

津頼母殿宅へ可参との事ニ而、桂内記殿・鳴津求馬殿

同道ニ而参り、外ニ段々逢客も有之、夜入五ツ時分帰

家、供山次左衛門、後角野喜左衛門、夜入川畑源之

助ニ而候事、

一山次左衛門・川村次右衛門御馬追ニ差越度由ニ而、

暇申出候間為取候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一頼母殿所江肴一折差遣候事、

一今晚御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

四月廿二日、晴、壬子、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川村次右衛門ニ而候事、

一七ツ時分御か様鼎御列被成

(島津黄久)
大中様并ニ南林寺墓所江御参詣被成候事、

四月廿三日、雨、癸丑、

一今日はい十院半五右衛門流義弓大番頭我々見分ニ付、

四ツ前より演武館江出席、四ツ後相濟夫より桂内記殿

宅江一刻参り帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一七ツ後より桂内記殿入来、左候而桂岩次郎殿宅之様、

御か様ニ茂御同道ニ而内用向ニ付被成御出、大鐘過又

々此方へ入来、且役所江相良清兵衛殿ニも被参居、是

も内江入来ニ而酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

四月廿四日、晴、甲寅、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門、

後山次左衛門ニ而候事、

一八ツ後より役所江相良清兵衛殿入来、内江茂被参候事、

一七ツ後田代宗之丞殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘時分より中山才之丞殿入来、暮時分迄相咄被帰候

事、

一家来濱田本覺院看経日ニ付参り候事、

四月廿五日、晴、乙卯、

一今日は終日別勤相頼置出勤不致候事、

一八ツ後家村平吉殿入来、御か様御きう御頼被成候事、

一七ツ前より小野甚五左衛門殿入来、大鐘前迄相咄被帰

候事、

一七ツ後より役所江相良清兵衛殿入来ニ而候事、

四月廿六日、晴、丙辰、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川村次右衛門

ニ而候事、

一今朝相良清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一夕方同人役所江入来、内江も一刻被参候事、

四月廿七日、晴、丁巳、

一今日は終日別相頼出勤不致候也、

一今日はい十院妙円寺参詣相企、朝六ツ半比より五前迄

之間、有川藤左衛門殿・中山才之丞殿・相良清兵衛殿

入来ニ付、堀直四郎殿待合居候へとも遅刻ニ及候付、

四ツ前より右之人数同道ニ而打立発足、千眼寺下ニ而

毛利理右衛門殿江行逢不図相誘参り、左候而水上海道

二里塚手前ニ而直四郎殿被追付、夫より妙円寺之様参

詣、帰り掛い十院町江立宿いたし相休ミ、七ツ半比打

立夜入五ツ時分帰家、供山次左衛門、小者老人召列

候事、

一家内江不人有之、留主ニ前田圓齋見廻之由相帰り承候

事、

四日廿八日、晴、戊午 暮前より雨

一 今日四ツ前より出勤、

(島津齊興)
太守様月次御礼被遊御受候付、御目見いたし御礼後頼

合御暇ニ而帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 今朝役所迄相良清兵衛殿入来也、

一 七ツ後より鎌田佳藤太殿入来、夫より和田中太夫殿・

上村半兵衛殿追々入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰

候、鎌田氏は少早日被帰候也、

一 南林寺墓所江代参、(鎌田正芳) 泰光院様御正忌日ニ付角野喜左衛

門へ申付候也、

但御正忌日ニ付上下着用ニ而代参申付管候処、不計

失念いたし候故平服ニ而申付候事、

一 八ツ前和田源太兵衛殿一刻入来ニ而候也、

四月廿九日、雨、己未、

一 今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供山次左衛門
ニ而候事、

一 八ツ後より論語会読式日ニ付、毛利理右衛門丈・飯牟
禮八郎殿・長谷場助七殿入来、左候而七ツ半比迄之間
追々被帰候事、

一 大鐘比より桂内記殿入来、且役所江相良清兵衛殿被参
内江も入来ニ而酒肴一通振、(狸脱カ) 五ツ過比被帰候事、

四月晦日、曇、庚申 後雨、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ前より出席、四ツ後帰家、供
角野喜左衛門也、

一 七ツ後小森八左衛門殿一刻入来ニ而候、尤今日御作事
奉行格ニ而勤方は迄之通被仰付候由、右礼ニ而候也、

一 八左衛門殿転役ニ付参呉候様承り、八ツ後より相良清
兵衛殿ニも被参、且七ツ過より飯牟禮八郎殿ニも相誘

被参候付、夫より兩人共同道いたし参り候而夜入四ツ
時分帰家、供川村次右衛門、後山次左衛門ニ而候事、

但肴一折為祝差遣候事、

一七ツ後山口矢四郎殿一刻入来ニ而候事、

五月朔日、雨、辛酉、

一今日は不快ニ而出勤不致候事、

一今朝永山清兵衛殿・相良清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ前鎌田藤之助殿一刻入来ニ而候也、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江川畑源之助代参申付

候也、

五月二日、曇、壬戌、五ツ時分より雨、入梅

一今日も昨日同断出勤不致候也、

一御か様ちと御風邪氣、(鎌田正純女子)鼎・雪ニもちと風邪氣ニ而医師

松山三騰江申遣置七ツ時分見廻ニ而候事、

但酒肴一通振廻候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被參候事、

一暮前堀直四郎殿入来、暮過迄相咄被帰候事、

五月三日、晴、癸亥、

一今日は四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川村次右衛門ニ而候事、

一八ツ後堀四郎左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一八ツ過森川孫八郎殿、昨日旅行より被帰候由ニ而入来、

四郎左衛門殿少跡ニ被帰候事、

一祖々父正方様御代、堀甚左衛門殿江被遣置候左在銘之

短刀、此内四郎左衛門殿より可被相返様子承候付、今

度相談ニ預申候処被相返候間、右代として嶋田義助在

銘之拵短刀差遣、此方証文、彼方受取左之通、

証文

脇差 一腰 嶋田義助在銘

但拵在之

右は此節左在銘之短刀被返下候付、右替りとして

永々差出申候、為後証如此御座候、以上、

弘化二年巳

五月二日

(鎌田正純)
刑部

四郎左衛門様

請取

御脇差 一腰 島田義助
在銘

但拵在之

右左在銘之短刀此節御返申上候、右替りとして永

々被下難有拜受仕候、為後証如此御座候、以上、

弘化二年

巳五月三日

堀四郎左衛門印

刑部様

五月四日、晴、甲子、

一 今日四ツ前より出勤、八ツ星別ニ而四ツ後菱刈孫兵衛

殿同道、演武館武芸不時見分として差越、梅田九左衛

門・大角太郎・有川彦左衛門流義見分いたし四ツ半

比歸家、供川畑源之助ニ而候事、

一 明日端午ニ付、蓬・菖蒲祝ニ南林寺・福昌寺・興国寺

墓所江川畑源之助・川村次右衛門為參候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿一刻入来也、

一 甲子祭ニ付濱田本覺院參り候事、

五月五日、曇、乙丑 夕方より間々雨、

一 今日五ツ半時分より出勤、端午ニ付

(島津奇興)
太守様御出座、御礼席江罷出、夫より諸士席詰迄相勤、

九ツ前頼合御暇ニ而歸家、供角野喜左衛門・山次左左

衛門ニ而候事、

一 節句祝義ニ付内証迄見廻之人、鎌田吉左衛門殿・同氏

四郎右衛門殿・永山清兵衛殿、相良清兵衛殿・市來十

左衛門殿・鎌田喜平太殿・同氏佳藤太殿・同氏藤之丞

殿・小森八左衛門殿・上村半兵衛殿ニ而候、其外内玄

喚迄見廻之人多々有之候へとも略ス、

五月六日、雨、丙寅 間々止

一今日は講堂別勤ニ而四ツ前より出席、四ツ後帰家、供川村次右衛門ニ而候也、

一七ツ後より桂内記殿入来、且役所江相良清兵衛殿被參居、是も内江入来候而酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一去月廿九日役人濱田休左衛門病氣ニ而引入居、今日より出候事、

五月七日、曇、丁卯 四ツ後より
雨雷

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一六鐘過より和田中太夫殿入来、夫より市來十左衛門殿

ニ茂入来、酒肴一通、左候而四ツ過比被帰候也、

一役所迄夜入相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一今日は堀直四郎殿・森川孫八郎殿入来之式日ニ候へとも不被參候事、

五月八日、曇、戊辰 間々雨

一今日は講堂別勤ニ而四ツ前より出席、四ツ後帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一七ツ後小野甚五左衛門殿入来、六鐘過迄相咄被帰候、大鐘時分より志和地源兵衛殿入来、暮前迄相咄被帰候也、

一八ツ後より役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

五月九日、曇、己巳 間々雨

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿・上村半兵衛殿入来ニ而候事、

但清兵衛殿一刻内江被參候也、

一八ツ後論語会読式日ニ而候処、当分毛利理右衛門丈湯治留主ニ付取止置候事、

五月十日、雨、庚午 間々止

一 今日四ツ前より出勤、四ツ半比頼合御暇ニ而帰家、供川村次右衛門ニ而候也、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来ニ而、内江も一刻被参候也、

五月十一日、雨、辛未 夕方止、

一 今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供河畑源之助ニ而候事、

一 鼎ちと不快ニ付医師松山三騰江申遣置、七ツ後見廻(鎌田正純女子)ニ而酒肴一通振廻候事、

一 七ツ過鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候也、
一 役所迄相良清兵衛殿夕方入来也、

五月十二日、曇、壬申 間々雨、

一 今日は講堂別勤ニ付四ツ前より出席、夫より南林寺墓所江高章院様・高穂院様御忌日ニ付参詣、九ツ前比帰

家、供山次左衛門ニ而候事、

一 大鐘比森川孫八郎殿入来、暫相咄候而被帰候事、
一 役所迄夕方相良清兵衛殿入来ニ而候也、

五月十三日、曇、癸酉、

一 今日終日別勤之筋頼遣出勤不致候事、
一 今朝桂内記殿勤方御用向ニ付為内談一刻被参候事、

一 八ツ前嶋津清太夫殿一刻入来ニ而候也、
一 九ツ過より桂内記殿入来、八ツ後より同道いたし伊敷

飯屋江参り、跡より相良清兵衛殿ニも被参、唐竹植方等下知いたし、左候而暮前打立五ツ前帰家、供川村次右衛門ニ而候也、

一 留主ニ桂岩次郎殿入来之由也、

五月十四日、曇、甲戌、

一 今日四ツ時前出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 八ツ後市來清十郎殿入来、七ツ過迄相咄被帰候事、

一七ツ後より森川孫八郎殿入来、左候而同道いたし、八田喜左衛門殿此内京都より下向被着候由、先日見廻ニも預り候付、祝義旁として参り候処、留主ニ而名札差出置、帰掛尾畔下辺中道通歩行いたし相帰候、供山次左左衛門、小者太郎召列候也、

一暮前堀直四郎殿・森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、
一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

五月十五日、曇、乙亥 間々雨、
夕方晴

一今日四ツ前出勤、

(島津奇襲)
太守様御出座、御礼席へ罷出候、左候而八ツより帰家、

供山次左左衛門、鐘長八、小者太郎召列候事、

一八ツ後より役所へ相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被参候事、

一七ツ後森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

五月十六日、曇、丙子 夕方より雨

一今日は東郷藤兵衛流義大番頭我々見分ニ付、四ツ前出掛、桂内記殿宅へ頼事有之参り、夫より演武館之様出席、九ツ前相済帰家、供川畑源之助、鐘長八、小者太郎ニ而候也、

一七ツ後より和田中太夫殿入来、同道いたし嶋津清太夫殿宅江参り、左候而四ツ過帰家、供山次左左衛門、小者太郎ニ而候、後川村次右衛門、左左衛門江代り合候事、

五月十七日、雨、丁丑 夕方止、
夜中雷雨

一今日四ツ時より出勤、八ツより帰家、供川村次右衛門ニ而候事、

一大鐘時分より森川孫八郎殿入来、尤孟子会読式日ニ而候へとも、堀直四郎殿不被参候付取止、左候而五ツ時分迄相咄被帰候、孫八郎殿被帰少跡ニ直四郎殿入来之由候へとも、外迄ニ而内江は不被参候事、

一役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被参候事、

五月十八日、雨、戊寅、

不致対面候事、

一今日は有川彦左衛門流義居合大番頭立合見分ニ付、四

ッ前より演武館之様出席、四ッ半比相済帰家、供角野

喜左衛門ニ而候也、

一今日は鼎誕生日ニ而家内中心祝いたし、七ッ前より桂

内記殿・同眞十郎殿・和田中太夫殿・相良清兵衛殿入

来、吸物・酒肴一通振廻、左候而五ッ過比追々被帰候

事、

一七ッ後小野甚五左衛門殿一刻入来ニ而候也、

五月廿一日、雨、辛巳 暮時分より洪水
五尺余

一今日も昨日之不快不宜候付、頼遣出勤不致候事、

一不快ニ付医師松山三騰へ申遣置、大鐘時分見廻ニ而候

事、

一今ばん不快ニ付針料山本蘇仙江両度申遣候へとも不参

候事、

一大鐘過より桂内記殿入来、且役所へ相良清兵衛殿被参

居、内江も入来候而酒肴一通振廻、四ッ時分被帰候也、
但拙者ニはちと腹痛いたし候付央より相休ミ候事、

一夕方和田源太兵衛殿入来ニ而候へとも、ちと不快ニ付

五月廿二日、雨、壬午、
一今日も昨日同断出勤不致候也、

一今朝外迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被參候也、

一今日も松山三騰へ申遣八ッ前見廻ニ而候、且鍼料山本

蘇仙江茂申遣七ッ後見廻ニ而候事、

一夕方和田中太夫殿入来ニ而候得とも、不快故断申入不

致対面候事、

一夕方和田源太兵衛殿外迄被見廻候也、

五月廿三日、雨、癸未 夕方洪水、六尺内外

一今日も昨日同断出勤不致候也、

一清水中宿家来山伏八木連昌坊、此節官成ニ付上京之由

一昨日出府、昨日役人濱田休左衛門を以暇申出候付、

願通申付候処、今朝一先清水之様相帰候届申出候事、

一大鐘時分より桂内記殿御用談之義ニ付入来、夫より鳴

津清太夫殿ニも入来、拙者も氣分合宜候付、和田中太

夫殿江申遣入来、酒肴一通振舞、左候而四ッ過比中太

夫殿被帰、内記殿・清太夫殿は洪水ニ而通路無之被泊

候事、

一大鐘過山本蘇仙參り鍼いたし候也、

一役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

五月廿四日、雨、甲申 夕方洪水、三尺余

一今日迄も病氣寸切と無之、出勤不致候事、

一今朝桂内記殿被帰、鳴津清太夫殿は四ッ前比被帰候

事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

五月廿五日、雨、乙酉 四ッ前より止曇

一今日は病氣全快程ニ有之候へとも、先見合出勤不致候

事、

一今朝役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一七ッ後山本蘇仙參り針いたし候也、

一針尖森川孫八郎殿入来ニ而候得共不致得対面候事、

一今日より鎧箱造として大工相頼候也、

一 南村横目長嶺喜左衛門今朝暇申出相帰候事、

五月廿六日、曇、丙戌、

一 今日茂昨日同断出勤不致候也、

一 今朝桂内記殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ後小野甚五左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一 夕方より役所へ相良清兵衛殿・上村半兵衛殿入来、暮

前より内江も被参酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候也、

一 南林寺墓所江山次左衛門代参申付候也、

但昨日泰心院様御忌日ニ付今日為参候事、
(鎌田正方)

五月廿七日、曇、丁亥 間々雨、

一 今日も昨日同断出勤不致候也、

一 今夕は孟子会読式日ニ而候へとも、未ちと不快之故森

川孫八郎殿・堀直四郎殿江断申遣候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 一昨廿五日より大工森山八郎左衛門鎧箱造として頼入

置候処、御物御用ニ付、今日昼時分より暫暇申度取次
川畑與八を以申出候付、右御用仕舞次第ニは又々直ニ
相頼候旨申達置候事、

一番所詰川村次右衛門事、此節詰中早朝より勤向等心掛

ニ付、別段之訳を以余例ニは不相成候へとも、着古し

上下一具為取、役人濱田休左衛門より相達候様申付候

事、

一大鐘時分和田源太兵衛殿入来ニ而、暮時分迄相咄被帰

候也、

五月廿八日、曇、戊子 間々雨、

一 今日迄も昨日同断出勤不致候也、

一 七ツ後より桂真十郎殿入来、夫より内記殿江も申遣入

来、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

五月廿九日、雨、己丑、

一 今日も昨日同断出勤不致候也、

一來月中異国船御手当当番之間合昨日參候付、右御受之

義、且御用談ニ付出勤いたし候様、問合茂有之候付、

右之一件も昨夕内記殿江相頼置候事、

一今日は鳴津中務殿宅へ内記殿同道參り候様承候へとも

病氣ニ付断申遣候事、

一八田喜左衛門殿明後朔日京都江出立之由、暇乞として

玄喚迄被見廻候、右ニ付肴一折・煙草一包(煙)・殘別、且悴

初而之、御目見昨日首尾能被相濟候由、祝義旁ニ相送

候、尤此内より寛々相招度申入置候へとも、立も無余

日其上右、御目見等ニ付取込之由断承候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被參候事、

五月晦日、雨、庚寅 問々止曇
又は晴

一今日も昨日同断出勤不致候也、

一四ツ過より森川孫八郎殿入来、九ツ過迄相咄被帰候事、

一夕方役所へ相良清兵衛殿入来、内江も一刻被參候也、

六月初日、雨、辛卯 五ツ過より止
後晴

一今日四ツ前より出勤、御礼席江罷出、左候而八ツより

帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一大鐘比上村半兵衛殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘過より市來十左衛門殿入来、夜入過迄相咄被帰候

事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一玄朗様(鎌田政近)御忌日ニ付、福昌寺墓所江代參川村次右衛門へ

申付候也、

六月二日、晴、壬辰 セツ過より雨

一今朝高崎五郎右衛門殿、先日江戸より着之由ニ而一刻

被見廻候事、

一出勤前小野甚五左衛門殿入来ニ而候也、

一今日講堂別勤ニ而四ツ前より出席、四ツ後帰家、供山

次左衛門也、

一大鐘前より桂真十郎殿入来、夫より鎌田愛太夫殿・桂

内記殿・相良清兵衛殿・小森八左衛門殿追々入来、吸物・酒肴一通振廻候而九ツ過ニ而も候半、皆々被帰、
内記殿ニは被帰候事、
(泊カ)

六月三日、雨、癸巳 今朝より四ツ後迄風雨、三尺余洪水、夕七時小暑入、

一 今朝四ツ過比内記殿被帰候事、

一 今日は風雨洪水ニ付頼合候而出勤不致候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一 番所詰川村次右衛門代り

神田六郎

右親神田榮右衛門召列出府之届今日申出、土産物等差出候也、

六月四日、曇、甲午 間々雨

一 今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 八ツ後より暮迄役所江相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 今日龍吟院様御正忌日ニ付、南林寺御墓所江代参角野
(鎌田正勝)

喜左衛門江申付、上下着用ニ而相動候事、

一 今夕より新上橋普請ニ付通路無之候事、

但此節よりめがね橋ニ相成筈之由候也、

六月五日、雨、乙未 夜中より今朝迄七尺内外洪水、

一 今日四ツ前迄は洪水ニ付通路無之、暫見合候而四ツ後

より出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一 大鐘過より堀直四郎殿入来、夜入五ツ半比迄相咄被帰

候、尤酒肴一通振廻候事、

一 南村与頭神田榮右衛門参り居候付、今朝対面いたし諸

事之義申付置候事、

六月六日、曇、丙申 間々雨、晴

一 今日は講堂別勤にて四ツ時より出席、四ツ後帰家、供

角野喜左衛門ニ而候事、

一 神田榮右衛門・川村次右衛門、今朝暇申出南村之様相
歸候事、

一 亡桂太七郎殿一周忌之由候付、野菜一折昨日為持遣候
事、

一 今日は嶋津頼母殿大目付より御家老江軼役、嶋津中務
殿御小姓与番頭御用人兼務より大目付江軼役被仰付候
由、尤頼母殿よりは吹聴参り候付兩種差遣、拙者ニは
ちと不快ニ而得不参段断申遣候、使山次左衛門ニ而
候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も被参候、尤明日
より暫旅行之由ニ付酒肴一通振廻、五ツ前比被帰候、
旅行跡は上村半兵衛殿江セ話相頼被置候趣も承候事、
一 暮時分税所悦之進殿一刻入来ニ而候、尤今日遠寺蟄居
被仰付候一列有之、右之内支配下小野清右衛門義、日

高甚助・桑波田助八列越候届承候事、

一 御か様并ニ雪(兼田正純女子)ちと不塩梅ニ付松山三騰江申遣七ツ後入
来ニ而候也、

一 御か様御不塩梅ニ付鍼科山本蘇仙江申遣八ツ時分参り
候事、

六月七日、曇、丁酉、

一 今日四ツ前出勤掛嶋津中務殿江、昨日大目付江御役替
之祝義として内玄喚迄参り夫より出勤、四ツ後頼合御
暇いたし、嶋津頼母殿江昨日御家老江御役替之祝義ニ
付内迄参り、夫より嶋津豊後殿宅江、一昨日豊後と改
名被致候由、右祝義且暑中尋旁として内証迄参り、左
候而九ツ時分帰家、供川畑源之助、小者太郎、鑓長八
ニ而候事、
一 大鐘比より桂内記殿入来、酒肴一通り振廻、四ツ過比
被帰候事、

一 夕方桂家御祖母様被成御出候事、

一 此内南村江差越候折家来山口彦兵衛刀、永山市之助刀、
隈元岩右衛門刀用見合ニ持帰り、右之内彦兵衛刀耆本、
市之助刀耆本用立候付、此節神田榮右衛門帰り便、右

刀返しとして彦兵衛江拵刀一腰、市之助江金二百疋為取、余之刀は不用立相返候事、

但用立之刀二本は無銘ニ而候事、

一隆香寺江相納り居候鑓も此節身研方、鞆塗直し等いたし差遣候事、

一夕方堀直四郎殿一刻入来ニ而候也、

一月船様御忌日ニ付、興国寺墓所へ神田六郎代參申付候也、

也、

六月八日、晴、戊戌、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供神田六郎、小者太郎、鑓長八ニ而候事、

一今朝鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候也、

六月九日、晴、己亥、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供山次左衛門、小者太郎、鑓長八ニ而候也、

一八ツ後毛利理右衛門丈入来、七ツ過比迄相咄被帰候事、

但論語会読式日ニ而候へとも、拙者ニも先日より病

氣未寸切と無之、毛利氏ニも当分不快之由候付暫は

取止置候筋申談置候事、

一七ツ後小野甚五左衛門殿入来、大鐘比迄相咄被帰候也、

一暮時分より鎌田圓窓殿入来、且上村半兵衛殿入来、酒

肴一通振廻、四ツ時分被帰候、上村氏は少跡ニ被帰候

也、

一暮過鎌田佳藤太殿用事ニ付一刻入来ニ而候事、

六月十日、晴、庚子
夕立ニ而雷雨

一今朝大山小藤次殿入来ニ而候事、

一今日四ツ前より諏訪直衛殿昨日詰衆江御役入ニ付、祝

義として参り夫より出勤、八ツ星別勤ニ而演武館加藤

權兵衛、田中太郎左衛門劍術不時見分として、額娃織

部殿・拙者・菱刈孫兵衛殿差越、夫より宮之原三十郎

殿、昨日四番御小姓与番頭江転役ニ付、祝義として玄

喚迄参り九ツ時分帰家、供角野喜左衛門、小者太郎、
鐘長八ニ而候事、

一 相帰候処、鳴津主税殿被参居暫相咄被帰候事、

一 七ツ過より桂眞十郎殿入来、夫より和田中大夫殿江申

遣入来、酒肴一通振廻、九ツ時分被帰候也、

一 七ツ後東郷孫八殿用向ニ付一刻入来也、

六月十一日、晴、辛丑 八ツ前より夕立
雷雨

一 今日四ツ前出勤掛桂内記殿宅江用向ニ付一刻参り、夫

より出勤、八ツより帰家、供神田六郎、小者太郎、鐘

長八ニ而候事、

一 七ツ時分森川孫八郎殿入来、大鐘時分被帰候事、

一 福昌寺墓所江代参川畑源之助江申付候、尤昨日 (録田政
隆香

様御忌日ニ而今日為参候事、

一 夕方役所江上村半兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、

一 下人太郎旁不行届義有之候付、役人休左衛門より叱置

候様申付候事、

六月十二日、晴、壬寅、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供

川畑源之助ニ而候也、

一 高章院様・高穂院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参申

付、神田六郎相勤候事、

一 大鐘過より堀直四郎殿・森川孫八郎殿入来、酒肴一通

振、四ツ前迄相咄被帰候事、
(廻脱カ)

六月十三日、晴、癸卯 夕方間々雨

一 今日海老原庄太郎柔術大番頭我々見分ニ付、四ツ時

演武館之様出役、未四ツ不打切内相濟、夫より諏訪直

衛殿祖母死去之由候付、悔として玄喚迄参り、且桂岩

次郎殿ニも母方祖母ニ而候故悔として参り、左候而帰

家、供山次左衛門、小者太郎、鐘長八ニ而候事、

一 七ツ前大河平小左衛門殿入来、大鐘前迄相咄被帰候事、

一 大鐘過より和田中大夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ過

比被帰候事、

一家来、中間供帰りの節家来は 御殿内は勿論下馬先迄

半股立、中間以下供成之姿ニ而不敬之義無之様、尤町

人以下宥本差之者共、手笠・齒付下駄・履物華緒等急

度被差止候旨稠敷大目付衆より仰渡有之、横目見聞を

も被掛置との事候付、召仕候家来下人は勿論外家来迄

も役所江招呼右之趣急度申付置候様役人休左衛門江申

付候事、

一家内江少病人ニ付医師前田圓齋江申遣七ツ後見廻ニ而

候事、

六月十四日、雨、甲辰、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門、

小者太郎、鐘長八ニ而候事、

六月十五日、曇、乙巳

間々雨、
今晚土用入、

一今日四ツ前より出勤、御礼日ニ付 太守様御出座、御

礼席江罷出、左候而八ツより帰家、供神田六郎、小者

太郎、鐘長八ニ而候事、

一家内江不塩梅有之、針醫師山本蘇仙見廻候事、

一正源院様御正忌日ニ付、南林寺墓所江川畑源之助上下

着用ニ而代参申付候事、

一小者太郎暇申出候旨役人休左衛門より申出候付、是迄

首尾能相勤候旨相達暇為取候様申付候事、

一大鐘過より鎌田筑左衛門殿入来、且役所へ上村半兵衛

殿入来、内江も被参酒肴一通振廻、四ツ前比被帰候也、

一財部抱地名寄帳御勘定所江出居候処、今日相渡り受取

格護いたし置候事、

一今晚堀家お岩殿入来ニ而候事、

一七ツ後關勇助殿先日徳之島より上着之由、一刻入来ニ

而候事、

六月十六日、雨、丙午 間々共、間々雨、

一今日は講堂別働ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供

川畑源之助、小者雇者、鐘長八ニ而候事、

一今朝木場八郎殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘時分和田源太兵衛殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

一大鐘過より桂内記殿入来、酒肴一通振廻九ツ前比被帰候事、

一家内不快ニ付針料山本蘇仙參り候也、

六月十七日、晴、丁未、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿被參、内江も一刻入来ニ而候事、

一下人太郎暇いたし候付、代り人召置迄之間ニ暫加勢として西田町居住之小二才相雇置候事、

六月十八日、晴、戊申、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供神田六郎ニ而候事、

一七ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候、尤先日より旅行ニ而今日帰り掛之由候事、

六月十九日、晴、己酉、今昼大暑入、

一今日は鈴木彌藤次流義見分江相勤管候へとも、合役桂内記殿江頼合出席不致候事、

一暮前より相良清兵衛殿入来、夫より大河平小左衛門殿ニも入来、酒肴一通振廻候而四ツ時分迄相咄被帰候事、

六月廿日、晴、庚戌、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一暮時分より毛利理右衛門丈入来、酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候也、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

六月廿一日、晴、辛亥、

一今日四ツ前より森川利右衛門殿江用事ニ付一刻参り、夫より出勤、八ツより帰家、供神田六郎ニ而候事、

一八ツより帰り掛千石ば、ニ而鳴津清太夫殿所出火之様

ちらり承り候付、即相帰承候処、弥其通ニ而未鎮火迄

も不相成候故直ニ出馬いたし、暫候而鎮火相成候付引

取相帰候、供神田六郎・大津與十郎、先ニ而川畑源之

助與十郎へ代り合候、且鐘旗為持候也、

一八ツ後より相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一清太夫殿并ニ家内之衆迦場田原源七郎殿宅之様承候付

大鐘比より相良清兵衛殿同道ニ而見廻暮時分帰家、供

神田六郎、下人召列候也、

一右清太夫殿所失火焼失候付、即飯汁等用意いたし、使

角野喜左衛門差遣候事、

一鎌田甚助殿、湯地甚之丞殿所、近火ニ付尋として使角

野喜左衛門差遣候事、

一今晚上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、五ツ半比被帰

候也、

一日當山組頭最勝宗之丞(寺脱カ)暑氣中ニ付、役所迄参り鯉節・

素麵酒代として差出候、且年寄濱崎覺左衛門江此内御

判衆薬方掛り被仰付候付、右御受御礼として両種料差

出候事、

一同所生子書出し候人数より煙草包ニ通差出候事、

一七ツ後和田中太夫殿一刻入来ニ而候也、

一日當山当春夏中狩夫銀差出候也、

一鳴津清太夫殿今晚より仮家花岡屋敷永吉村仮屋ニ而候

事、

一今朝鎌田曾兵衛殿より亀玉子被遣候事、

六月廿二日、晴、壬子、

一今日は講堂別働ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供

神田六郎ニ而候事、

一今朝有川藤左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一八ツ前鎌田喜平太殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一八ツ後鎌田藤之丞殿一刻入来也、

一大鐘時分上村半兵衛殿一刻入来也、

一大鐘過より鎌田筑左衛門殿入来、酒肴一通振廻、五ツ時分被帰候也、

六月廿三日、晴、癸丑八ツ後暫風雨

一虫喰日四ツ早目菱刈孫兵衛殿江相誘同道ニ而南林寺江參詣、夫より出勤いたし、支配下惣容貌見分等有之八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今朝西田次郎太殿、先日琉球より上着之由ニ而一刻入来ニ而候事、

一大鐘前より桂真十郎殿入来、暫候而和田中太夫殿ニ茂被參酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

六月廿四日、晴、甲寅、

一今日は終日別勤之筋頼合出勤不致候事、

一七ツ後大河平小左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一濱田本覺院為看経参り候事、

一鎧箱作大工森山八郎左衛門暫不参候処今日より参り候事、

六月廿五日、晴、乙卯、

一今日四ツ早目出勤掛二階堂左門殿一昨日江戸より着候付、右祝義として見舞、内迄相通り対面いたし、左候而出勤、四ツ後八ツ星別ニ而演武館、和田源太兵衛・小野郷右衛門・白尾金左衛門流義武芸不時見分、鎌田正方菱刈孫兵衛殿同道ニ而出役、夫より泰心院様御正忌日ニ付、南林寺墓所江參詣、九ツ過帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一山次左衛門事修甫暇ニ而引入居今日より出候事、

一虫喰役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一大鐘過鎌田曾兵衛殿一刻入来ニ而候也、

六月廿六日、晴、丙辰、夕方少々雨、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供神田六郎也、

一七ツ後森川孫八郎殿入来、暫相咄被帰候事、

一幕前二階堂左門殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘過より桂内記殿入来、夫より和田中太夫殿ニも入来、酒肴一通振廻四ツ過被帰候事、

六月廿七日、晴、丁巳 間々雨、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而

候事、

一七ツ後小野甚五左衛門殿入来、大鐘時分被帰候事、

一大鐘過より鎌田喜平太殿・同氏吉左衛門殿入来、酒肴

一通振廻、四ツ過迄相咄被帰候也、

六月廿八日、曇、戊午 間々雨、後

一今日四ツ時早目出勤、御礼日ニ而

太守様御出座、御礼席江罷出、左候而頼合御暇いたし

帰家、供川畑源之助也、

一八ツ前より役所江相良清兵衛殿入来、内江も被参暫ニ而被帰候事、

一淨連院殿正忌日ニ付、南林寺墓所江川畑源之助代参

付候事、

六月廿九日、晴、己未、

一今日は終日別勤之筋頼遣候而出勤不致候事、

一今朝鎌田直助殿一刻入来ニ而候也、

一今晚役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、

七月朔日、晴、庚申 八ツ後夕立

一今日四ツ時早目出勤、月次御礼御座敷ニ而 御出座無

之席々謁ニ而候、左候而八ツより帰家、供角野喜左衛

門ニ而候事、

一七ツ後鎌田愛太夫殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘過鎌田筑左衛門殿入来、暮前被帰候事、

一暮時分大河平小左衛門殿入来、四ツ前迄相咄被帰候也、

七月三日、晴、壬戌、

一暮過川井田清右衛門参り候事、

一今日四ツ時早目出勤掛桂眞十郎殿江頼事有之一刻参り

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

夫より出勤、八ツより帰家、供神田六郎ニ而候事、

七月二日、晴、辛酉 七ツ後夕立雨

但一昨朔日御家老衆嶋津彦岐殿より、大番頭并ニ我々共月番市田右近・桂内記承知之趣有之、支配下少

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供神田六郎ニ而候事、

し年丈候二才之内、郷中之事等セ話いたし候丈之者、川村甚八・税所悦之進・同徳之助・種子嶋正八郎・

一八ツ過小野甚五左衛門殿入来、七ツ後迄相咄被帰候也、

野村藤八・兒玉助太郎、且嶋津要人組より永山清右

一今夕家内中生身玉祝ひいたし、大鐘比より桂内記殿入来、吸物・酒肴一通振廻、夜入相良清兵衛殿ニも入来、

衛門・大河平彦六・西田次右衛門召出、芍薬之間縁類ニ而申渡候右之趣は、此比演武館諸稽古之掛声(島津齊興)

九ツ時分被帰候事、

太守様御休息所江不相聞得、就而は士風衰、諸稽古

一南村与頭森田十郎左衛門今日出府、此節御家老衆調所

事等茂取止候半と被為在

笑左衛門殿廻勤、南村之内通行之筈ニ而、諸事無手抜

御沙汰之由、御家老方ニも被恐入候仕合ニ付、是よ

様此内より追々申渡、尤受込郡奉行永田新八郎殿江茂

り吃と相励一往ニ而不取捨、年輩之不及沙汰出精い

何篇都合向相頼置候処、去ル廿日通行ニ而、森田十郎

たし、士風勢ひ立候様教諭可致との事候付、其通い

左衛門所江立宿被致、何欵都合宜候旨一ツ書を以委細

細申達候、勿論武芸迄ニ無之学文之義も同様申渡候

届申出候段、清兵衛殿より披露承候事、

事、

一七ツ後森川孫八郎殿入来、暫は相咄被帰候事、

一大鐘過より和田中太夫殿・同源太兵衛殿入来ニ付、酒

肴一通振廻、四ツ時分被帰、源太兵衛殿は少早日被帰

候事、

一南村与頭森田十郎左衛門より土産物今日差出候事、

七月四日、晴、癸亥 夜中過雨、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候也、

一今朝五ツ過桂岩次郎殿姉死去之由申来候、右ニ付従弟

之続キニ而候間、忌中之届同役方へ申遣候事、

一右ニ付四ツ時分岩次郎殿宅江悔として参り無程帰家、

供神田六郎也、

一四ツ過鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘時分栴山四郎左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

一今日延寿堂施我鬼ニ付、役人名代角野喜左衛門相動候

事、

七月五日、晴、甲子 今晚九ツ過
立秋

一今日も昨日同断出勤不致候事、

一今晚役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候而左

之通南村より申出候旨承候、横目川枝伊右衛門、栢楮

掛永山惣兵衛、当春断申出、先日願通差免候代り

横目

森田十左衛門

迫田甚右衛門

栢楮掛

園田六郎左衛門

池田伊八

右ニ付而地頭之者江申付候旨可被申渡相達候、且横目

長嶺喜左衛門此内出府之節用向不相済内罷歸り候故差

様申出候様相達置候処、差様申出候旨承候付先扣置、

当八朔役人出府之節何分可被申渡旨相達置候也、

一桂岩次郎殿姉病死ニ付為合力真米石差遣候、左候而

見立之使山次左衛門対灯燧為持差遣候也、

七月六日、晴、乙丑、

一今日も昨日同断出勤不致候也、

一七ツ後森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

一暮過より税所源左衛門殿・市來清十郎殿入来、酒肴一通振廻、九ツ時分迄相咄被帰候事、

一南村与頭森田十郎左衛門今朝召呼、尚又諸事之義行届

候様可取計旨申渡、当四月差越候節宿相付候、右旁ニ付芭蕉上下一具役人休左衛門を以為取、左候而暇いたし相帰り候事、

一南村家中給分高之内より割合を以五石、拙者手本銀を以取返候賦ニ而代銀九拾貫文、十郎左衛門預持帰候事、

一八ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候也、

七月七日、曇、丙寅 朝五ツ半比より
雨後止

一今日より忌明ニ而五ツ半比より出勤、七夕ニ付

御入座有之御礼席江罷出九ツより退出、夫より調所笑

左衛門殿内玄喚迄先日南村笑左衛門殿通行之砌勸農沙

汰等何欵丁寧下知為有之由、此節森田十郎左衛門出府

ニ而も申出、其上永田新八郎殿よりも細承候付、右礼として手扣を以見舞置、左候而帰家、供川畑源之助

・神田六郎ニ而候事、

一今日之祝義として内証迄見廻之人、永山清兵衛殿・市

來十左衛門殿・鎌田政十郎殿・鎌田眞助殿・鎌田喜平太殿・上村半兵衛殿・志和地源兵衛殿・相良清兵衛殿

・鎌田圓窓殿・堀直四郎殿ニ而候事、

一今晚森川孫八郎殿宅江歌会企有之、日入時分より参り、

尤利右衛門殿江も用事有之候付一刻対面いたし、左候

而八ツ時分ニ而も候半帰家、供神田六郎ニ而候事、

一今日例年之通蠶虫ほし、角野喜左衛門上下着用ニ而申

付候事、

一暑氣中内外玄喚迄見廻之人段々有之候へとも略候事、

一西田次郎太殿より琉球登土產品先日被遣候付、使角野

喜左衛門を以礼申遣候也、

七月八日、曇、丁卯 朝五ツ過より雨、後止

一今日は四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一暑氣中ニ鎌田吉左衛門殿より素麵被遣候付、為礼使川畑源之助差遣候也、

一今夕は二階堂左門殿宅江參候様承り候付大鐘過より参

り川上式部殿・川上龍衛殿・高崎五郎右衛門殿来会ニ而緩々閑話いたし九ツ過帰家、供神田六郎ニ而候事、

一大鐘比より桂内記殿入来ニ而候へとも、拙者ニは相断出候而留主ニ而緩々いたし為被泊由候事、

一有川藤左衛門殿江煙草一包、相良清兵衛殿江百田紙巻束時候尋として差遣、使角野喜左衛門ニ而候事、

七月九日、曇、戊辰 朝五ツ前少々雨、九ツ時分より又々雨、後止

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、夫より永田新八郎殿宅江先日南村調所笑左衛門殿通行候付、(広郷)旁セ話ニ

預り候礼として門迄見廻、左候而九ツ前帰家、供山次

左左衛門也、

一永田新八郎殿江前条同断セ話相頼候礼として、蠟燭三拾挺・肴一折差遣、使川畑源之助ニ而候也、

一二階堂左門殿鎧箱わく此方へ相調候為手本、先日借入置候付今日相返候、右礼として肴一折差遣、使同人ニ而候事、

一鎧箱作方ニ付頼入置候大工森山八郎左衛門、昨日迄ニ而相仕廻、今日は刀掛箱等為作候而、今日迄ニ而都而相仕廻候事、

七月十日、雨、己巳 雷鳴、八ツ時分より止

一今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ過小野甚五左衛門殿入来、七ツ時分迄相咄被帰候也、

一今朝永田新八郎殿一刻入来ニ而候也、

一大鐘時分より桂真十郎殿入来、夫より和田中太夫殿・

相良清兵衛殿ニも追々入来、酒肴一通振廻、九ツ時分

被帰候、相良氏は四ツ前比異国方より只今御用申来候

由ニ而被帰候事、

一七ツ後森川孫八郎殿入来ニ而候、尤今日横目助為被仰

付由礼ニ而候事、

七月十一日、曇、庚午 四ツ前後雨、
昼過より晴、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ過帰家、供

神田六郎ニ而候也、

一大鐘時分有川藤左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一福昌寺・興国寺墓拵として、川畑源之助・神田六郎参

り候事、

七月十二日、晴、辛未、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門

ニ而候事、

一南林寺墓拵ニ付、山次左衛門・角野喜左衛門・神田

六郎参り候事、

(鎌田正昌)
但高章院様・高穩院様御忌日ニ付代参も申付候也、

一今晚上村半兵衛殿入来ニ而候事、

一半兵衛殿江小豆式斗・蠟燭式拾挺、時候尋として遣候
事、

一野菜寺折桂岩次郎殿江、岩次郎殿姉初盆ニ付遣候事、

一南村より盆詰夫兩人今朝参り候也、

七月十三日、晴、壬申 四ツ前少々雨、

一今日は支配下野村藤八・横山矢兵次・千田壯之助・山

田次右衛門・三宅與次郎、右容貌宅見分いたし、四ツ時

進達掛相良市郎左衛門、書役東郷孫八、小与頭相良次

兵衛・中村半助、右人数出席ニ而先度諸稽古等之義ニ

付、上様より御沙汰之趣も得と申聞退座為致候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻入来ニ而候

事、

一大鐘時分御先祖様方御位牌書院床前江直し上方角野喜

左衛門上下着用ニ而相勤候、水棚作川畑源之助相勤候也、

一御精霊様江上下着用ニ而拝礼いたし候事、

七月十四日、晴、癸酉 八ッ過少々雨、

一今朝六ッ過より南林寺墓所江参詣、香庵梅心大姉御墓

江も参り、且桂家御祖父様等之墓江も参り五ッ過帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

一今朝五ッ過嶋津主税殿入来、暫相咄被帰候事、

一四ッ後市來十左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一昼時分市來清十郎殿・鎌田喜平太殿・永山清兵衛殿追

々入来ニ而候事、

一為靈膳上延寿堂小増^(備)八ッ前より参り候、家来共迄ニ而

手長相勤候様申付、拙者ニは不上候事、

一福昌寺墓所・興国寺墓所・延寿堂・正真軒江代参神田

六郎江申付候事、

一大鐘過森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

七月十五日、晴、甲戌 四ッ前雨、暫ニ而止、

一昼時分上村半兵衛殿・相良清兵衛殿一刻ッ、入来ニ而候事、

一七ッ前より福昌寺墓所・延寿堂位牌・興国寺墓所江参

詣、左候而馬おひ坂越いたし大鐘時分帰家、供神田六

郎ニ而候事、

一留主ニ飯牟禮八郎殿一刻入来之由候也、

一夕方鎌田筑左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一今日は延寿堂より靈膳上之小増^(備)いか様間違ニ及候哉、

大鐘過迄不参候付、拙者上下着用ニ而朝飯之分は上ケ、

素麵并ニ夕飯は川畑源之助・山次左衛門へ上ケ方申

付候事、

一暮前御精霊江上下着用ニ而拝礼いたし候事、

一南林寺墓所江代参濱田休左衛門江申付候事、

七月十六日、晴、乙亥 四ッ前雨、夫より雨、七ッ時分より雨、

一今朝御位牌位牌所江直し上方川畑源之助上下着用ニ

而相勤候事、

一 今四ツ時出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

七月十七日、晴、丙子、

一 今日は講堂別勤ニテ四ツ時より出席、四ツ後帰家、供神田六郎ニ而候也、

一 今朝四ツ前毛利理右衛門丈入来ニ而候也、

一 今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

一 福昌寺・興国寺墓所江川畑源之助、南林寺墓所江角野

喜左衛門花替として為參候事、

七月十八日、晴、丁丑、

一 南村詰夫之者共昨夕暇為取候様役人濱田休左衛門へ申付置候事、

一 今日四ツ時前出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一出勤前和田中大夫殿一刻入来ニ而候也、

一 七ツ時分桂内記殿より宅江相談被致度義有之候付參具候様被申遣候間一刻参り帰家、供山次左衛門也、

一 日入過より和田中大夫殿入来、役所江相良清兵衛殿被參居、是も内江入来ニ而酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候也、

七月十九日、晴、戊寅、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ過帰家、供山次左衛門也、

一 今日は於嶋津老岐殿宅、御家老与切支丹証印有之、役人名代川畑源之助罷出候事、

一 八ツ後森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ後より御か様桂内記殿宅江被成御出、暮前被成御歸候事、

一 夕方堀氏伯母お岩との入来ニ而候也、

一 暮前より役所迄相良清兵衛殿・上村半兵衛殿入来ニ而

候事、

七月廿日、晴、己卯、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 今朝松元市左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 大鐘前より桂内記殿入来、酒肴一通振廻候而四ツ過迄相咄被帰候事、

一 今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

七月廿一日、晴、庚辰、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供神田六郎ニ而候事、

一 今夕は桂岩次郎殿所剣術式日ニ付日入前より参り、桂内記殿・和田中太夫殿ニ茂出会ニ而暮前帰家、供山次左衛門ニ而候事、

七月廿二日、晴、辛巳、

一 今朝相良清兵衛殿入来ニ而候、尤南村郡見廻役并ニ牛馬役兼務相立度旨願申出筈ニ而、願書相認被為見候付、御趣法方掛御用人森川利右衛門・海老原宗之丞江内迄被申込、左候而表向被差出候様相達置候、郡方江相付願書差出事之由、右ニ付用頼前より之願ニ而候事、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 鎌田政十郎殿・桂吉左衛門殿一番組札方、書役今日被仰付候由、右ニ付而は拙者共より名前差遣置候間、為礼一刻入来ニ而候事、

一 大鐘比より和田源太兵衛殿稽古所江出席、桂内記殿・和田中太夫殿・長谷場六郎殿杯出会ニ而、夫より緩々相咄九ツ時分帰家、供山次左衛門、後川畑源之助ニ而候事、

七月廿三日、晴、壬午、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時出席、四ツ後帰家、供山次
左衛門ニ而候也、

一相良清兵衛殿曾木川さらへ掛り被仰付、兩日中より旅
行之筈ニ而此節は暫被相掛由候付、跡内用頼鎌田喜平
太殿江相頼可然、清兵衛殿より茂被申候間、其通小森
八左衛門殿・有川藤左衛門殿・上村半兵衛殿江も相良
氏より口合之上被相頼、喜平太殿受合ニ而今日七ツ後
より被參、暮過より相良氏も被參役所ニ而旁咄合等被
致、夫より内江も被參候付酒肴一通振廻、九ツ時分被
歸候事、

一川畑與八江着古之袴一ツ為取候也、

一南村家来山口彦兵衛刀此内取入候而、硯方として池田
金七江遣置候処今日出来候付、森川利右衛門殿江目利
相頼、川畑源之助江為持遣候処、右谷山之目利被致候
事、

七月廿四日、晴、癸未 八ッ過より雨、

一今日四ツ時出勤、八ッより帰家、供川畑源之助ニ而候
事、

一八ッ後濱田本覺院看經ニ付參候也、
一七ッ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被參
候事、

一相良清兵衛殿明日より旅行之筈ニ付、蠟燭式拾挺・肴
一折送遣候也、

七月廿五日、晴、甲申、

一今朝相良清兵衛殿旅行ニ付暇乞ニ被參候事、

一今日四ツ前より出勤、八ッより帰家、供神田六郎ニ而
候事、

一八ッ過小野甚五左衛門殿入来、七ッ過迄相咄被歸候也、
(鎌田正方)
一泰心院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代參、山次左衛
門江申付候事、

一大鐘過森川孫八郎殿入来、暮時分被歸候也、
一役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被參候事、

七月廿六日、晴、乙酉、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 八ツ後小森八左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一 今夕永田新八郎殿此内より南村之義、何篇セ話ニ預り

候間、尚又旁相頼舍ニ而相招候処大鐘過より入来、尤

森川利右衛門殿・小森八左衛門殿ニも口合置候付入来、

且調所藤内左衛門殿ニも八左衛門殿相誘被参候、左候

而吸物・酒肴・飯一通振廻、八ツ時分ニ而も候半被帰

候事、

一 大鐘比より桂内記殿不計入来ニ而、是も外人数一所ニ

被帰候事、

一 七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被参候而、

外人数一所ニ被帰候也、

一 今朝足輕恒吉喜作一刻参り候也、

一 下町人荒卷善兵衛より琉球登土產品相送候事、

七月廿七日、晴、丙戌、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供
山次左衛門ニ而候事、

一 四ツ過医師前田圓心殿、家内病人ニ付相頼被見廻候事、

一 大鐘時分より鎌田筑左衛門殿・和田中太夫殿・毛利理

右衛門殿追々入来、酒肴一通振廻、中太夫殿・理右衛

門殿四ツ過比被帰、筑左衛門殿は少早日被帰候事、

一 七ツ後役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、

七月廿八日、晴、丁亥、

一 今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ

而候事、

但今日は 御出座無之候事、

一 暮過より和田源太兵衛殿入来、且役所江上村半兵衛殿

・鎌田喜平太殿入来、内江も被参候而酒肴一通振廻、

四ツ過比被帰候、和田氏は少早日被帰候事、

七月廿九日、晴、戊子、

一今日は別勤之筋頼遣出勤不致候事、

一此方屋敷掛、田地之方江以前通路有之候由、当分ニ相

成無之候付、此節以前之通、通路ニ相成管之由ニ而、

郡奉行并ニ夫々附役今日九ツ比見分有之候処、此方屋

敷も老間程欠候由、尤郡奉行小森八左衛門殿ニ而候付

一刻内江も被参右之趣被申候事、

一大崎郷土末家鎌田源五左衛門七ツ後参り、土産物等差

出候付一刻対面いたし候事、

一南村役人森田宇兵衛八朔祝義ニ付出府、番所詰神田六

郎代り川口良之進出府之届申出候事、

但良之進より土産物差出候事、

七月晦日、晴、己丑、二百十日、暮時分より雨、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供神田六郎ニ而

候事、

但明八朔持参太刀等習礼大目付以上見分有之候事、

一八ツ後より役所へ鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参

候事、

一南村役人森田宇兵衛役義断、右申出候旨、喜平太殿よ

り披露承候付、宇兵衛義は最早及両度断申出候付、何

れ可差免義ニ候へとも、先願書扣留追而吟味いたし可

然旨相達置候事、

一南村下代園田六郎左衛門断申出、代り竹之内平之進相

調申出候付、申出通申付候筋相達置候事、

一串良抱地柙代米重ミ之願申出候旨承候付、是以願書扣

置追而吟味いたし可然相達置候事、

一南村より申出之書付ニ名替りいたし候を、元名書認、

又は名之認方、字混乱いたし候も有之候付、以来改名

之名、定之文字相認候様可被申渡旨申達置候事、

一南村給分高之内、此節拙者手本より取返し候高森田郷

左衛門式石、大始良郷土野田惣四郎・楠原門喜兵衛・

西牟田村利八老石ツ、都合五石割合を以差出、高代九

拾貫文相受取候届申出候事、

八月朔日、雨、庚寅、

振廻候事、

一今日は八朔ニ付

(島津齊興)
太守様御出座有之五ツ前より出勤、持参太刀いたし四

一地頭所引次南村役人森田宇兵衛江盃為取、用頼鎌田喜平太殿席詰ニ而候事、

ツ時首尾能相濟、尤当月は月番ニ而九ツより帰家、供

一南村家中并ニ在中より毎之通兩種料并ニ土産物差出候

川畑源之助・神田六郎鍵・挟箱・合羽籠為持候事、

且森田宇兵衛より土産物差出候事、

一為当日之祝義内迄参り候人、鎌田吉左衛門殿・鎌田政

十郎殿・永山清兵衛殿・森川孫八郎殿・鎌田圓窓殿・

八月二日、曇、辛卯、

上村半兵衛殿・堀直四郎殿・鎌田喜平太殿ニ而候事、

一今日四ツ前より出勤、八ツ後御下より帰家、供角野喜

一外迄禰休左衛門殿見廻ニ而候事、

左衛門ニ而候事、

一塩田十郎右衛門逼塞赦免申渡有之九ツ後罷出候付申渡

但今日は当夏上国之王子、其外付々之琉人初而登城

候、右ニ付進達掛武五郎右衛門、書役川崎良助参相勤

有之候、拙者ニは月番之故奏者之義は不相勤候、

候事、

一今日は桂光院三年忌日ニ付、於寺法事いたし役人濱田

一地頭所日當山郷士年寄最勝寺勘兵衛、与頭鶴丸宅右衛

休左衛門、延寿堂并ニ墓所江相勤候也、

門、地頭横目牧源左衛門、郡見廻竹下荘左衛門、当日

一春山休兵衛殿より徳之島登ニ付土産物被送候、尤刀筒

祝義として参り兩種并ニ土産物等差出、七ツ後於書院

一荷借用いたし被居候付今日被相返候事、

対面盃一通為取候、取次鎌田喜平太殿席詰并ニ諸差引

一二階堂左門殿より下り土産品被相送候事、

被致候、左候而於使者間取次役人等亭主振ニ而毎之通

一足輕恒吉喜作より琉球登り土産物相送候事、

一 大鐘前より堀直四郎殿入来、夫より柏原矢太右衛門殿

入来、且役所へ鎌田喜平太殿入来、是も内江被参酒肴

一通振廻、四ツ時分被帰候、喜平太殿ニは少跡ニ被帰候事、

一 南村之内去ル六月廿日御家老調所笑左衛門殿通行ニ付

都合等宜候為褒美役人兩人、其外役々江左之通被申付候様喜平太殿江相達候事、

青銅百疋ツ、

森田宇兵衛

岩元助太夫

右は追々精勤いたし勸農等諸事行届向成立、先度御家老衆御通行ニ付而も都合能候付、為御褒美被下候条向後無油断愈精勤可被致候、

八月 用頼

一 与頭以下役々共江は、書付迄ニ而被褒置候様喜平太殿

江相達、其通取計ニ而候事、

一 右二条於役所被申渡候上首尾承候、尤助太夫義は宇兵

衛名代承候事、

八月三日、曇、壬辰 間々雨、

一 今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候也、

一 春山休兵衛殿江昨日土産物被送候代として使差遣候也

一 折田善庵殿より江戸下り土産物被送候事、

一 森田宇兵衛より昨日褒美申付候代として着一折差出候也、

一 八ツ過日置半兵衛殿一刻入来ニ而候也、

一 御か様夜前より些御不塩梅ニ而医師前田圓心殿江申遣置、嫡子圓齋見廻ニ而候、且針医師山本蘇仙ニ茂申遣見廻候事、

八月四日、晴、癸巳 夕方間々雨

一 今日四ツ前出勤掛二階堂左門殿江参り一昨日江戸土産物被送候礼、且大河平彦六御勘定書役助相頼置候付、

右追訴申置、左候而出勤、八ツ後御下りより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一拙者留主ニ嶋津主税殿入来之由候也、

一森田宇兵衛事、今日十兵衛と名替願申出候付願通申付候、取次役人濱田休左衛門ニ而候事、

一森田十兵衛今夕暇為取候付対面いたし、南村中之義諸事申付置候事、

一番所詰神田六郎今夕暇為取候付百田紙五帖為取候事、

一大鐘過より桂内記殿入来、且役所へ鎌田喜平太殿被参居、内江も入来ニ而酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候也、

八月五日、曇、甲午 間々雨、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供川口良之進ニ而候事、

一今朝前髪取、面会兩人有之、五ツ半比相揃面会いたし

候、進達掛川上斑之進、書役川崎良助参り相勤候事、

一春峰様御正忌日候付、興国寺御墓所へ山次左衛門、(鎌田政統)

上下着用ニて代参申付候事、

但御位牌所へ拙者上下着用致拜礼候事、

一折田善庵殿江戸土産物被送候礼として使差遣候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一大鐘過より和田中太夫殿入来、夫より上村半兵衛殿ニ茂入来、酒肴一通振廻候而四ツ時分被帰候事、

八月六日、雨、乙未 朝雷鳴、八ツ前より止、間々降、

一今日は義村王子御膳進上ニ而諸向六ツ時揃被仰渡、六ツ過より出勤、琉人五ツ時登

城四ツ時 御出座有之、左候而大番頭以下御側役以上櫛之間江相詰、八ツ前都而御規式相濟毎之通於御用人

座、琉人より振廻之飯并菓子相居り八ツ後御下りより帰家、供山次左衛門、後角野喜左衛門ニ而候事、

但御側役以上は毎之通長袴ニ而相詰候事、

一八ツ過小森八左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被参候事、

一拙者ちと風邪氣ニ而醫師前田圓齋江申遣七ツ後見廻ニ而藥用いたし候事、

八月七日、晴、丙申、

一今日四ツ前出勤掛調所笑左衛門殿江、昨日書役染川伊兵衛江御勘定方小頭御役被仰付候御礼として、口上書を以參り、左候而出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

但伊兵衛御礼廻は御家老方都而月番より相廻筋ニ而口上書は桂内記名前ニ而同席中手分ニ而相廻候事、

一大鐘過より和田源太兵衛殿入来、六ツ半比迄相咄被帰候事、

一平田桑之進殿より此内六組札方檢使、拙者世話いたし候付、右礼として肴一折被遣候事、

八月八日、曇、丁酉 後晴

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ

而候事、

一八ツ後和田中太夫殿一刻入来ニ而候也、

一七ツ後禰休左衛門殿・藤野小兵衛殿一刻ツ、入来ニ而候、尤休左衛門義は、染川伊兵衛代り六番与定書役被仰付、小兵衛義は休左衛門代り一番組書役助被仰付候間、右礼として入来ニ而候事、

一大鐘時分延寿堂住持先日相替候由ニ而、菓子箱并ニ茶持參ニ而候付、一刻対面いたし候事、

一役所迄鎌田喜平太殿夕方入来也、

一書院庭大木伐り方三日跡より為致今日迄ニ而相仕廻候事、

八月九日、晴、戊戌 八ツ後より七後迄暫雨

一今日四ツ前より出勤、八ツ後御下りより退出掛南林寺下より和田中太夫殿同道、嶋津清太夫殿沖之村仮屋江參り候処留主ニ而、尤今日は義村王子江於磯御茶屋、花火拝見被仰付候故、右見物として大門口辺江被差越

候由、拙者共ニも其場所江参り候様家内之衆より承候

付、帰り掛新寺江立寄出張先承合候処、弁天脇之由候

付、片衣新寺江相頼置、左候而参り候処、清太夫殿家

内之衆は被参候へとも、清太夫殿杯被参候様子不相知

候付、夫より川邊問屋和田氏案内ニ付立寄様子見合居

候処、漸々雨降出し候間、夫より引返相帰候而七ツ半

過帰家、供川口林之進ニ而候事、

一中太夫殿は帰り掛此方へ入来、酒肴一通振廻、四ツ前

比被帰候事、

一鎌田權右衛門殿妻此内病死之由承候付、野菜一折為持

悔として使川畑源之助差遣候也、

一恒吉喜作先日琉球登土産物等差出候付肴一折遣候事、

八月十日、曇、己亥、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而

候事、

一七ツ時分日置吉左衛門殿一刻入来也、

一此方屋敷掛田之方道出来候筈ニ而、垣廻り一間程引入

候賦ニ而、今日より串木野夫三人雇入垣直し方等為致

候、右ニ付四ツ後拙者留主ニ小森八左衛門殿参り下知

被致候事、

一日入時分より桂眞十郎殿入来、且役所江鎌田喜平太殿

被参居是も内江入来、酒肴一通振廻四ツ時分被帰候事、

一隆香様御正忌日ニ付、福昌寺墓所江代参川畑源之助上

(鎌田政虎)

下着用ニ而申付候、尤今朝御位牌所江拙者上下ニ而拝

礼、向香いたし候事、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

八月十一日、曇、庚子、

一今日四ツ時前出勤、八ツ後御下りより帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一四ツ後留主ニ小森八左衛門殿道作下知として被参候由

候事、

但今日迄ニ而道造相仕廻候事、

一 明十二日 (鎌田正尊) 高章院様式拾五年忌御法事ニ付、左之通人

数江吹聴いたし候、嶋津豊後殿・嶋津老岐殿・桂岩次郎殿・桂内記殿・嶋津清太夫殿・堀四郎左衛門殿・鎌田愛太夫殿・鎌田筑左衛門殿・本城源七郎殿・有川藤左衛門殿・小森八左衛門殿・上村半兵衛殿、右銘々用頼鎌田喜平太殿より被遣候也、

八月十二日、曇、辛丑 夜明前雨、

一 今日於延寿堂 高章院様二十五年忌法事執行いたし、

五ツ前より鎌田喜平太殿被參、同道いたし延寿堂江参り、梅香院和尚回向ニ而四ツ過相濟、向香拝礼いたし候、夫より南林寺墓所へ参詣九ツ過帰家、供川畑源之助ニ而候、役人濱田休左衛門ニも差越相詰候事、
一 今朝夕御霊前御位牌所江拙者上下着用いたし相備向香拝礼いたし候事、

一 昨日吹聴いたし候人数より銘々饅頭野菜等到来いたし候事、

一 今日終日別勤之筋相頼出勤不致候事、

一 四ツ後留主小森八左衛門殿一刻入来之由也、
一 七ツ時分より追々入来之人数、嶋津主税殿・桂内記殿・同眞十郎殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿、且堀氏叔母お岩との、鎌田藤次郎殿茂入来ニ而候、吸物貳ツ・鉢物一ツ・丼二ツ・硯ふた一ツ・小井物一組・飯・引菓子・まんとら振廻、左候而夜入過皆々被帰候也、

八月十三日、曇、壬寅 間々雨、

一 今日四ツ前出勤、八ツ後御下りより帰家、供川口良之進ニ而候事、

一 八ツ後小野甚五左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、
一 家内病人有之前田圓心江申遣、嫡子圓齋八ツ後見廻ニ而候事、

一 七ツ後より桂眞十郎殿・和田中太夫殿・桂内記殿追々入来、酒肴一通振廻、四ツ前被帰候事、

一 山次左衛門江此内新証院屋敷川涯欠候節、角野喜左

衛門江為取置候屋敷之内江相談之上、家引直し候様申付、其通ニ而修甫等相調右礼として兩種差出候事、

八月十四日、曇、癸卯 間々雨、

一 今日四ツ前出勤、八ツ後御下りより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 鎌田岩右衛門逼塞赦免有之、八ツ後於宅ニ申渡答候処、七ツ後名代出候付申渡候、進達掛柏原矢一郎、書役和田六郎参り候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参候事、

八月十五日、曇、甲辰、

一 今日四ツ前出勤掛嶋津豊後殿江先日法事之節、野菜被遣候礼として参り候処、留主ニ而納殿之者江右之段申述置夫より出勤、

御出座有之初而之御目見并ニ諸御礼被遊御受候へとも御礼席江は不罷出、左候而八ツ後御下りより同役中市

田右近殿宅江被相招候付参り、尤昼之内弓射、夜入月見ニ而四ツ時帰家、供角野喜左衛門、後川畑源之助ニ而候事、

但看一折菱刈孫兵衛殿相中より市田家江差遣候也、

八月十六日、曇、乙巳、

一 今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 大鐘過有川藤左衛門殿入来、夜入六半比被帰候事、

一 夕方より役所江鎌田喜平太殿入来、暮過内江被参、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

八月十七日、晴、丙午、

一 今日四ツ前出勤、八ツ後御下りより帰家、供川口良之進ニ而候事、

一 鎌田愛太夫殿へ先日法事ニ付、野菜被相送候礼として使川畑源之助差遣候事、

一八ッ後桂岩次郎殿入来、暫相咄被帰候也、

一夕方より役所江鎌田喜平太殿入来ニ而候也、

八月十八日、晴、丁未、

一今日四ッ前出勤、八ッ前頼合御暇ニ而帰家、供川口林之進ニ而候也、

一今八ッ後より書役共相招入来之人数、植木甚左衛門・

榊休左衛門・石原清之進・木藤源左衛門・東郷孫八・

藤野小兵衛・和田六郎・四本三十郎ニ而候、左候而座

付、飯、夫より吸物一ツ・硯ふた一ツ・井三ツ・鉢さ

しミ一ツ・小井物一組・水雑吸、右振廻夜入六ッ半比

何れも相帰候、尤休左衛門・小兵衛・三十郎ニは先度

繰上ケ并ニ清書掛書役助被仰付候以後、初而入来候付、

小兵衛より兩種、休左衛門・三十郎より肴一折相送候

事、

一八ッ後より亭主振として桂内記殿入来、尤鎌田喜平太

ニも入来ニ而候事、

八月十九日、晴、戊申 ひがん入、

一今日は義村王子江御料理頂戴御難拜見被仰付候付、五ッ時より出勤、席々江相詰八ッ過相済候間、御下りより帰家、供山次全左衛門也、

但諸向六ッ半時揃ニ而、王子は五ッ半時登城ニ而候事、

一八ッ過榊休左衛門、昨日被參候礼として一刻入来ニ而

候、藤野小兵衛・和田六郎・四本三十郎玄喚迄入来ニ

而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被參候事、

八月廿日、晴、乙酉 四ッ後暫雨、

一今日は終日宅別勤之筋、合月番桂内記殿江頼合出勤不致候事、

一今八ッ後より一昨日相招候外之書役共相招、入来之人

数、蒲生彦左衛門・伊集院伊右衛門・永山清兵衛・大脇安兵衛・榎本九八郎・折田善之丞・東郷孫八・藤野

小兵衛・西田次郎太ニ而候、左候而一昨日通之振廻いたし五ツ前比皆々相帰候、尤孫八・小兵衛・次郎太ニは亭主振として相招候事、

一八ツ後より亭主振として桂内記殿入来、尤鎌田喜平太

ニ茂入来ニ而候事、

一今日より穎娃織部殿湯治ニ付、跡地頭所并ニ支配下拙者預り居候事、

八月廿一日、晴、庚戌、

一今日四ツ前出勤、八ツ後御下りより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一今日は初而之 御目見候付、

(島津齊興)
大守様被遊御出座候事、

一牧仲右衛門江慎申渡有之、八ツ後於此方使者間進達掛

枕山巖五郎より申渡、書役大脇安兵衛参り候事、

一榊林左衛門・藤野小兵衛・四本三十郎江、一昨日兩種・

肴等相送候礼として使差遣候事、

一暮時分より上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、五ツ半比被帰候事、

一今日は御か様初沖之村嶋津清太夫殿仮宅江被成御出候事、

一今朝出勤跡東郷孫八殿入来之由也、

八月廿二日、雨、辛亥
九ツ過より止
秋分、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供川口良之進ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参候事、

一拙者弓師匠平田平六兄平右衛門此以前及刃傷、家格小

番ニ而候を御小姓与ニ被召下、家屋敷御取揚ニ而候処、

此節門人中より合力ニ而家屋敷等取立方有之、右ニ付

我々共列より金子百疋ツ、差遣候申談之由承り、其通

今日差遣候事、

八月廿三日、晴、壬子、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一留主鎌田權右衛門殿入来之由也、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被參候事、

一去月廿二日南村郡見廻役、牛馬役兼務相立度願、用頼

相良清兵衛名前ニ而郡方江相付願出置候処、拙者直名

前ニ而表御用人江相付可願出旨、昨日御家老座より御

用人座取次ニ而鎌田喜平太承知ニ付、今日願書左之通

認直し明日差出筈ニ而候事、

御内意之覚

私持切在大始良南村之義は、先祖鎌田出雲守江一所之

(通傳)

地同様一円拝領被仰付、其以来余多之家来共召置、其

内役々召建置、諸御用向は勿論、内用向之儀も取扱為

致来候処、去年来勸農方之義分而被仰渡趣奉承知、難

有御趣意之程厚申渡、何篇急埒候様申付候へとも、

速々相弁兼候事而已ニ而甚心配仕候、然処郡見廻役之

義、是迄罷居不申、庄屋より諸事差引為致候得共、何

れ引受之役目無之候而は行届兼、勿論村中田畠仕付方より取納方迄之手数、時節不取後様諸下知為致候義、

專郡見廻庄屋所持之役職ニ而候処、庄屋迄ニ而は諸事

不行届、御用弁いたし兼候付、此節郡見廻役老人家来

之内より被召建被下度御内意を以奉願候、右通於被仰

付は、牛馬役之義も郡見廻より兼務ニ而御用向取拵被

仰付度は又奉願候、左様御座候へ、諸御用向速々相弁、

誠ニ田畠仕付方等之諸下知混と引受為致取扱度奉存候

此等之趣被仰上可被下義奉願候、以上、

但願通於被仰付は人物之義は追而可奉伺候、

已八月

鎌田刑部(定辨)

一暮前より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻四ツ時分被

帰候事、

一古山風刀拵方今日都而出来候事、

八月廿四日、曇、癸丑 間々雨

一今日四ツ前出勤、八ツ後御下より帰家、供山次左衛

門ニ而候事、

一留主ニ鎌田愛太夫殿入来之由候事、

一八ツ後相帰候処、嶋津清太夫殿入来ニ而暫相咄被帰候

事、

一昨日留置候南村郡見廻役願書、今日御用人座書役上村

源七殿江相頼差出候事、

八月廿五日、曇、甲寅 八ツ後暫
風雨

一今朝六組之士角入前髪取面会有之、五ツ時罷出候様為

触置、四ツ前迄之間大形相揃向人不罷出者有之候へと

も、右は於 御殿ニ面会可致旨書役江相達、有馬十郎

外ニ拾三人相揃候分面会いたし、進達掛柏原矢市郎引

進ニ而候、尤書役川崎良助参候事、

一前条面会相濟直ニ出勤いたし、八ツ後御下りより帰家、

供川畑源之助也、

一(鎌田正方)泰心院様御忌日ニ付、南林寺御墓江代参川口良之進江

申付候事、

一夕方役所江鎌田喜平太入来、内江も一刻被参候事、

八月廿六日、晴、乙卯、

一今朝四ツ前出勤掛森川利右衛門殿江用事有之一刻参り

夫より出勤、八ツより帰家、供川口良之進ニ而候也、

一南村柙掛園田六郎左衛門用向候付、出府之届申出土産

物差出候事、

八月廿七日、曇、丙辰 七ツ後より雨

一今日四ツ時出勤、八ツ後御下りより帰家、供角野喜左

衛門ニ而候事、

一今朝鎌田喜平太入来、日當山高帳江拙者証印押方被致

候事、

一八ツ後逼塞赦免、左近充彌右衛門江被仰付候付、於此

方ニ申渡、進達掛坂元九郎右衛門入来、引進ニ而候、

書役は差支不参候事、

一濱田本覺院去ル廿四日之看経として今日参り候事、

一七ツ後仁禮善左衛門殿入来、暫相咄被歸候也、

八月廿八日、晴、丁巳、

一今日四ツ前より出勤、八ツ後御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

但御礼日ニ付被遊

御出座候へとも、御礼席江は不罷出候也、

一少将様御附女中妊娠之処、去月廿八日晝、御男子様御

誕生被遊、御名寛之助様と被進、左候而別段御思召之

訳被為在、嶋津之御称号此様之字御用以後、公義江御

届之上松平之御称号、此様之字御用被遊候旨、月次御

礼罷出候面々迄奉承知候様御通達有之候事、

一夕方役所江鎌田喜平太入来、内江茂一刻被參候事、

一園田六郎左衛門、櫛楮掛申付候而より未誓詞不致候付、

今日於役所ニ誓詞血判為致喜平太被見届候、右ニ付礼

として種代三百文差出候事、

一桂家御祖母様御入来ニ而候事、

八月廿九日、晴、戊午、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太一刻入来也、

一南村園田六郎左衛門今日暇為取相歸候也、

但六郎左衛門義下代引統首尾能是迄相勤候付為心得

金子三百疋為取候事、

九月朔日、晴、己未、

一今日玄朗様御正忌日ニ付、御位牌所江上下着用ニ而拜

礼向香いたし、且福昌寺御墓江川口良之進代參上下着

用ニ而申付候事、

一今日四ツ時出勤、御礼日ニ付被遊御出座候へとも、御

礼席江は不罷出、左候而八ツ後退出より、同席中宮之

原主計殿宅江招ニ付参り夜入五ツ時分帰家、供川口良

之進、夜入帰ニは川畑源之助ニ而候事、

但肴一折同席中より差遣筈ニ而、此方より取束相送

候事、

一南村役人岩元助太夫、横目肥後軍兵衛・森田十左衛門
出府之届申出候、尤市田家へ遣有之候南村高式門取返
し方一件ニ付参り候事、

九月二日、曇、庚申 四ツ後少雨、
暮前より雨、

一今日四ツ前出勤、四ツ後より八ツ星別勤ニて演武館、
川上權次郎劍術不時見分として鳴津要人殿兩人出席、
夫より暫弓之事見物いたし九ツ時分帰家、供角野喜左
衛門ニ而候事、

一夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候也、
一頭娃織部殿湯治跡福山地頭預り居候処、触役勤続キ有
之、御受之礼として役所迄参兩種料差出候事、

九月三日、晴、辛酉、

一今日は四ツ前出勤、八ツ星別勤ニて四ツ後より演武館、
小野郷右衛門劍術、田代新右衛門長刀、不時見分とし

て鳴津久馬殿・義岡藏人殿相役ニ而出席九ツ前帰家、
尤出勤掛桂内記殿宅江一刻参候、供山次左左衛門ニ而
候事、

一九ツ過より桂内記殿・同氏岩次郎殿入来、同道いたし
いしき別業江参、跡より桂眞十郎殿ニも被参、左候而
暮前打立帰家、供川口良之進ニ而候也、

但御か様ニも被遊御出候事、

九月四日、晴、壬戌、

一今日は終日別相頼出勤不致候也、
一今朝小与頭毛利作十郎殿、支配下願書内見物ニ付一刻
入来ニ而候事、

一八ツ後より有川藤左衛門殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平
太殿被参候様申遣置追々入来ニ付、市田右近殿方へ
以前より遣有之候南村式門之高、此節取返し之相談い
たし、南村家来共二門共取返し、其内式拾石位は藏方
取返し之筋内決いたし、左候而暮時分有川氏は被帰、

上村氏・鎌田氏は酒肴一通振廻四ツ前比被帰候事、

但南村肥後軍兵衛義は高代不足、才覚として今日早

々差返し候也、

一森田十左衛門此内横目申付候誓詞今日於役所申付、喜
平太殿血判被見届、礼として種代三百文差出候事、

九月五日、晴、癸亥、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候
事、

一幕前より和田中太夫殿入来、七ツ後より役所へ鎌田喜
平太被参居、是も内江入来、酒肴一通振廻四ツ過比被
帰候事、

九月六日、晴、甲子 夜入四ツ過より雨、

一今日四ツ前出勤、九ツ過より頼合演武館梅田九左衛門
鎗術不時見分として、義岡藏人殿相共ニ出席八ツ前帰
家、供川口良之進ニ而候也、

一七ツ後森川利右衛門殿一刻入来ニ而候事、

一妙国寺無参和尚、明後日上京之由暇乞として一刻来儀

ニ而候事、

一南村役人岩元助太夫先日より出府いたし候付、夕方召
呼万端之義直ニ申付置候事、

一大鐘過より桂眞十郎殿入来、酒肴一通振廻四ツ半過比
被帰候事、

一甲子祭ニ付濱田本覺院参り候事、

九月七日、晴、乙丑 朝雨、夜入四ツ過より雨、

一今日は宅容貌見分式日前ニ付、支配下小与一番三番見
分人数召出見分并ニ教諭等いたし、進達掛相良市郎左
衛門引進ニ而候、書役藤野小兵衛参り相勤候事、

一前文ニ付終日別勤にて候事、

一夕方役所江鎌田喜平太入来、内江も被参、且日入時分
より桂内記殿入来、酒肴一通振廻四ツ過比被帰候也、
一妙国寺無参和尚明日上京ニ付、為(殘)残別蠟燭三拾挺相送

候事、

一七ツ後鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候事、

九月八日、曇、丙寅 八ツ後大雨、

一今日は終日別勤之筋頼遣出勤不致候事、

一今朝森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

一市田右近殿方へ遣有之候高取返方今日相談相決、岩元

助太夫・森田十左衛門市田家へ差越、一門分星旗門名

寄帳受取持帰り候付、此方へ相受取候、左候而助太夫

・十左衛門今晚暇申出南村之様相帰候、跡一門は近日

中南村より肥後軍兵衛參候迄取返之筈ニ而候事、

但高一石ニ付式拾五貫文ツ、ニ而相談相濟、今日金

子之義も入付候、尤元市田家へ遣候節右通直段ニ而

候事、

九月九日、曇、丁卯、

一今日重陽ニ付被遊

御出座五ツ半過より出勤、御礼席江罷出、左候而九ツ

前頼合御暇いたし帰家、供山次左衛門・川口良之進

ニ而候也、

一為当日之祝義内迄入来之人、永山清兵衛殿・鎌田吉左

衛門殿・東郷孫八殿・鎌田喜平太殿・長谷場越之助殿

・鎌田權右衛門殿・毛利理右衛門殿・堀直四郎殿・鎌

田圓窓殿ニ而候事、

但毛利氏は二男召列被參候事、

一外迄見舞之衆段々有之候へとも繁多ニ付略し候事、

一夕方鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候事、

九月十日、曇、戊辰、

一今日は不快ニ付頼遣出勤不致候事、

一今日隆香様御忌日ニ付福昌寺御墓所江代參、且興国寺

(鎌田政虎)

墓所江当月は未代參不為致候付、今日代參山次左衛

門江申付候事、

一疝癩氣ニ而昨夜より下し候付前田圓心江申遣、嫡子圓

齋四ツ前見廻ニ而棄用いたし候也、

九月十一日、雨、己巳、

一 今日迄は疔癩氣ニ而未寸切と無之候付頼遣出勤不致候事、

一大鐘時分より和田源太兵衛殿・仁禮善左衛門殿入来、暮時分より堀直四郎殿ニ茂入来、酒肴一通振廻四ツ前比被帰候事、

一 穎娃織部殿より昨日湯治帰り土産物被送候付、礼として使川畑源之助差遣候也、

九月十二日、晴、庚午、

一 今日は疔癩氣快候付四ツ前より出勤いたし、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 高章院様・高穂院様御忌日ニ付、南林寺御墓所江代参(鎌田正昌)
(鎌田正統)
野喜左衛門江申付候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而、内江も一刻被参候

事、

一 七ツ後家村彦九郎殿一刻入来ニ而候、尤歩行具足借用いたし度承候へとも相断候事、

一 穎娃織部殿今日より湯治帰り御届ニ付、地頭所并ニ支配下次渡候事、

一 鎧箱内張方去ル九日より張付相頼、今日迄ニ而出来候事、

九月十三日、晴、辛未、

一 今日四ツ前出勤いたし、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 大鐘過より桂内記殿・和田中太夫殿入来、暮過より堀直四郎殿・森川孫八郎殿入来、且役所江鎌田喜平太殿被参居是も内江入来、酒肴一通振廻九ツ時分ニ而も候半何れも被帰候事、

九月十四日、曇、壬申

八ツ前より
漸々雨

一今日は終日別勤之筋相頼出勤不致候事、

一今日は伊敷別荘ニ而歌会相催、九ツ時分より桂内記殿

入来ニ而同道致参り、跡より森川孫八郎殿・新納嘉殿・

堀直四郎殿・和田孫右衛門殿・宮里新助殿追々被参、

鶏汁・飯・酒肴一通振廻、弁当持参候向も有之、左候

而夜入八ツ過比帰家、供山次左衛門ニ而候也、

一役所迄鎌田喜平太殿夕方入来之由候也、

九月十五日、曇、癸酉 間々雨、

一今日四ツ前出勤、被遊

御出座候付御礼席江罷出、左候而八ツより退出掛二階

堂左門殿明日御差図御用承知之由承候付、川上式部殿

同道ニ而一刻祝義ニ参り帰家、供川口林之進ニ而候事、

一穎娃織部殿地頭所福山、此内預り居候礼として郷土年

寄役所迄参り兩種差出候事、

一御か様御誕生日ニ而山王宮江被遊御参詣候、左候而家

内中祝いたし候也、

九月十六日、曇、甲戌 夜中雷雨

一今日四ツ時出勤、八ツより二階堂左門殿大目付江御役

替候付、内証玄喚迄祝義ニ参り帰家、供川畑源之助也、

九月十七日、雨、乙亥、

一今日は終日別勤之筋頼遣出勤不致候事、

一八ツ後より川上式部殿・穎娃織部殿同道伊敷別業江参

管候処雨天ニ付取止、此方迄相招退出より直ニ入来座

付飯振廻、大鐘時分より山澤甚五右衛門殿入来、且桂

内記殿・和田中太夫殿江も申遣追々入来、役所江鎌田

喜平太被参居、是も内江被参、尤吸物・酒肴等振廻、

夜入五ツ半比より追々被帰、内記殿は被泊候事、

一朝鎌田喜平太殿江申遣入来ニ而候、尤南村郡見廻役

願ニ付御記録所より、南村是迄之任向等由緒糺ニ付書

付相認被差出候様相渡候、且右書付清書方ニ付、役人

濱田休左衛門不束之義有之候付、昨夜直ニ茂叱置、尚又

喜平太殿より向後万端心掛物事埒明候様可被相違旨、

且是迄之扶持米より老石八斗相重、都合五石四斗可為
被取候付、山奉行所手伝之方は相断、役人一篇相動候
様内沙汰被致、当人返答之向ニ依、何れ之筋可取究旨
相達置候事、

九月十八日、晴、丙子、

一 今朝桂内記殿御帰りニ而候事、

一 今日四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ

而候事、

一 八ツ後より堀四郎左衛門殿入来、大鐘比迄相咄被帰候

事、

一 七ツ後森川孫八郎殿入来、大鐘過迄相咄被帰候事、

一 大鐘時分上村半兵衛殿入来、暫相咄被帰候事、

一 暮過より大河平小左衛門殿・池田仲之助殿入来、酒肴

一通振廻四ツ過比被帰候事、

九月十九日、雨、丁丑

夕方より止、
四ツ前雷、

一 今日東郷藤兵衛流義劍術、御家老衆・大目付衆見分

ニ付、五ツ時より演武館江出席、合役頼娃織部殿、左

候而四ツ時初りニ而九ツ過相濟即帰家、供川口良之進

ニ而候事、

一 大鐘過より鎌田藤之丞殿入来、酒肴一通振廻四ツ時分

被帰候事、

九月廿日、曇、戊寅 四ツ前より晴、

一 今日茂東郷藤兵衛流義、御家老衆・大目付衆見分ニ付

五ツ時より演武館江出席、合役北郷男吏殿・頼娃織部

殿、左候而四ツ時初ニ而九ツ過相濟直ニ帰家、供山次

左衛門ニ而候也、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被參候事、

九月廿一日、晴、己卯、

一 今日四ツより出勤、八ツより帰家、供川畑源之助、後

山次左衛門ニ而候事、

一大鐘過より鳴津清太夫殿内意事ニ付、森川利右衛門殿

江一刻参り、夫より桂岩次郎殿宅江和田源太兵衛殿劍

術式日ニ付参り暮時分帰家、供川口良之進ニ而候事、

一相帰候処、桂真十郎殿被参居、且相良清兵衛殿昨夕田

舎より被帰候由入来、酒肴一通振廻四ッ過比被帰候事、

九月廿二日、晴、庚辰、

一今日四ッより出勤、八ッより帰家、供角野喜左衛門ニ

而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候也、

九月廿三日、雨、辛巳

晝より大雨、
四ッ後より止、

一今日四ッ前出勤、四ッ後頼合御暇ニ而帰家、供山次左

左衛門ニ而候事、

一今日は方祭ニ而七ッ後より相招被参候人、桂内記殿・

同真十郎殿・鎌田曾兵衛殿・上村半兵衛殿・鎌田吉左

衛門殿・池之上良右衛門殿・鎌田喜平太殿・相良清兵

衛殿ニ而、吸物一ッ・酒肴・飯振廻五ッ時過比より追

々被帰候事、

但内記殿・曾兵衛殿・半兵衛殿・吉左衛門殿・良右

衛門殿より肴一折ッ、被遣候、尤良右衛門殿は此内

牛皮貫候付、右礼旁ニ付初而相招候故上下着用ニ而

被参候事、

一桂家御祖母様ニも被成御出候事、

九月廿四日、曇、壬午、

一今日四ッ時より出勤、八ッより帰家、供川口良之進ニ

而候事、

一大鐘前より鎌田佳藤太殿入来、緩々被相咄酒肴一通振

廻八ッ過比被帰候事、

一桂吉左衛門殿一番組札方書役此内拙者召入置候付、右

礼として吉左衛門母兩種持参ニ而候事、

一濱田本覺院看経ニ付参り候事、

九月廿五日、曇、癸未、

良之進ニ而候事、

一今日は終日別勤之筋相頼出勤不致候事、

但主計殿大目付へ転役より初而参り候付、肴一折祝

一札改ニ付此方内改之帳面札今日差出候旨、役人休左衛

義旁ニ差遣候也、

門より承候事、

一市田右近殿方へ遣有之候福山門・星旗門高取返し方、

一九ツ時分より桂岩次郎殿入来、同道いたし伊敷別業江

此内星旗門之分は取返し候付、此節金子調達いたし今日福山門取返し、役人休左衛門差越名寄帳受取候事、

参り暮時分帰家、供川畑與八、後川口良之進ニ而候事、

但藏方江は式拾石余取返し、余は南村之者共都而取

一役所江夕方相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

返し候事、

九月廿六日、雨、甲申、

一今朝五ツ過より森川利右衛門殿・町田監物殿江鳴津清

九月廿七日、晴、乙酉、

太夫殿御内意一件ニ付相談之義有之参り、左候而出勤、

一今日四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ

八ツより帰家、供川口良之進ニ而候事、

而候事、

一昨日差出候札改今日迄ニ而相濟候段、役人休左衛門よ

一今朝森川孫八郎殿一刻入来ニ而候也、

り承り候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一七ツ後より飯牟禮八郎殿入来、大鐘過迄相咄被帰候也、

一暮時分より森川利右衛門殿江招ニ付参り、合客池田仲

一大鐘過より二階堂主計殿宅江川上式部殿・川上龍衛殿

之助殿・堀直四郎殿ニ而候、左候而九ツ過比帰家、供

申談参り四ツ過迄相咄帰家、供山次左衛門、後川口

川口良之進、後川畑源之助ニ而候事、

九月廿八日、晴、丙戌、

一今日四ツ前より出勤、

太守様(島津齊興)被遊御出座御礼席江罷出、四ツ後頼合御暇ニ而

帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一今朝出勤跡相良清兵衛殿入来之由也、

一七ツ後仁禮善左衛門殿、明日より旅行之由ニ而一刻入

来ニ而候事、

一池田仲之助殿明日江戸江出立候付、為(残)残別着一折差遣

候事、

一池之上上良右衛門殿江此内牛皮貰候礼として、小倉袴地

壹反・着一折差遣候事、

一今晚和田中太夫殿入来ニ而候へとも、ちと不快ニ有之

相断候事、

一泰光院様御忌日ニ付、南林寺御墓所江代参川畑源之助(鎌田正方)

江申付候事、

一夕方濱田本覺院参り候事、

九月廿九日、晴、丁亥、
夜入四ツ時分
雨少降

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候

事、

一番所詰川口良之進代り大久保善助今朝出府之届申出、

土産物差出候事、

一大鐘時分より桂真十郎殿入来、夫より桂内記殿ニも申

遣候而入来、暮時分より和田中太夫殿入来、且役所江

相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿被参居、是茂内江被参、

暮過より和田源太兵衛殿・森川孫八郎殿ニも入来、酒

肴一通振廻四ツ過比被帰候、源太兵衛殿・孫八郎殿ニ

は少早目被帰候事、

一今晚川井田清右衛門参り候事、

九月晦日、晴、戊子、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供山次左衛門、
後角野喜左衛門也、

一市田右近殿より先日此方より彼方へ以前より遣有之候

南村二門之高取返候付色々々セ話ニ預り候との事、右礼として兩種被遣候事、

一夕方より役所江相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、内江も被参候付、内用向之義共緩々相談いたし、酒肴一通振廻候而九ツ前比ニ而も候半被帰候事、

一番所詰川口良之進今日暇申出南村へ相帰候付、紙包為取候事、

十月朔日、晴、己丑、

一今日四ツ時早目出勤、御礼日ニ付、

(島津齊興)
太守様被遊 御出座御礼席江罷出、左候而四ツ後頼合

御暇いたし、市田右近殿へ昨日兩種被送候礼として内玄喚迄参り帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一角野喜左衛門・川畑源之助・山次全左衛門江着下り袴一着ツ、川畑與八取次を以為取候事、

一役人濱田休左衛門山奉行所手伝兼務ニ而候へとも、彼方は相断役人一篇之勤いたし候様、鎌田喜平太殿より

内沙汰可被致先日相達置、尤有川藤左衛門殿・上村半

兵衛殿江も相談いたし置候処、其内相良清兵衛殿田舎より被相帰、吟味之趣は一先是迄之通ニ而、此方役所へ住居相拵混と相住居候様申付候而は如何可有之哉之旨承候付、先其通許容いたし置、尤其仕義ニ相成候へ

、是迄三石六斗之扶持米ニ而候へとも、都合四石為取候筋可然内定ニ而候、左候而追々依向は此方役人一篇之勤申付筈、昨夜清兵衛殿・喜平太殿申談置候事、

一南村役人森田十兵衛断申出、願通差免以來相談事等江は出会いたし候様申付候筋、且右代り役等之義昨夜清兵衛殿・喜平太殿相談いたし相決候事、

但十兵衛代役人森田十郎左衛門江申付、神田榮右衛門役人格ニ而是迄之通与頭勤申付、十郎左衛門江扶持五斗、榮右衛門江同四斗、先役岩元助太夫江五斗加増ニ而、都合老石為取候筋相究候事、

十月二日、曇、庚寅 四ツ前より晴

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後相濟帰家、

供大久保善助ニ而候事、

一昨日鎌田殿近玄朗様御忌日ニ付、福昌寺御墓所江代參川畑源之

助江申付候、留後故今日之場江記置候事、

一四ツ後より鎌田喜平太殿入来、同道いたし伊敷別業江

棧敷作用杉立方として参り、追付跡より相良清兵衛殿

ニ茂被参候、左候而暮前打立帰家、供大久保善助、且

役人濱田休左衛門ニも召列候、御か様杯ニ茂唐芋取と

して被成御出候事、

十月三日、晴、辛卯 夜中雨、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而

候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参候事、

一一昨朔日濱田休左衛門兄志々目金次郎江着下り上下一

着為取候処、右礼として肴一折差出候、尤此内刀縁差

出、拙者貫置候、右旁ニ付此節上下為取候事、

十月四日、曇、壬辰 後晴、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後帰家、供

川畑源之助也、

一七ツ後森川利右衛門殿江嶋津清太夫殿内意事ニ付一刻

参り候事、

一森川氏より帰り掛薬師ばニ而此方馬ニ乗候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被参候而五ツ時

分被帰候、尤酒肴一通振廻候事、

一花棚村より初石取納相成候事、

一川上十郎左衛門師死去之由、今晚葬敷ニ付見立野辺迄

差遣候事、

十月五日、晴、癸巳、

一今朝上井甚七殿一刻入来ニ而候、尤仕廻次第江戸出立

被仰付候由ニ而被参候事、

一今日四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ

而候事、

一八ツ後より毛利理右衛門丈入来、暮前迄相咄被帰候事、

(鎌田政宣)
一月船様御忌日ニ付、興国寺御墓所江代參山次左衛門
江申付候事、

十月六日、晴、甲午、

一九ツ時分より上村半兵衛殿入来、同道いたし伊敷別業

一今日は講堂別勤にて四ツ時より出席、四ツ後帰り掛川
上十郎左衛門師去ル三日死去ニ付悔として参り、舍弟
箭七郎殿江逢候而帰家、供川畑源之助ニ而候事、

江参り、七ツ時分より穎娃織部殿・桂内記殿、且有川
藤左衛門殿追々被参、夜入六ツ半比打立相帰候、供大
久保善助ニ而候事、

一九ツ時分於樂師ば、ニ馬ニ乗候事、

一留主ニ堀四郎左衛門殿・有川藤左衛門殿入来之由候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿・上村半兵衛殿入来、暮時分
より上村氏は内江被参、酒肴一通振廻四ツ時分被帰候
事、

一役所迄相良清兵衛殿入来之由候事、
一南村より初石百五拾俵程相届候事、

一今日より(島津有興)太守様指宿江為御湯治被成 御光越候事、

十月八日、晴、丙申、

十月七日、晴、乙未、

一今朝鎌田藤次郎殿一刻入来也、
一今日四ツ時出勤、八ツ後迄同役中申談之義有之御下り

一今日は宅容貌見分式日ニ而、四ツ時支配下小与一番津
曲三之助・山下半助・曾木尚助召出見分彼是教諭いた
し、進達掛川上斑之進席詰、書役東郷孫八相勤候事、
一前件ニ付終日別勤にて出勤不致候事、

後帰家、供山次左衛門ニ而候事、
一七ツ時分より役所江鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来
ニ而候事、

十月九日、晴、丁酉、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 去ル辰七月廿日地頭所日當山郷士共江御褒美被仰付候芭蕉布此節相渡、右受取方として年寄兒玉村右衛門・地頭横目園田喜太郎役所迄参り、兩種料并ニ土産物差出候事、

十月十日、晴、戊戌、

一 今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 隆香様御忌日ニ付、福昌寺御墓所へ代参大久保善助へ(鎌田政虎)申付候事、

一 八ツ後森川孫八郎殿一刻入来、尤明日より暫旅行之由候事、

但本文ニ付包煙草相送候事、

十月十一日、晴、己亥、

一 今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供大久保善助ニ而候事、

一 青山善助師昨日江戸より着之由、拙者留主ニ外迄見廻ニ而候、右ニ付肴一折相送、使川畑源之助ニ而候事、

一 今日亥の日餅相居り毎之通規式いたし候事、

一 八ツ過より堀四郎左衛門殿入来、七ツ後迄相咄被帰候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も被参酒肴一通振廻五ツ過迄相咄被帰候、尤明日より又々他行之筈候事、

一 桂内記殿より金子式両丈無拠取替之相談有之、清兵衛殿江談合之上尅両取替差遣候事、

但当月中返弁之相談ニ而候事、

一 今朝役所江鎌田喜平太殿一刻入来也、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時より出席、四ツ後夫より南

十月十二日、晴、庚子、

林寺墓所江高章院様・高穂院様御忌日ニ付參詣、夫よ

り嶋津清太夫殿宅江參り八ツ前迄相咄歸家、供山次左

左衛門ニ而候事、

一大鐘時分より桂内記殿・同眞十郎殿入来、且役所江鎌

田喜平太殿被參居、内江も入来ニ而酒肴一通振廻四ツ

時分皆々被帰候事、

十月十三日、晴、辛丑、

一今日は終日別勤之筋頼遣出勤不致候事、

一四ツ後より伊敷別業江參り、唐芋取ニ而御か様ニ茂被

成御出、左候而七ツ後打立歸家、供大久保善助也、

一留主ニ桂内記殿外迄入来之由候也、

一南村より取納米百七拾俵程相届、初石より二度目ニ而

候事、

十月十四日、晴、壬寅、

一今日は講堂別勤ニ而四ツ前桂内記殿江用事有之參り、

夫より出席四ツ後歸家、供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ後より役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一七ツ後伊東傳右衛門殿一刻入来ニ而候、尤先日川上拾

郎左衛門師病死ニ付、是迄被下置候御切米等諸事嫡子

十郎江是迄之通被仰付度内意書、拙者共流義掛ニ付内

意承り、外掛市田右近殿・嶋津相馬殿ニ而、右江は拙

者より取成與との趣承候付其通請合候事、

一今夜八ツ時比出火之旨走働いたし候得共、火元不相知
候付出役不致候事、

一九ツ時分薬師ばよニ而馬ニ乗候事、

十月十五日、雨、癸卯 八ツ前より降出し、
夕方より晴上ル。

一今日四ツ前出勤、八ツより歸家、供大久保善助ニ而候

事、

十月十六日、晴、甲辰、

一今日四ツより出勤、八ツより歸家、供山次左衛門ニ

而候事、

- 一 大鐘時分樺山四郎左衛門殿入来、暮前迄相咄被帰候事、
- 一 上并甚七殿近日江戸出立之筈ニ而、今晚(總)殘別咄ニ相招暮時分より入来、外ニ和田源太兵衛殿・同六郎殿・堀直四郎殿入来、吸物一ツ・酒肴・飯振廻、四ツ過迄相咄被帰候事、

十月十七日、晴、乙巳、

- 一 今朝五ツ半比出勤掛嶋津豊後殿江桂岩次郎殿、当番頭御役内意ニ付参り、左候而出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、
- 一 南村取納米百六拾俵程相届、初石より三度目ニ而候事、
- 一 大鐘過より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ前比被帰候事、

十月十八日、晴、丙午 七ツ後より少々雨、夜中追々降、

一 今日日は講堂別勤ニ而四ツ時出席、四ツ後夫より調所笑

左衛門殿、江戸表江近日出立之由ニ而暇乞として表玄

- 一 関迄参り、左候而帰家、供川畑源之助ニ而候事、
- 一 七ツ後より桂内記殿入来、同道いたし尾畔紅葉最中ニ付彼辺歩行いたし、左候而又々此方へ入来、且役所江鎌田喜平太殿被参居内へも入来、酒肴一通振廻、四ツ過迄相咄一所ニ被帰候事、

但内記殿嫡孫五百鶴殿被召列入来ニ而候へとも一刻ニ而被帰候事、

- 一 市來清十郎殿・永山清兵衛殿姉病死ニ而引入被居、悔として何れもより使川畑與八差遣候事、

十月十九日、晴、丁未、

- 一 今日四ツより出勤、八ツより帰家、供大久保善助ニ而候事、

一 役所江夕方鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参、且三男召列被参候也、

一 桂岩次郎殿方より飯料米無抛相談ニ付、老俵合力いた

し候筋、喜平太殿相談之上相決差遣候事、

一暮前より鎌田藤之丞殿入来、酒肴一通振廻、九ツ時分被帰候、尤不差入長咄被致ニ付ちと沙汰いたし置候事、

十月廿日、晴、戊申、

一今日四ツより出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一七ツ後薬師ば、ニ而馬ニ乗候事、

十月廿一日、晴、己酉、

一今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一南村与頭森田十郎左衛門・神田榮右衛門、今日出府之届申出候、尤役目替申付筈ニ而此内用頼より御用申越被置候事、

一馬医師入江七太郎殿江馬拵方等度々相頼候礼として肴

一折差遣候也、

一暮時分より和田中太夫殿入来、且役所江鎌田喜平太殿

被参居、内江も入来ニ而酒肴一通振廻、四ツ過被帰候事、

十月廿二日、曇、庚戌、

一今日四ツより出勤、四ツ後頼合御暇ニ而帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一今日八ツ後森田十郎左衛門・神田榮右衛門江役目替、

拙者直申付之筋ニ而、於使者間用頼鎌田喜平太殿より左之通被申渡、誓詞血判被見届候事、

一役人

一役料米五斗

森田十郎左衛門

右之通申付候、

十月

一役人格

一組頭勤

一 役料米四斗

神田榮右衛門

右之通申付候、

十月

一 役人岩元助太夫江役料米五斗加増申付、喜平太殿より

左之通名代江被申渡候、

一 役料米五斗

岩元助太夫

右之通御加増被仰付候、

十月

一 右申渡相濟、十郎左衛門・榮右衛門より兩種料青銅百

疋ツ、并ニ土産物差出候事、

一 先度森田十兵衛役人願通差免候節以来何ゾニ付相談事

等出会いたし、心添いたし候様申付候旨用頼より役人

方へ被申越、役人より十兵衛江は申渡候様被申越候、

右ニ付此節十兵衛より土産物差出候事、

一 南村取納米百七拾俵余昨日相届、初石より四度目ニ而

候事、

一 八ツ前より鎌田喜平太殿役所江被參、尤内江も入来、

且役目替等申付方被致候事、

一 今朝永山清兵衛殿、拙者留主ニ入来ニ而候事、

十月廿三日、晴、辛亥、

事、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供大久保善助ニ而候

一 今朝森田十郎左衛門・神田榮右衛門南村之様相帰候暇

申出候付、榮右衛門招呼、尚又万端行届候様精勤可致

旨申付置候、尤暇ニは榮右衛門迄參り十郎左衛門ニは

不參候、右ニ付対面不致候事、

一 夕方より役所江鎌田喜平太殿入来、暮時分より内江嫡

子政十郎殿同伴ニ而被參、酒肴一通振廻、四ツ過比被

帰候事、

十月廿四日、晴、壬子、

一今日は講堂別勤ニ而候得共、同役川上式部殿江頼合不致出席候事、

一 九ツ時分より和田中太夫殿同道伊敷別業江参り、跡より桂内記殿・山城垣道殿・鎌田喜平太殿被参、左候而夜入五ツ前比打立帰家、供山次左衛門ニ而候事、
一看経ニ付濱田本覺院参り候事、

十月廿五日、晴、癸丑 暁少々雨、

一 今日四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 今朝鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

一 八ツより相帰候処、堀四郎左衛門殿被参居、暫相咄被

帰候事、

一 泰光院様御忌日ニ付、南林寺御墓所江代参川畑源之助

江代参申付候也、

一 役所迄夕方鎌田喜平太殿入来ニ而候也、

十月廿六日、晴、甲寅 間々時雨、

一 今朝西田次郎太殿入来ニ而候事、

一 今朝鎌田政十郎殿入来ニ而候事、

一 今日は講堂別勤ニ而四ツ時出席、四ツ後帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参候事、

十月廿七日、晴、乙卯 間々時雨、

一 今朝永山清兵衛殿一刻入来ニ而候也、

一 清水中宿家来山伏八木深性院此内上京ニ而院号相成、

罷下候由ニ而昨夕大峯札等持参いたし候旨、役人濱田

休左衛門より披露承候付、今朝一刻対面いたし候事、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供大久保善助ニ而候

事、

一 祝井吉左衛門殿方へ取繕威直し頼入置候鑑、昨夕袖之分出来いたし候得共、赤銅金物之場ニ所赤かねニ而候付、間違共ニ而は無之哉之旨、役人濱田休左衛門江、

川畑源之助差添今朝尋遣候処、最所彼方江被相受取候節、右金物ニ而候との事故、其節此方より慥成書付も不遣置、尤彼方より受取等慥成証拠無之、無是非仕合ニ付、先其通ニ而差置候事、

十月廿八日、晴、丙辰、

一 今日四ツ時出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 役所江鎌田喜平太殿七ツ後より入来ニ而、内江も一刻被参候事、

十月廿九日、晴、丁巳 四ツ前少雨、

一 今日四ツ前より出勤、九ツ過頼合御暇いたし、二階堂主計殿江頼事有之参り候処、折節留主ニ而夫形相帰候、供角野喜左衛門ニ而候事、

十一月朔日、晴、戊午、

一 今日四ツ前より出勤、八ツより退出、小野甚五左衛門殿親郷右衛門殿病死ニ付、忌中ニ而候間為悔門迄見舞帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 八ツ過より桂六郎次郎殿入来、寛々被相咄酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺御墓所江代参角野喜左衛門(鎌田政近)へ申付候事、

一 青山善助殿より江戸土産物被送候也、

十一月二日、晴、己未、

一 今日終日別勤之筋頼合出勤不致候事、

一 明後四日五日天気次第小幡加司馬所ニ而稽古能有之筈ニ而、今日棧敷付方いたし候、尤此節棧敷道具切込新調出来候事、

一 今日同役中五六輩伊敷別業江参答ニ而、四ツ後より川上式部殿、書役植木甚左衛門召列此方へ入来ニ付、同道いたし新上橋辺ニ而嶋津久馬殿・桂内記殿・頼娃

織部殿・菱刈孫兵衛殿頼合、且書役川崎良助ニも召列、
玉里御茶屋番鮫島八郎と申人植木甚左衛門知人ニ而案
内いたし、御茶屋内覗方いたし、夫より伊敷別業之様
参り、吸物一ツ・飯・酒肴振廻、夜入五ツ前打立帰家、
供山次左衛門、且角野喜左衛門先江差遣置候事、

十一月三日、晴、庚申、

一 今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供大久保善助、
後山次左衛門也、

一 青山善助殿江一昨日土産物被送候礼として使川畑源之
助差遣候也、

一 南村取納米百五拾俵余相届、初石より五度目ニ而候事、
一夕方より役所江上村半兵衛殿入来、当分鎌田喜平太殿

三日田舎江被差越居候付、取納首尾半兵衛殿江相頼、
左候而内江も被参、酒肴一通振廻、四ツ過被帰候事、

十一月四日、晴、辛酉 八ツ前より雨、

一 今日四ツより出勤、四ツ後より八ツ別ニ而、和田源太
兵衛剣術不時見分として菱刈孫兵衛殿兩人出席、左候
而帰家、供大久保善助ニ而候事、

一 八ツ後東郷孫八与方御用之義ニ付、鳴津久馬殿より為
使一刻入来ニ而候事、

一 八ツ前用頼江御用人座より只今御用有之、名代与方書
役江頼越候処、永山清兵衛左之通承知いたし候旨、書
付川畑源之助受取相帰り候事、

鎌田刑部家来

下築地町居住

札名金助元酒匂

仲左衛門妹 けさ

右は前之濱滞船等江差越、不埒成儀共及企、座料貰受
候間、糺方之上申出、此以前も同様之儀有之、会所預
為申付者候処、不顧其儀茂又々右仕形重疊不届之至候
付、申付様も有之候へとも吟味之訳有之、此節迄は不
及其沙汰候条、向後身分屹と相慎、諸所江酌取体ニ而

差越候義堅停止申付候、

右申渡、左候而会所末之間預り差免之条是又可申渡候、

十一月主計

但会所より役人御用ニ而右けさ相受取候様被達候、右ニ付即親親江役人濱田休左衛門より御書付之趣屹と為申聞候事、

十一月五日、曇、壬戌 間々少々雨、

一今日は終日別勤之筋頼合不致出勤候事、

一今日は小幡加司馬所ニ而稽古能有之、棧敷相決置候付五ツ時分より見物として差越、尤御か様にも(鎌田正純女子)鼎御列被成御出候、外ニ桂内記殿并ニ子供三人、上村半兵衛殿并ニ子共召人召列被參候、左候而大鐘時分相済帰家、
供川畑源之助ニ而候事、

十一月六日、晴、癸亥
夜入四ツ時分より雨

一今日四ツより出勤、八ツより帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一八ッ過上村半兵衛殿入来、暫相咄被帰候事、

一七ッ後上井甚七殿明後日江戸江出立之由、暇乞として

一刻被參候事、

一大鐘比より鎌田筑左衛門殿入来、酒肴一通振廻、四ツ

時分被帰候事、

一南村庄屋森田勘左衛門取納皆済首尾証文受取方として出府之届申出、土産物差出候事、

十一月七日、雨、甲子、

一今日四ツより出勤、四ツ半過より八ツ星別ニ而演武館東郷藤兵衛・田代新右衛門流義、不時見分として菱刈源兵衛殿兩人出席、九ッ過帰家、供大久保善助ニ而候事、

一今日月船様御正忌日ニ而、興國寺御墓所江代參川畑源(鎌田政富)
(鎌田正方女子)之助へ上下着用ニ而申付候、且楓林院様御正忌日ニ付、

龍護院墓所へ代参同人江申付候事、

但御位牌所江拙者上下着用向香拜礼いたし候事、

一今朝堀四郎左衛門殿相談事ニ付一刻入来ニ而候事、

一大鐘時分より森川孫八郎殿入来、暮過迄相咄被帰候、

尤先日他行より被帰候由、土産物被送候事、

一役所江夕方鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参候事、

一南村取納畠代銀四拾兩余、此度庄屋森田勘左衛門持参

ニ而皆済首尾相成、証文差出候旨濱田休左衛門より首

尾申出候事、

但勘左衛門今ばん暇申出南村之様相帰候事、

一上井甚七殿明日江戸江出立ニ付肴一折相送候事、

十一月八日、曇、乙丑、

一今日四ツより出勤、八ツより碓山將曹殿江堀四郎左衛

門殿勤内訴、神休左衛門を以申込置候処、叮嚀之返答

承候付、右一礼として内玄関迄見廻、左候而帰家、供

角野喜左衛門ニ而候事、

一島津主税殿此内より湯治被差越居、昨日帰候由ニ而土産品猪肉等被送候事、

一今日より役人濱田休左衛門病氣ニ而引入候事、

十一月九日、曇、丙寅、

一今日四ツ前より出勤、八ツより帰家、供山次左衛門

ニ而候事、

一八ツ後鎌田甚助殿一刻入来ニ而候事、

一鎌田曾兵衛殿丁子申受セ話いたし被具候付、礼として

猪肉一体遣候事、

十一月十日、曇、丁卯、
夜入四ツ過より雨、

一今朝四ツ早目出勤掛二階堂主計殿江頼事有之参り候処

留主ニ而夫より直ニ出勤、八ツより帰家、供大久保善

助ニ而候事、

一大鐘前より桂内記殿入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被

帰候事、

一 嶋津主税殿湯治ニ而鹿初矢被射候由、尤猪肉等一昨日被送候礼旁として肴一折遣候事、

十一月十一日、雨、戊辰 曇天ニ而間々雨、

一 今日四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 八ツ後より毛利理右衛門丈入来、大鐘時分迄相咄被帰候、七ツ時分桂岩次郎殿ニも入来ニ而、毛利氏少跡ニ被帰候也、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被参、夜入過より酒肴一通振舞候而四ツ時分被帰候事、

一 日當山横目井上伊右衛門病氣ニ付、役義断申出候旨、喜平太殿より披露承候付、今一往養生いたし相勤候様可被申渡旨相達置候事、

一 暮過大河平彦六殿一刻入来ニ而候也、

十一月十二日、曇、己巳 間々雨、夜中より強降、

一 今日四ツ時出勤、四ツ後より八ツ星別勤ニ而演武館、冷木彌藤次・篠崎七郎左衛門・梅田九左衛門流義、不時見分として嶋津權五郎殿・菱刈孫兵衛殿・拙者差越、九ツ前夫より高稔院様御正忌日、(鎌田正徳)高章院様御忌日ニ付、(鎌田正昌)南林寺御墓所江参詣八ツ前帰家、供山次本左衛門ニ而候事、

一 高稔院様御正忌日ニ付、御位牌所江上下着用ニ而向香拜礼いたし候事、

一 毛利理右衛門殿より同氏貞太郎寄締方願二階堂主計殿江相頼呉候様承、先日より両度参候へとも留主ニ而不逢取候故、今日於 御殿用達野村甚八殿を以相頼候事、

一 大鐘時分より堀四郎左衛門殿入来ニ而、暮時分迄相咄被帰候事、
一 拙者出勤跡鎌田藤次郎殿入来之由候也、

一 暮前大河平彦六殿一刻入来ニ而候事、

十一月十三日、曇、庚午 朝雨候より晴

一今日四ツより出勤、八ツより帰家、供大久保善助ニ而候事、

一今朝池水荒次郎殿一刻入米ニ而候、尤支配下勤願内見として被參候事、

一拙者留主ニ嶋津清太夫殿、同主税殿入米之由候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入米、内江も一刻被參候事、

一桂岩次郎殿方より飯料米之相談有之候付、考俵今日為合力差遣され候様、尤是迄内記殿杯より拙者へ直ニ相談有之候付、以来は彼方用頼役人間より此方用頼役人江相談有之候様、彼方役人招呼可被相達旨喜平太殿江達置候事、

一八ツ過日高與一左衛門殿一刻入米ニ而候、尤平田平六師弓術後見ニ而候付、此節平六家屋敷、門弟中より合力ニ而取立相成候付、来ル十八日矢初等いたし、左候而緩々可相咄候間、八ツ後より平六宅江可參との趣ニ候事、

十一月十四日、曇、辛未 間々雨、

一今日四ツより出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今日八ツ前於 御殿嶋津豊後殿より御用人小笠原敏取次ニ而、御目付川上四郎兵衛を以明日四ツ時御差図御用承知いたし候、右ニ付桂内記殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿・有川藤左衛門殿・毛利理右衛門殿江吹聴申遣候事、

一右御用承知ニ付八ツ後より夜入迄追々入来之人、桂内記殿・同六郎次郎殿・堀直四郎殿・市來十左衛門殿・森川孫八郎殿・東郷孫八殿・毛利理右衛門殿、尤有川藤左衛門殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿役所向諸都合等いたし被呉候、左候而酒肴一通振廻、九ツ時分迄之間追々被帰候、其内直四郎殿・孫八郎殿・藤左衛門殿ニはちと差支之由ニ而早目ニ被帰候也、

十一月十五日、曇、壬申 間々雨、

一今朝鎌田吉左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一今早朝より鎌田喜平太殿入来、五ツ半比より同道いた

し出勤、四ツ後於敷舞台左之通承知いたし候、

一御用人兼務、

一奏者番是迄之通、

御小姓与番頭

鎌田刑部

右之通被仰付候、

十一月 豊後

一右承知ニ付即御用人座江相勤、八ツ後御下りより嶋津

老岐殿・嶋津豊後殿・嶋津登殿・菱刈安房殿・猪飼央

殿・喜入多門殿・樺山伊織殿・末川久馬殿・嶋津中務

殿・二階堂主計殿・碓山將曹殿・川上東馬殿、取次御

用人小笠原轍殿、右御礼廻いたし且南林寺墓所江も参

詣大鐘過帰家、供山次左衛門・角野喜左衛門・大窪

善助・濱田伊兵衛、鑓・挟箱・合羽籠・長柄為持、尤

加籠ニ乗候、朝出勤之節供山次左衛門老人ニ而候事、

但嶋津老岐殿・嶋津豊後殿・二階堂主計殿江は内江

相通含候処、豊後殿・主計殿ニは病氣之由ニ而納殿

迄参り、老岐殿迄内江参り候也、

一右ニ付祝として入来之人、願娃織部殿・桂内記殿・同

六郎次郎殿・嶋津清太夫殿・同主税殿・堀四郎左衛門

殿・鎌田十五殿・鎌田曾兵衛殿・志和地源兵衛殿・日

置吉左衛門殿・堀直四郎殿・鎌田吉左衛門殿・市來十

左衛門殿・青山善助殿・東郷孫八殿、御用人座書役湯

地甚之丞殿・平田直之助殿・財部傳左衛門殿・上村源

七殿、尤小森八左衛門殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太

殿・同政十郎殿ニは何篇内用向セ話被致候、有川藤左

衛門殿ニは外ニ差支之由ニ而早日被帰候由、桂六郎次

郎殿ニも同断ニ而候事、

但本文人数より兩種又は肴一折銘々被遣候、其外嶋

津豊後殿・嶋津老岐殿・嶋津中務殿より兩種被送候

事、

一玄喚迄見廻之人は相略し候、尤今日より先之義も同断

相略し候事、

十一月十六日、曇、癸酉 八ツ後より少々
雨

一今日四ツ前出勤掛嶋津豊後殿江、昨日両種被送候礼として納戸迄参り、病氣之由ニ而御目ニは不懸、夫より出勤、八ツ後御下りより嶋津要人殿・新納主税殿・宮之原主計殿・倉山作太夫殿江同役廻りいたし、且顯娃織部殿・桂内記殿・桂岩次郎殿・毛利理右衛門殿江一刻ツ、参り、嶋津中務殿江昨日両種被送候礼として内玄喚迄参り七ツ過帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一今日中樺山四郎左衛門殿・和田源太兵衛殿・榊休左衛門殿・水間清右衛門殿・日置半兵衛殿・上村源七殿・池水荒次郎殿・志和地源兵衛殿・中村仲右衛門殿・鎌田眞助殿・森川孫八郎殿・鎌田吉左衛門殿・鎌田藤之丞殿追々入来ニ而候事、

一大鐘時分より桂内記殿入来、尤役所へ鎌田喜平太殿被参居、内江も入来候而酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候

事、

十一月十七日、雨、甲戌、

一今日四ツ時出勤掛同席伊勢雅樂殿玄喚迄見廻、夫より出勤いたし八ツ後御下りより退出、二階堂主計殿招候付、川上龍衛殿同道いたし参り、外ニ段々逢客も有之夜入五ツ過帰家、供大窪善助ニ而候事、

一今日中毛利理右衛門殿・田原源七郎殿・鎌田政十郎殿・村橋彦九郎殿入来ニ而候事、

十一月十八日、曇、乙亥 今朝壹寸位
雪積ル

一今日四ツより出勤、八ツ後御下り、退出より嶋津老岐殿江先日両種被送候礼として参り、興国寺・福昌寺墓所并ニ延寿堂へ参詣、川上龍衛殿・山田助左衛門殿・入来院平馬殿江同役廻いたし、且名越右膳殿先日見廻候付、礼として参り、高崎五郎右衛門殿ニも見廻、夫

より大鐘時分帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今日氏神祭ニ付、花棚村神主國生直記参り早朝祭方いたし、五ツ過拜礼いたし候、右ニ付夕方鎌田藤次郎殿

・鎌田喜平太殿被参逢候付、吸物一ツ・酒肴一通り振廻家内中祝いたし暮過ニは被帰候也、

一今朝朝桂内記殿・鎌田十五殿一刻入来ニ而候、且拙者留主ニ鎌田甚助殿為被参由候事、

十一月十九日、曇、丙子、

一今日田代郷士年寄誓詞別勤ニ而、五ツ時御目付寺田平右衛門、御用人座書役助平田直之助、二木清次郎書役ニ而誓詞相濟候事、

一今日は小幡加司馬舞台ニ而稽古能有之、見物として五ツ過より差越暮前相濟帰家、供山次左衛門也、

十一月廿日、曇、丁丑 間々雨、

一今日四ツ時より出勤、八ツ後御下り、退出より村橋彦

九郎殿・い十院喜左衛門殿へ同役廻いたし、且中村仲

右衛門殿江門迄見廻七ツ前比帰家、供川畑源之助、後山次左衛門ニ而候事、

一屋敷掛馬場通石垣いたし候害ニ而、今日道奉行見分有之、左候而役所ニおひて吸物・酒肴・茶漬等振廻、鎌

田喜平太亭主振ニ而候事、

一大鐘時分より堀四郎左衛門殿入来、暮時分被帰候事、

一川上十郎左衛門師石燈立ニ付、寄進として青銅百疋差遣候事、

十一月廿一日、曇、戊寅 間々雨、

一今朝五ツ半比より伊勢雅樂殿宅江参り同道いたし、明日評定所詰之筈ニ而、雅樂殿案内相頼、評定所詰席等習礼いたし、左候而出勤、八ツ後御下りより退出帰家、供大窪善助ニ而候事、

一地頭所日當年寄最勝寺作右衛門、与頭園田越右衛門、地頭横目園田喜太郎、拙者御用人兼務被仰付候祝義と

して役所迄参り、兩種料并ニ土産物差出候事、

一今晚九ツ過より上町江出火有之出馬いたし、尤御城

下江も出候而御帳ニ相付、暁六ツ前鎮火相成候而引取

候、供川畑源之助・山次左衛門・大窪善助ニ而候事、

但上町之分は不残焼失いたし候事、

一今ばん吉野花棚家来共失火ニ付駆付候事、

十一月廿二日、曇、己卯 間々雪、

一今朝御吟味詰ニ而評定所江五ツ前より出席いたし候処

御吟味相止候旨、御裁許掛より問合有之夫形引返し帰

家、供山次左衛門ニ而候事、

但本文ニ付、御殿は組方別勤之筋ニ月番小笠原輦殿

江頼遣候也、

一日當山より昨日参候者共夜前出火ニ付、為機嫌伺役所

迄参候付酒肴一通為振舞候事、

一(島津齊興)太守様今日指宿御湯治より御帰ニ而候事、

一今日より馬場通屋敷掛石垣造方ニ取付候事、

一蒲生郷士末家鎌田左兵衛、夜前出火ニ付駆付候旨、今

日八ツ後玄喚迄参候付即飯為差出、川畑源之助を以揆

搦申入候事、

一今ばん日當山より夜前出火ニ付、組頭最勝寺宗之丞無

役郷士共召列駆付候旨、役所迄参り届申出候付、あま

酒為飲、川畑與八を以揆搦申入候事、

十一月廿三日、曇、庚辰 間々雪、

一今日四ツ前より出勤、八ツ後御下りより帰家、供川畑源

之助ニ而候事、

一昨八ツ後より新上橋成就諸人通融有之候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈・鎌田愛太夫殿・和田源太兵衛

殿一刻ツ、入来ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

十一月廿四日、曇、辛巳、

一今日四ツ前より出勤、八ツ後御下りより帰家、供角野

喜左衛門ニ而候事、

一七ツ時分大山小藤次殿入来、暫相咄被帰候事、

一大鐘時分鎌田圓窓殿一刻入来也、

一今朝出勤跡和田中太夫殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来内江も被参候事、

一暮過より上村半兵衛殿・喜平太殿内江被参候付酒肴一

通振廻、四ツ時分被帰候事、

十一月廿五日、曇、壬午 雪降、

一今日四ツ前より出勤、

太守様来年三月中御参府可被遊旨 公義より被仰渡候

段、御到来候付而之御祝義有之、御内証之御祝義をも

申上、左候而八ツ後御下りより帰家、供大窪善助ニ而

候事、

一八ツ後森川利右衛門殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ前より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被参候事、

十一月廿六日、曇、癸未、

一今日は種子嶋次郎右衛門炮術見分ニ而、四ツ時より山

之射場江穎娃織部殿・拙者出席、大番頭嶋津右門殿ニ

而四ツ後相濟、夫より嶋津清太夫殿・鎌田愛太夫殿・

二階堂源太夫殿・嶋津市十郎殿・堀四郎左衛門殿・仁

禮小吉殿江先日御用人兼務被仰付候節之礼廻いたし、

左候而八ツ時分帰家、供山次左衛門ニ而候事、

但町田助太郎殿江今朝出掛内玄喚迄見廻候事、

一御か様ちと御持病氣ニ而山本蘇仙八ツ後見廻被成御針

候事、

一留主ニ鎌田甚助殿入来之由候事、

一暮時分より鎌田筑左衛門殿・青山善助殿追々入来、酒

肴一通振廻、九ツ時分迄相咄被帰候事、

十一月廿七日、晴、甲申、

一今日四ツ前出勤、八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而

候事、

一八ツ後濱田本覺院廿四日之看經ニ参り候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参

候事、

十一月廿九日、晴、丙戌、

一暮時分より和田源太兵衛殿・森川孫八郎殿入来、酒肴

一通振廻、九ツ前比被帰候也、

一御か様御積氣ニ付針医師山本蘇仙八ツ後見廻候事、

一今日は宗門方誓詞別勤ニ而、朝五ツ時御目付寺田平右衛門、書役平田直之助・上井甚兵衛書役ニ而相濟候事、

一大鐘前より樺山四郎左衛門殿・中村仲右衛門殿入来、

吸物・酒肴一通振廻、尤役所江鎌田喜平太殿被参居内江も入来ニ而亭主振被致四ツ時分被帰候事、

一今日四ツ前出勤、御礼日ニ付

(島津奇興)
太守様御出座有之、御礼席江罷出、左候而八ツ後御下

十一月晦日、曇、丁亥 間々雨、

りより帰家、供大窪善助ニ而候事、

一吉野・花棚・吉田家中共参り、拙者御用人兼務蒙 仰

候祝義として兩種差出候事、

一泰光院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参山次左衛門

(鎌田正秀)
江申付候事、

一夕方小森八左衛門殿・同新之丞殿一刻入来ニ而候事、

一御か様御積氣ニ付前田圓齋江申遣八ツ後見廻ニ而候事

一今ばん山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一今日は宗門方誓詞別勤ニ而、朝五ツ時御目付寺田平右

衛門、書役平田直之助・上井甚兵衛書役ニ而相濟候事、

一大鐘前より樺山四郎左衛門殿・中村仲右衛門殿入来、

吸物・酒肴一通振廻、尤役所江鎌田喜平太殿被参居内

江も入来ニ而亭主振被致四ツ時分被帰候事、

一今朝五ツ半比森川利右衛門殿江、先日拙者御用人兼務

蒙仰候礼として参り夫より出勤、明日初而之 御目

(見)
有之、御弓奏者相勤候筈ニ而、右習礼若年寄衆見分ニ

付相勤、左候而八ツ後御下りより帰家、供山次左衛

門ニ而候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂被参候事、

一大鐘過より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、尤喜平

大殿ニも被參、四ツ過比被帰候事、

十二月朔日、晴、戊子夜入過より雨、霰降

一 今日初而之、御目見御弓奏者ニ付五ツ時出勤、四ツ時

御出座ニ而首尾能相勤候、左候而八ツ後御下より帰家、

供大窪善助ニ而候也、

但来年頭御規式ニ付、御用掛倉山作太夫・拙者江今

日被仰付候事、

一 八ツ後永田新八郎殿・前田圓心殿一刻入来ニ而候事、

但圓心ニは御か様御癩氣ニ付療治相頼被成候事、

一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺御墓所江代參角野喜左衛門(鎌田政近)

江申付候事、

一 夕方鎌田筑左衛門殿一刻入来ニ而候事、

十二月二日、曇、己丑、雪あゆる、

一 今早朝小森八左衛門殿入来、五ツ時分被帰候、五ツ時

分森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

一 今日四ツ打過候而出勤、朝星別ニ而八ツ後御下りより
帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 八ツ後医師前田圓齋見廻、且針匠山本蘇仙ニも見廻
御か様被成御療治候事、

一 八ツ後堀四郎左衛門殿入来、七ツ後迄相咄被帰候事、

一 八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、夕方上村半兵衛

殿ニも入来、暮前より内江被參、且桂内記殿ニも入来、

酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一 暮前森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

十二月三日、曇、庚寅、

一 今朝評定所御吟味詰ニ而五ツ前より出席、四ツ前相済
帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 八ツ後小与頭中村半助殿与下之義ニ付一刻入来ニ而候

事、

一 暮過より毛利理右衛門殿入来、酒肴一通振舞、九ツ前

比迄相咄被帰候也、

一今晚御か様御針ニ山本蘇仙見廻ニ而候事、

十二月四日、晴、辛卯、

一今日四ツより出勤、八ツ後御下りより帰家、供大窪善

助ニ而候事、

一今朝青山善助殿一刻入来ニ而候事、

一御か様御療治ニ前田圓齋・山本蘇仙見廻候事、

十二月五日、雨、壬辰、

一今朝出勤前嶋津清太夫殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ時出勤、八ツ後退出帰家、供角野喜左衛門ニ而候

事、

一暮前より和田中太夫殿・日置半兵衛殿入来、且役所江

鎌田喜平太殿被参居、是も内江被参酒肴一通振舞、四

ツ過比被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一鎌田政統春峯様御忌日ニ付、興国寺御墓江大窪善助代参申付候

事、

一大窪善助代り森田八郎右衛門、番所詰江出府之届今日

申出候事、

十二月六日、晴、癸巳、雪少々あゆる、

一今日四ツ時出勤、八ツ後退出より宮之原主計殿宅江同

席中招候付参り、夜入五ツ時分帰家、供山次左衛門
也、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

十二月七日、晴、甲午、

一今朝四ツ早目二階堂主計殿宅江些用向ニ付参り、夫よ

り出勤、八ツ後退出帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ後森川孫八郎殿・鎌田十五殿一刻ツ、入来ニ而候

事、

一南村役人岩元助太夫、横目森田十左衛門一昨日出府、

此内拙者御用人兼務蒙仰候祝義として役々相中・家中

在中・神主永山近江、玄朗寺・隆香寺より両種料銘々
差出候而今日祝義申候、且岩元助太夫・森田十左衛門
よりは別段土産物をも差出候事、

一七ツ後小森八左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、夜入上村半兵衛
殿入来、兩人共内江被通酒肴一通振廻、四ツ過比被帰

候事、

十二月八日、晴、乙未、

一今日は組方別勤之筋頼合出勤不致、五ツ前より能見物
として小幡加司馬所江参り、大鐘時分未相済候へとも

帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一今夕二階堂主計殿宅江参り候様承、大鐘過より参り、

外川上式部殿・川上龍衛殿ニ而四ツ過迄緩々相咄帰家、

供山次左衛門、後川畑源之助也、

一御子様御針ニ山本蘇仙参り候事、

十二月九日、晴、丙申、

一四ツ前より出勤、八ツより御家老衆猪飼殿病死候付
悔として玄関迄参り、左候而直ニ帰家、供川畑源之助

ニ而候事、

一八ツ後森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被参候事、

一南村組頭森田十郎左衛門役人申付候跡、代り森田十左

衛門調申出候付、左之通拙者直申渡之筋ニ而、於使者

之間喜平太より被申付候様相達被申渡候、

一組頭 森田十左衛門

右之通申付候、

十二月

一右之通申付候而、誓詞血判迄も喜平太被見届、左候而

礼として両種料差出候事、

一七ツ時分鳴津主税殿一刻入来ニ而候事、

一岩元助太夫・森田十左衛門、今日南村之様暇申出候付、

兩人共召呼、尚又諸事行届候様可致精勤旨申付置候事、

一番所詰大窪善助今日暇申出南村之様相帰候事、
一大鐘時分志和地源兵衛殿入来ニ而候事、

十二月十日、曇、丁酉 雪あゆる、

一四ツ前より出勤、九ツ後頼合御暇ニ而帰家、供角野喜
左衛門ニ而候事、

一八ツ後より此方刀見として木場次右衛門殿・石原龍助
殿・樺山四郎左衛門殿・春山休兵衛殿・調所藤内左衛
門殿・小森八左衛門殿追々入来、尤桂内記殿ニも入来、
左候而吸物一ツ・酒肴・茶漬等振廻、夜入五ツ時分皆
々被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

十二月十一日、曇、戊戌 間々雨、

一四ツ時出勤、八ツ後御下りより帰家、供山次左衛門、
後森田八郎右衛門ニ而候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一今朝西田次郎太殿一刻入来ニ而候、且出勤跡市來清十
郎殿入来之由候事、

十二月十二日、曇、己亥、

一四ツ前より出勤、八ツ後御下りより帰家、供森田八郎
右衛門ニ而候事、

一(鎌田正昌)高章院様・高穂院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参川
烟源之助江申付候事、

一暮前より堀四郎左衛門殿入来、酒肴一通振廻、五ツ前
迄相咄被帰候事、

十二月十三日、曇、庚子、

一今日は御煤下ニ而出勤不致候事、

一今朝鎌田喜平太殿入来ニ而候、尤日當山郷士井上伊右
衛門病死いたし、跡職一件ニ付入組之義有之候段相聞
得候付、地頭横目江聞合、先日申渡置候処、今朝届ニ
参候段聞合書披露承候得共、能分り兼候間、尚又彼表

締方横目江聞合被頼越候様相達置候事、

一四ツ後桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ後鎌田藤次郎殿・上村半兵衛殿入来ニ而暫相咄被
歸候事、

一八ツ後鎌田藤之助殿一刻入来ニ而候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙夕方見廻ニ而候事、

十二月十四日、晴、辛丑、

一今日四ツ時出勤、明日初而之 御目見ニ付、御弓奏者

相勤等ニ而、今日習礼大目付以上見分有之右相勤、左
候而八ツ後御下りより歸家、供角野喜左衛門ニ而候事、

十二月十五日、晴、壬寅、

一今日初而之御 目見奏者ニ付五ツ時より出勤、四ツ時

御出座ニ而御弓奏者首尾能相勤、左候而八ツ後御下り、
退出より穎娃織部殿嫡子矢一郎殿御直元服今日首尾能
相濟候為祝参り、夜入五ツ時分歸家、供川畑源之助、

晚山次左衛門ニ而候事、

但本文ニ付兩種差遣候、尤一昨日彼方より吹聴有之
候事、

十二月十六日、晴、癸卯、

一今日はちと足之痛有之出勤不致候事、

一夕方より役所江鎌田喜平太殿入来、且大鐘過より鎌田

吉左衛門殿入来、喜平太ニも内江被参酒肴一通振廻、

四ツ時分被歸候事、

一財部抱地家中取納として参り候由、土産物差出候事、

十二月十七日、晴、甲辰、

一今日は 御前御稽古能表方諸役人迄平服ニ而拜見被仰

付、四ツ時より御初ニ而四ツ前出勤拝見いたし暮時分
相濟歸家、供森田八郎右衛門也、

一今晚相良清兵衛殿入来ニ而候、尤夕部田舎より被歸候
由、酒肴一通振廻、五ツ時分被歸候事、

十二月十八日、晴、乙巳、

一四ツ時出勤、八ツ後御下より帰家、供角野喜左衛門ニ
而候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一 地頭所日當山横目井上伊右衛門死、跡代牧源左衛門調
出候付、大目付衆方へ喜平太より被申出置候処、申出
通先日被仰付、今日御受として役所迄参り兩種料・土
産物差出候事、

一 地頭横目牧源左衛門代り、濱崎清左衛門調出候付、喜
平太より先日御用被申越置候処、今日出府之届申出ニ
付、於書院左之通申付誓詞血判見届、喜平太席詰ニ而
候事、

地頭横目

濱崎清左衛門

右之通申付候、

十二月 (鎌田正純)
刑部

一 右申付、兩種料土産物礼として差出候事、

一日當山年寄兒玉村右衛門・濱崎善左衛門、与頭最勝寺

宗之丞、此内より井上伊右衛門跡職入組一件ニ付参候
旨、喜平太より成行届被申付、大目付座書役鎌田曾兵
衛江一先内談被致候様達置候事、

一七ツ時分鳴津主税殿一刻入来ニ而候事、

十二月十九日、曇、丙午 間々雨、

一四ツ時出勤、八ツより退出、同席中知覽濱屋敷出張ニ
付参り、夜入五ツ時分帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 相届候処、鎌田權右衛門殿・相良清兵衛殿被参居、尤
酒肴一通振廻、四ツ時分被届候事、

一 留主ニ飯牟禮八郎殿入来之由事、

十二月廿日、曇、丁未、

一四ツ時出勤、四ツ後より演武館い十院佳母爲・東次郎
左衛門・梅田勘十郎武芸不時見分として、川上矢五太
夫殿・義岡藏人殿・拙者出席、九ツ時分帰家、供森田

八郎右衛門ニ而候事、

一 八ッ後毛利理右衛門殿入来、セツ時分迄相咄被帰候事、

一 大鐘時分より飯牟禮八郎殿入来、暮時分より和田中太夫殿・有馬一郎殿追々入来、酒肴一通振廻、九ッ時分

ニ而も候半三人共被帰候事、

一 鼎腫物(鎌田正純女子)いたし居候付前田圓心殿江申遣置候処、二男圓節見廻ニ而候事、

十二月廿一日、晴、戊申、

一 四ッ時出勤、八ッ後御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 今日鎌倉流遠馬之吹聴有之候得共不差越候事、

一 夕方より役所江鎌田喜平太殿入来、且上村半兵衛殿ニも入来、兩人共内江被通酒肴一通振廻、五ッ過より相

良清兵衛殿茂入来、九ッ時分何れも被帰候事、

十二月廿二日、曇、己酉 間々雨、夜入過強降

一 四ッ時より出勤、八ッ後御下りより帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 日當山与頭最勝寺宗之丞寒中歳暮として役所迄参り、両種料二通土産物差出候事、

一 南村より家中相中竹之内平之進為寒中歳暮参り土産物差出候、尤与頭参管候へとも、先達而森田十左衛門参

候付、此節は別段出府ニ不及旨申付置候間、家中相中迄参り候事、

一 八ッ後より役所江鎌田喜平太殿入来、左候而内江茂一刻被通候事、

一 秋葉権現御祈禱火難消除御守札、御一門方より諸士迄被成下、今日大身分触役所より喜平太受取被参候事、

一 大鐘過より小野甚五左衛門殿入来、少跡より毛利理右衛門殿ニも入来、六ッ半比被帰、小野氏は少跡ニ被帰

候事、

一 鼎腫物ニ付前田圓心殿江申遣、二男圓節見廻候事、

十二月廿三日、曇、庚戌間々雨、夜六ツ過大寒入、

一四ツ時出勤、八ツ後御下より帰家、供森田八郎右衛門
ニ而候事、

一相良清兵衛殿江加勢米屯石并羽織染地屯反為差遣候事
一書役東郷孫八殿江羽織染地屯反差遣候事、

一今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

十二月廿四日、曇、辛亥今朝薄雪、

一四ツ前より出勤、八ツ後退出より嶋津藤十郎殿同道、

碓山將曹殿・二階堂主計殿江寒中尋として内玄関迄参
り、且千眼寺江も参、左候而御神殿并ニ御座内等拝見
いたし、夫より毛利理右衛門殿宅江招候付、藤十郎殿
同道参り、外ニ郷原轉殿被参、夜入四ツ時分帰家、供
角野喜左衛門、後森田八郎右衛門ニ而候事、

但本文ニ付毛利氏江鳩五羽差遣候也、

一今日は御殿掛菱刈安房殿より嶋津要人取次を以被仰付
候事、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候事、

一鎌田喜平太殿江上下地屯反・加勢米屯石、書役藤野小
兵衛殿江上下地屯反差遣候事、

一今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候也、

十二月廿五日、晴、壬子、

一今日は終日別勤之筋頼合出勤不致候事、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一今日は同席中谷山遠馬有之、四ツ後より出馬いたし、

左候而暮時分帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一出前肝付郷右衛門殿一刻入来ニ而候事、

一留主ニ毛利理右衛門殿入来之由候事、

十二月廿六日、曇、癸丑暮前より大雨、雷鳴、

一四ツ時出勤、八ツより帰家、供川畑源之助、後森田八

郎右衛門ニ而候事、

一出勤前藤野小兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ後より役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被参候事、

一暮時分より樺山四郎左衛門殿・池水荒次郎殿・小野甚五左衛門殿・川村七郎左衛門殿追々入来、吸物・酒肴・茶漬等振廻、四ツ過比迄相咄被帰候事、

但川村氏は初而寛々被参候付肴一折被送候事、

十二月廿七日、曇、甲寅、

一今朝五ツ時より御吟味詰ニ而評定所江出席、四ツ前相

濟直ニ帰家、供森田八郎右衛門ニ而候事、

一今晚役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被参、酒肴

一通振廻候、尤明日より又々他行之由候事、

一今晚毛利理右衛門殿入来ニ而候へとも、最早五ツ過ニ

而ちと不快ニ有之相休居候故相断候事、

一迫田甚五左衛門殿より海国兵談四冊金子百疋ニ相求候

尤右一件ニ付毛利氏入来ニ而候事、

十二月廿八日、曇、乙卯、

一四ツ時早目出勤御礼日ニ付、(島津齊興)大守様御出座御目見江

罷出、九ツ後頼合御暇いたし、鳴津壹岐殿・末川久馬

殿・嶋津登殿・嶋津豊後殿・嶋津和泉殿・菱刈安房殿

江寒中見廻いたし、夫より南林寺墓所江参詣、嶋津清

大夫殿・喜入多門殿・樺山伊織殿・堀四郎左衛門殿江

寒中見廻いたし、左候而八ツ半比帰家、供森田八郎右

衛門ニ而候事、

一留主ニ鎌田權右衛門殿入来ニ而候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被参

候事、

一七ツ後有川藤左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一福昌寺・興国寺墓所代参、歳暮ニ付上下着用ニ而川畑

源之助江申付候事、

十二月廿九日、晴、丙辰、

一四ツ時出勤、八ツ後御下りより桂内記殿・同氏岩次郎

殿江寒中歳暮として参り、且嶋津中務殿江寒中見廻い

たしハツ半比婦家、供川畑源之助ニ而候事、

一拙者留主ニ毛利理右衛門殿入来之由候事、

一七ツ後永山清兵衛殿・町田平八殿一刻ツ、入来ニ而候事、

一大鐘過鎌田吉左衛門殿一刻入来ニ而候也、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被通候事、

一此内より今晚迄之間歳暮として諸々江音物相送、又は

到来之品多々有之候得共繁多ニ付略候事、

一役所向弘方等首尾宜候段役人休左衛門より届承候事、

一五ツ過より上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、四ツ過

比被帰候事、

一当年中目出度記納候事、

〔表紙〕

弘化二年己四月朔日より

南村江差越相帰迄之間

日記

正純

四月朔日、曇、辛卯 後晴、

一今朝六ツ半比より堀直四郎殿・相良清兵衛殿入来、五ツ前より打立候而有川藤左衛門殿江一刻立寄、夫より二階堂左門殿家来、下町居住石澤直左衛門と申者之所江相良氏案内ニ而立宿いたし、五ツ半過前之濱より丸木船ニ而出帆、垂水具形江九ツ過ニ而も候半着舟、左候而右近辺浦人所江相休ミ弁当仕ひ、垂水町少先江南村与頭神田榮右衛門、横目長嶺喜左衛門、其外肥後平

左衛門・森田十左衛門・同喜三右衛門、迎として乗馬引越居候付、夫より三人共馬ニ而参り、垂水、終木原江相休ミ弁当仕ひ、夫より南村宿森田十郎左衛門所江暮過参り着候、尤境目迄役々其外惣人数上下着用ニ而出居、着之上役人与頭、横目、庄屋江盃一通為取候、尤今晚は吸物・酒肴等役々共より差出候、左候而四ツ過ニ而も候半相休ミ候事、

但出舟之節舟端迄之間供角野喜左衛門、且役人濱田休左衛門ニも送りニ出候、南村迄之供川畑源之助・山次左衛門、鑓持小者召列候事、

四月二日、曇、壬辰 間々雨、夜入大雨、

一今日東の方原山手迄諸々相廻杉山等見分いたし候、尤直四郎殿・清兵衛殿同道、且役々之者共召列候事、
一今朝玄朗寺坊主一刻見廻ニ而候、尤土産物持参ニ而候事、

一役々之者共何れも出候事、

四月三日、雨、癸巳、四ツ比より止、

一 今日七ツ後より此内申受之苗楮植付方見分として、直四郎殿・清兵衛殿同伴諸々江差越候、尤役々之者共召列候事、

一 役々之者共何れも出候事、

四月四日、晴、甲午、

一 今日四ツ過比より西之方家中百姓之家風、其外野山等諸々見分いたし候、尤直四郎殿・清兵衛殿同伴、且役々之者共召列候事、

一 八ツ過比大始良年寄池田仁右衛門、与頭池田小吉と申者参り候、尤上下着用ニ而候付、拙者改服いたし対面盃一通、挟肴ニ而退座いたし候、右ニ付土産物差出候事、

一 串良原抱地家中大久保傳八郎、西牟田周八土産物持参ニ付一刻対面いたし候事、

一 役々之者共何れも出候事、

一 七ツ時分より年貫大明神江参詣、毎之通之式神楽等有

之、左候而神飾有之右見物いたし、夜八ツ過比ニ而も候半相済候付旅宿之様相帰候、尤直四郎殿・清兵衛殿同伴いたし候、拙者上下着用参り候付鑓為持候、供山次左衛門・川畑源之助・森田宗四郎、其外役々之者共は跡より参り候事、

但神飾は此節鳥井出来之由ニ而、其外諸祈願相混し興行之段申出候事、

一 此表締方横目谷山新太郎殿神飾見物ニ被参候付、右場所拙者共見物之所江一刻相招候也、

四月五日、晴、乙未、

一 役々共何れ茂出候事、

一 八ツ後より隆香寺・玄朗寺江参詣、直四郎殿・清兵衛殿同伴、供山次左衛門・川畑源之助・神田鶴八、尤上下着用ニ付鑓為持候、左候而住持より飯并ニ吸物・酒等種々振舞、暮過帰宿いたし候事、

但龍昌寺之住持亭主振として参り居候事、

一役々共何れも供いたし候事、

四月六日、曇、丙申 夜中雨、

一役々共何れも出候事、

一四ツ後亀取として川辺江出候而暫いたし帰宿、取方江出候者共夕方ニ相成四本程取得相帰候付、酒為飲候而相返し候事、

一八ツ後ニ而も候半、此表受込郡奉行永田新八郎殿被参候付、村中之義万端相頼、飯・酒肴一通振舞、左候而大鐘比被帰候事、

一直四郎殿義は今早朝始良山江狩ニ被差越、家来川枝源左衛門初拾六人参り候事、

一垂蠟所支配人下町居住荒卷嘉右衛門今日参り着、送物品々差出候付対面いたし酒肴一通為取候事、

但右嘉右衛門使より鹿兒島宿許之左右等委く申来、

御か様初其外より菓子被送遣候事、

一役々共何れも出候、尤永田新八郎殿方江役人岩元助太夫、庄屋森田勘左衛門相付候、其外之者共茂旅宿江見舞として差越候事、

四月七日、晴、丁酉、

一今朝永田新八郎殿、旅宿江相良氏見廻として被差越候事、

一四ツ後より永田新八郎殿被参、同道いたし鶉戸参詣いたし、尤相良清兵衛殿同伴、堀直四郎殿ニは昨日より狩ニ被差越、今日被帰賦ニ而迎として鶉戸迄出張候処彼処ニ而出会、帰り掛始良町江立宿いたし、地方検者西五郎左衛門殿被参居種々振廻等被致、左候而暮前帰宿、供川畑源之助・神田鶴八・川口林之進、其外役人森田宇兵衛・岩元助太夫・横目川枝伊右衛門・肥後軍兵衛并ニ荒卷嘉右衛門召列候事、

但始良郷士末家鎌田清兵衛と申者、今朝参答ニ而相待居候処、遅刻相成候故出立、中途ニ而行逢候間鶉

戸之様相誘候事、

一 狩立之者共今ばん相帰り候処一疋も不取得候事、

一 役々之者共何れも出候事、

候事、

四月九日、曇、己亥 間々雨、

一 今朝六ツ過より直四郎殿同道、南村之鹿倉より大根占

鹿倉迄狩ニ登山、供山次左衛門・川畑源之助、其外

南村之者共五拾人計狩立いたし候、領内鹿倉江猪の子

二疋位相廻り居候へとも、得もの無之、夫より雨降出

し候付七ツ過帰宿いたし候事、

一 今日役々共何れも出候事、

一 川枝源左衛門嫡子袈裟吉拾五歳ニ而勢長大ク候付、角

入為致候事、

但右ニ付肴一鉢・焼酎差出候事、

一 串良原抱地家中共三人参り土産物等差出候事、

一 今日永山近江所江五ツ時分より参り、尤直四郎殿・

清兵衛殿同道、種々振廻等いたし暮時分帰宿、供山次

左衛門・川畑源之助・神田鶴八、拙者服袴迄ニ而

四月十日、晴、庚子、

一 今朝五ツ過打立、鹿児島之様相帰候、右ニ付役人初其

外より茂土産物等差出し、直四郎殿・清兵衛殿江も同

断差出候、左候而由立之節役々上下着用ニ而西俣村海道迄相送候、其外惣家中は領内境目迄上下ニ而相送候、垂水出舟之場迄は永山伊膳・川口林之進供いたし候、尤馬ニ而相帰、鍵持・中間・南村足輕ニ而候、直四郎殿・清兵衛殿ニも馬ニ而候、鹿兒島迄供川畑源之助・山次左衛門ニ而候事、

一領内由立前役々召出所中仕置之義、尚又急度行届、近々其印茂相見得候様稠敷相達置候事、

一是より先は本日記ニ留候故略ス、

弘化三年丙午正月改

日記

正純

弘化三年丙午

正月朔日、晴、丁巳、

一今朝例年之通規式家内中相居候事、

一氏神先祖江向香拝礼いたし候、尤以後毎日拝礼いたし候付日々は不記候事、

一今日より月番ニ而五ツ時出勤、九ツ時御馬乗初ニ付、

外御庭御馬乗場江相勤答候処、九ツ前相廻候処ちと間違ニ及、最早御初方相済候跡ニ而夫より又々御本丸江

罷出候処、最早御下り有之候付直ニ退出、上方大目付以上并ニ親類知人の方へ見舞、尤福昌寺

御位牌殿、(鳥津家久)中納言様・(鳥津重孝)榮翁様・(鳥津芳寛)溪山様御霊屋江

拜礼、此方福昌寺・興国寺墓所并ニ延寿堂位牌江参詣、

帰り掛枿方^(柳丸)边迄礼廻いたし七ツ時分帰家、供角野喜左

衛門・山次左衛門・川畑源之助・濱田伊兵衛、其外行列鐘・挟箱・合羽籠・長柄加籠為持候事、

一今日中祝義として内迄入来之人數、永山清兵衛殿・市

來清十郎殿・小森新之丞殿・鎌田吉左衛門殿・中村仲

右衛門殿・堀四郎次殿・鎌田政十郎殿・有川藤左衛門

殿・東郷孫八殿ニ而候事、

正月二日、雨、戊午 九ツ時分より止、

一今日四ツ前より千石馬場边礼廻いたし夫より出勤、四

ツ半過御家老方御下り有之退出、中ふくら辺礼廻いた

し 徳豊殿江参詣、南林寺墓所香庵梅心大姉之墓・桂家墓所等江参詣、沖之村嶋津清太夫殿宅より荒田方・

西田方迄大目付以上并ニ親類知人之方江見舞、山王宮

江參詣、八ッ半比婦家、供角野喜左衛門・川畑源之助

・山次左衛門・森田八郎右衛門、其外行列昨日通ニ
而候事、

一 今月中祝義として内迄入来之人數、湯地甚之丞殿・鎌

田眞助殿・和田中太夫殿・鎌田喜平太殿・同新右衛門

殿・毛利理右衛門殿・同勇之助殿・高橋新十郎殿・上

村半兵衛殿・鎌田曾兵衛殿ニ而候、尤半兵衛殿・喜平

太殿は緩々被相咄、蔵開祝ニ付、吸物・酒肴一通振廻、

五ッ時分被帰候、且役人濱田休左衛門ニも招呼酒為飲

候、其外之者江は末江相下ケ呉候事、

一來月中御褒式御関符於吉野被仰付候ニ付、御用掛今日

拙者江被 仰付候事、

但若年寄樺山伊織殿より、取次御用人倉山作太夫ニ

而候事、

一 願娃織部殿家中川井田清右衛門為祝義參候事、

正月三日、曇、己未 大鐘前より雨、

一 今日五ッ時より出勤、四ッ時 御出座被遊、御規式御

受、夫々之場江席詰等いたし大鐘時分御謡初等相濟候
而御家老方御下りより婦家、供角野喜左衛門・川畑源

之助・山次左衛門・前原貞次郎、其外行列昨日通ニ
而候事、

但今日家ニ付持參太刀は勤場差支ニ而納太刀願出候

事、

一 今日中祝義として内迄入来之人數、森川利右衛門殿・

同孫八郎殿・町田平八殿・志和知源兵衛殿・上村源七

殿ニ而候事、

正月四日、雨、庚申 八ッ前より止、

一 今日四ッ時早目出勤、八ッ後御家老方御下りより退出、

新屋敷・天神馬場・諏訪之小路辺・千石ばゞ・西田方

迄年頭廻いたし七ッ前比婦家、供角野喜左衛門・山次

左衛門、後川畑源之助山次江相替り候事、

一今日例年之通慶賀三頭祝候事、

一今日中祝義として内迄入来之人、島津主税殿・鎌田十五殿・同氏四郎右衛門殿・西田次郎太殿・水間清右衛門殿ニ而候事、

但四郎右衛門殿より肴一折被送候事、

一濱田本覺院為祝義參候事、

正月五日、晴、辛酉、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下りより退出直ニ帰家、供川畑源之助・森田八郎右衛門ニ而候事、

一今日は川上十郎師、鎌倉流馬乗初、昨日吹聴有之候得共地頭所參候付出席不致候事、

但肴一折差遣候事、

一八ツ後地頭所日當山年寄兒玉村右衛門・組頭鶴丸宅右

衛門・地頭横目濱崎清左衛門・郡見廻竹下壯右衛門、

為年頭祝義出府、於書院盃一通為取、尤取次鎌田喜平太入来席詰ニ而候、右相濟、於役所取次役人亭主振ニ

而吸物・酒肴・飯一通為振廻候事、

但盃之節拙者服紗物上下、取次并ニ給仕兩人上下ニ而帶刀、日當山之者共ニも同断ニ而候事、

一例年之通兩種并ニ土産物差出候事、

一日當山郷士亡井上伊右衛門跡職入組之一件、大目付衆二階堂主計殿江御内談申出置候処聞合相成、山下源姓

坊二男源次郎、伊右衛門二女江賀養子取組相当ニ而可有之御吟味之趣今日承知いたし候、尤所役共申出趣も

其通之事故、源姓坊二男可然旨今日喜平太より被致内達候様申達候事、

一八ツ後鎌田權右衛門殿祝義として入来也、

一留主ニ桂岩次郎殿祝義として入来之由候事、

一夕方堀直四郎殿祝義として入来ニ而候事、

正月六日、曇、壬戌、八ツ前より雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下りより退出直ニ帰家、供角野喜左衛門・川畑源之助ニ而候事、

一留守ニ伊集院亘殿・鎌田藤之丞殿祝義として入来之由候事、

一八ッ過より役所迄鎌田喜平太入来ニ而候事、

一夕方鎌田圓窓殿為祝義入来ニ而候事、

一四ッ後留主ニ松山三騰入来ニ而候事、

一鼎腫物療治ニ前田圓節入来ニ而候事、

正月七日、曇、癸亥、

一四ッ時早目出勤、八ッ後御家老方御下りより退出、村

橋彦九郎殿宅江同席中招ニ付參、夜入五ッ時分帰家、

供山次左衛門・森田八郎右衛門、晚帰ニは川畑源之

助ニ而候事、

一留主ニ鎌田眞十郎殿祝義として入来之由候事、

一留主ニ桂家御祖母様被成御入来候由也、

正月八日、晴、甲子、

一四ッ時早目出勤、八ッ後御家老方御下りより退出帰家、

供川畑源之助ニ而候事、

一留守ニ嶋津清太夫殿為祝義入来之由候事、

一七ッ後桂内記殿為祝義入来、夫より寛々被相咄、役所江

鎌田喜平太ニ茂被參居、内江被通吸物・酒肴一通(符)通

振廻、四ッ前比被帰候、濱田本覺院ニも甲子祭ニ參居

候付召出酒為飲候事、

正月九日、晴、乙丑 九ッ時二分
立春、夜入雨、

一四ッ時早目出勤、八ッ後御家老方御下りより退出帰家、

供角野喜左衛門ニ而候事、

一八ッ後より役所江鎌田喜平太入来、内江も被通候事、

一南村より当分番所詰參り居候森田八郎右衛門、困究者

之由ニ而勤方断申出候付、代岩元良之助江申付候旨役

人休左衛門より申越置候処、今日出府之届申出候事、

一南村役人森田十郎左衛門家中相中永山彦太郎、明後十

一日年頭規式ニ付祝義として出府之届申出候事、

一岩元良之助・永山彦太郎より土産物差出候事、

正月十日、曇、丙寅 八ツ時分より晴

一四ツ時出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供山次左

左衛門、後川畑源之助ニ而候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太入来、内江茂一刻被通候事、

一大鐘時分より上村半兵衛殿・堀直四郎殿追々入来、酒

肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一番所詰森田八郎右衛門今日暇申南村之様相帰候事、

正月十一日、晴、丁卯、

一今日は御差図御用之人数取次ニ而候付六ツ半比より出勤、五ツ時各御用之趣承知有之、左候而八ツ後御下より

帰家、供山次左衛門・岩元良之助ニ而候事、

一八ツ後於書院鑑の餅煮規式毎之通いたし、用頼鎌田喜

平太相伴、左候而役人濱田休左衛門・南村役人森田十

郎左衛門家中相中岩元良之助・永山彦太郎・神主永山

近江名代永山伊膳・花棚村吉田家中主取川畑善助・脇

田休左衛門・川畑伊兵次、并ニ中間、小者、南村名主迄通為飲候事、

一右規式相済候跡ニ而玄朗寺住増江^(傳)対面、盃一通いたし

候、左候而於使者間用頼亭主振ニ而吸物・硯ふた・飯差出候事、

但玄朗寺・隆香寺并ニ南村役人・家中・相中・神主・花

棚村吉田家来共より毎之通両種其外品々差出候事、

一八ツ後堀四郎左衛門殿年頭之祝義として一刻入来ニ而候事、

一今日犬追物初吹聴昨日申来候へとも得不出候事、

一例年之通大工北迫某参り、来ル十六日講読之札相調候事、

一今日より庭作頼入普請いたし候事、

但年内八月中旬屋敷掛欠候節取崩置候付無抛普請ニ

取付候事、

正月十二日、晴、戊辰、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一高章院様・高穩院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参角

野喜左衛門江申付候事、

一桂家御祖母様被成御入来候事、

一役所江七ツ後より鎌田喜平太入来、内江も被通候事、

一南村栢楮掛財津彦左衛門年数咎合断申出候旨、喜平太

より披露承候付差免、代り森田郷左衛門調出候故其通

被申付候様相達候事、

一南村役人森田十郎左衛門家中相中永山彦太郎、今夕暇

申出候付暇為取候事、

一南村郡見廻役相立度年内願出置候付而、御記録所より

一所同様拜領之由緒、其外段々七ヶ条糺有之、相調ヶ

条書を以今朝喜平太より御記録奉行見習木場次右衛門

殿首尾故、宅江持越入内見宜候て、表向被差出候様相

達置候、尤右書付并ニ南村一所之地同様被仰付候旨、

延宝五年中抑赤塚源太左衛門より申渡候ヶ条之内写留

文書籍江格護いたし置候付此場ニ略候事、

正月十三日、晴、己巳、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より退出帰家、

供角野喜左衛門ニ而候事、

一地頭所日當山郷士井上伊右衛門跡職一件、去ル五日相

達趣有之候処、亡伊右衛門母并ニ同人実弟兒玉勘助不

承知之旨、去ル十日年寄最勝寺勘兵衛・与頭園田越右

衛門・地頭横目園田喜太郎出府ニ而申出趣取次喜平太

より披露承、大目付二階堂主計殿江又々及御内談候処、

此節は書付を以、亡伊右衛門母并ニ同人実弟兒玉勘助

叱置候様書付被相渡候付、右之写を以於役所ニ、喜平

太より勘兵衛江申渡書付被相渡候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太入来、内江茂一刻被通候

事、

正月十四日、曇、庚午 四ツ時分より雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供岩元良之助ニ而候事、

一八ツ後より小野甚五左衛門殿入来、七ツ後迄相咄被帰候事、

一七ツ後森川孫八郎殿入来、暫相咄被帰候事、

一七ツ時分より役所江鎌田喜平太入来、内江茂被通候事、

一日當山西光寺村庄屋有川與兵衛江三ヶ年勤続被仰付、

御受として今日役所迄参り、兩種料并ニ土産物差出候事、

一今晚ちと不快ニ有之、腹痛等いたし候得共無間も快候事、

正月十五日、晴、辛未、

一今朝五ツ過出勤

大守様御出座ニ付席詰いたし、左候而八ツ後御家老方

御下より帰家、供山次左衛門・川畑源之助ニ而候事、

一今朝稻留藤左衛門殿一刻入来ニ而候、尤二木清兵衛

拾又筒弘ニ付、拙者貫置呉候様鳴津清太夫殿より使之

旨承候付、可貫置旨返答いたし置候、代料貳拾八貫文ニ而候事、

一今朝留主ニ永山清兵衛殿入来之由候事、

一七ツ後鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後頼娃織部殿一刻入来ニ而候事、

正月十六日、晴、壬申、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一今日毎之通講読ニ而右相濟、用頼鎌田喜平太殿・濱田

本覺院亭主振、七ツ後朝音院代増退座(他)いたし候事、

一留主ニ鎌田愛太夫殿入来之由候事、

正月十七日、曇、癸酉、

一今日は、御前御舞台御稽古能御近習通江拜見被仰付、

四ツ時早目出勤、右拜見いたし大鐘時分相濟、御家老

方御下より帰家、供岩元良之助ニ而候事、

一 役所迄夕方鎌田喜平太入来ニ而候事、

正月十八日、曇、甲戌、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方退出より鳴津老岐殿宅江御各目者申渡ニ付参り右相濟七ツ前比帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 今朝鎌田藤次郎殿入来ニ而候事、

一 七ツ後より桂内記殿入来、酒肴一通振舞、四ツ時分被帰候事、

一 暮過より有川藤左衛門殿ニも入来、内記殿より少先ニ被帰候事、

正月十九日、晴、乙亥 夕方少々雨、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より同席村橋左膳殿、近日琉球渡海ニ付同席中より為残^(鮫)別今和泉鶴江崎浜屋敷江出張、左候而夜入過帰り掛、入来院平馬殿宅江皆々被立寄候付一刻参夫より帰家、供川畑源

之助、後山次左衛門ニ而候事、

但本文浜屋敷江参掛名越右膳殿宅江年頭之祝義ニ玄喚迄見廻候也、

一 役所迄鎌田喜平太入来ニ而候事、

正月廿日、晴、丙子、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 八ツ後より役所江鎌田喜平太入来、内江茂一刻被通候事、

正月廿一日、雪、丁丑、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より退出、鳴津老岐殿宅江招ニ付参、合客桂内記殿・鳴津直江殿・入来院平馬殿・村橋左膳殿等ニ而夜入過退座帰家、供岩元良之助ニ而候事、

但老岐殿江肴一折差遣候事、

正月廿二日、雪、戊寅、

正月廿四日、曇、庚辰、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より退出帰家、
供山次左衛門ニ而候事、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より退出帰家、
供角野喜左衛門也、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太入来、内江も一刻被通候
事、

一濱田本覺院看経ニ付参候事、
一八ツ後より役所江上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、

一七ツ後より森川孫八郎殿入来、大鐘比より仁禮善左衛
門殿、少跡より和田源太兵衛殿入来、酒肴一通振廻、
四ツ過比皆々被帰候事、

暮前より内江被通、且和田中太夫殿ニも入来、酒肴一
通振廻、四ツ時分被帰候事、

正月廿三日、雪、己卯 今朝二寸余積ル

正月廿五日、曇、辛巳、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供川

一四ツ時早目出勤、八ツ前頼合御暇ニ而帰家、供岩元良
之助ニ而候事、

畑源之助ニ而候事、

一八ツ後より御用人座書役共相招入来之人数、葛西四郎

一当年和田源太兵衛殿宅剣術初、源太兵衛師忌中ニ而延
居、今日初方之吹聴承候得共得不出候付断申遣、家来

太・園田貞助・大久保輪左衛門・上村正兵衛・横山嘉
八郎・伊東清之丞・敷根仲次郎・相良休右衛門・辻直

川畑源之助・山次左衛門・岩元良之助差出候事、

太郎・和田龍左衛門・平田直之助・上村源七・長友正

一夕方役所江鎌田喜平太入来、夜入内江も被通酒肴一通

一郎・上井甚兵衛・八木新兵衛・二木清十郎・染川助

振廻、四ツ前比被帰候事、

五郎・河野祐右衛門ニ而候、左候而吸物二ツ・大平一

ツ・鉢物一ツ・硯ふた三面・飯・引菓子・引肴等其外種々振廻、夜入六ツ半時分何れも退座、亭主振東郷孫八・永山清兵衛・藤野小兵衛・上村半兵衛・鎌田喜平太ニ而候事、

一床花いけ方ニ折田善庵相頼候事、

正月廿六日、曇、壬午、

一四ツ時早目出勤掛嶋津老岐殿宅江先日參候礼として一刻參り夫より出勤、八ツ後御家老方御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一今朝上村源七殿入来ニ而候事、

一七ツ後より下町居住、南村垂蠟所支配人荒卷善兵衛・同嘉右衛門召呼參り、且桂内記殿・有川藤左衛門殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、吸物・酒肴・飯等振廻、夜入五ツ過比何れも退座ニ而候事、
但荒卷より兩種并菓子一箱差出候事、

一七ツ後兒玉助次郎一刻入来ニ而候事、

一今朝小野甚五左衛門殿一刻入来ニ而候事、

正月廿七日、晴、癸未、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老方御下より新納主税殿同道、桂内記殿宅江參り彼も同道いたし、嶋津中務殿唐湊別業江招ニ付參り、種々振廻等有之夜入五ツ時分帰家、供川畑源之助、夜入山次左衛門ニ而候事、

但三人相中より肴一折相送候事、

一今朝森川孫八郎殿・東郷孫八殿・荒卷嘉右衛門一刻ツッ入来ニ而候事、

一留守ニ桂六郎次郎殿入来之由候事、

正月廿八日、曇、甲申、
問々雨、夜入強降、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門・岩元良之助ニ而候事、

一今朝永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太入来ニ而候事、

一折田善庵殿江花いけ相頼候礼として肴一折差遣候事、

正月廿九日、乙酉夜中大雨、雷鳴

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より退出帰家、

供川畑源之助ニ而候事、

一留主ニ堀四郎左衛門殿入来之由候事、

一暮前より和田中太夫殿・長谷場六郎殿入来、酒肴一通
振廻、四ツ過比被帰候事、

正月晦日、雨、丙戌、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一七ツ時分仁禮善左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太入来、内江も被通候事、

二月朔日、曇、丁亥間々雨、八ツ後より晴

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一(鎌田政近)玄朗様御忌日ニ付、福昌寺御墓所江代參申付候事、

一大鐘過より鎌田權右衛門殿・鎌田眞十郎殿入来、酒肴

一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙申遣候而夜入見廻候事、

二月二日、晴、戊子、

一四ツ時より出勤、八ツより直ニ帰家、供岩元良之助ニ
而候事、

一今朝相良清兵衛殿入来ニ而候、尤一昨夕田舎より中帰
之由候事、

一八ツ後御か様御針ニ山本蘇仙見廻候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

二月三日、曇、己丑、

一四ツ時より出勤、八ツより碓山將曹殿明日御供ニ而江
戸江出立ニ付、暇乞として内玄喚迄參り、左候而帰家、

供川畑源之助ニ而候事、

- 一 日當山朝日村庄屋最勝寺源左衛門、東郷村庄屋有川庄之進江被仰付度、先日郡方へ相付申出候処、其通被仰付、右御受として今日役所迄參、兩種料并ニ土産物差出候、且同所行司園田太兵衛代り兒玉藏之進江申出置其通被仰付、今日同断參兩種料土産物差出候事、
- 一 八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被通候事、
- 一 七ツ時分鎌田愛太夫殿一刻入来ニ而候事、
- 一 御か様御針ニ山本蘇仙七ツ後見廻ニ而候事、
- 一 新納嘉殿・堀金次郎殿明日江戸江御供立ニ付、(後)殘別之印ニ肴一折ツ、相送候事、

二月四日、雨、庚寅 四ツ時分より止、

- 一 今日ハ吉野御関狩御旧式ニ付立方被仰付、朝六ツ過より打立吉野庄屋役所江參り、山奉行別府十左衛門其外山見廻書役御用人座書役上村正兵衛・本田直之助出會、左候而吉野原御棧敷之場江出張旧式相濟、拾匁筒為打

- 引取、夫より同所中之びら立宿江相休、書役正兵衛・直之助、外ニ横山嘉八郎・敷根仲次郎・財部傳左衛門跡より參り、弁当振廻七ツ後打立暮前帰家、供川畑源之助・山次左衛門・岩元良之助、鑓・挟箱・合羽籠・鉄炮一挺為持候、尤乘馬之賦候得共雨天ニ付台輪加籠ニ而出張候、拙者支度野羽織・野袴、家来野羽織・もゝ引ニ而候事、

一 留主ニ毛利理右衛門殿入来之由候事、

一 暮前より桂六郎次郎殿入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一 針醫師山本蘇仙夕方參候事、

一 今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 今日 (島津有興) 太守様御発駕ニ而候へとも、吉野御関狩勤ニ付不得罷出候事、

二月五日、晴、辛卯、

一 四ツ時より出勤、八ツ後帰家、供角野喜左衛門ニ而候

事、

一今朝藤野小兵衛殿・大河平彦六殿一刻ツ、入来ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来、喜平太

一刻内江被通候事、

一家内江不塩梅有之、前田圓心殿江申遣、七ツ後見廻ニ

而候事、

二月六日、雨、壬辰、

一四ツ時早日出勤、九ツ後頼合御暇ニ而帰家、供岩元良之助ニ而候事、

但村橋左膳殿母病死之由ニ付、悔として退出掛玄喚

迄見廻候事、

一日當山郡見廻井上伊左衛門代り園田太兵衛江申出置其

通被仰付、今日御受として役所迄参り兩種料并ニ土産

物差出候事、

一同所与頭鶴丸宅右衛門

御発駕御祝義として役所迄参、兩種料并ニ土産物差出、

且此内井上伊右衛門跡職入組首尾能相濟候付、役々共より礼として兩種料差出候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一暮前より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ時分

被帰候事、

二月七日、晴、癸巳、

一今日は組下二才共容貌見分いたし、四ツ後相揃候付見分之上万事教諭いたし候、進達掛大山仁兵衛、書役東郷孫八参り相勤候事、

但大山仁兵衛ニは念失之由ニ而見分相濟候後出席ニ

而候事、

一四ツ後より和田中太夫殿入来同道いたし、且東郷孫八

ニも相誘、伊敷別業江参り、尤吉野花棚家来共参、杉

差松植ニ而相良清兵衛・鎌田喜平太ニも被参、諸下知

相加、左候而暮過打立帰家、供岩元良之助ニ而候事、

一 針醫師山本蘇仙見廻候事、

一 村橋左膳殿母病死ニ而今晩葬敷ニ付見立使差遣候事、

一 月船様御忌日ニ付、興国寺墓所江代参申付候事、
(鎌田政憲)

一 留守ニ堀四郎左衛門殿入来之由候事、

二月八日、晴、甲午、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一 今朝鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候事、

一 八ツ過永田新八郎殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ後桂岩次郎殿入来、大鐘過被帰候事、

一 大鐘時分諏訪次郎太殿組中之用事ニ付入来ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

二月九日、晴、乙未 暮過より雨、

一 今朝踊郷牛馬役誓詞ニ而五ツ半過御目付谷川民之進出

会ニ而、書役助長友正一郎、起証文相勤、引進平田直

之助、左候而相濟何れ茂退座ニ而候事、

一 今日は別勤之賦候得共、支配下之儀ニ付用向有之、四

ツ時早目出勤、首尾相仕廻九ツ時頼合帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一 大鐘前より桂内記殿入来、酒肴一通振廻、且役所江相

良清兵衛殿・鎌田喜平太殿被参居内江も被通候而、内

記殿より少跡ニ被帰候事、

一 大鐘比諏訪次郎太殿組中之用事ニ付、一刻入来ニ而候

事、

一 御か様御鍼ニ山本蘇仙参候事、

二月十日、晴、丙申、

一 今度御免駕前御領國中風俗沙汰之義尚又 仰出有之、

其上大目付衆列座ニ而我々共承知之趣有之、今四時小

与頭一小与より兩人ツ、宅江御用ニ而召出、質素節儉

を心掛、年若之面々は学文武芸相励、追々御用立候様、

尤無益之参会等いたす間敷との趣相達、一小組ニ書付

一通ツ、相渡候事、

但罷出候小組頭毛利作二郎・山口彦次郎・小野甚五

左衛門・中村半助・水間良右衛門、書役藤野小兵衛

参り相勤候事、

一前件ニ付終日別勤ニ而候事、

一大鐘時分より永田新八郎殿・森川利右衛門殿・堀直四

郎殿・和田中太夫殿追々入来、且鎌田喜平太殿・相良

清兵衛殿ニ茂入来、吸物・酒肴并ニ茶漬振廻、八ツ前

比被帰候事、

一御か様御鍼ニ山本蘇仙参候事、

二月十一日、曇、丁酉 八ツ前より雨、

一四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供岩

元良之助ニ而候事、

二月十二日、晴、戊戌、

一四ツ時早目出勤、支配下容貌見分前ニ而右相濟、九ツ

前頼合御暇、南林寺墓所江(鎌田正昌)高章院様・高穂院様御忌日

ニ付参詣八ツ前帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一八ツ時分鎌田權右衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一七ツ後小野甚五左衛門殿入来、暮時分迄相咄被帰候事、

一御か様御鍼ニ山本蘇仙参候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而内江茂一刻被通候事

一青山善助殿親五郎右衛門殿先日病死之由ニ付、悔とし

て饅頭一せいろ遣候事、

二月十三日、晴、己亥、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一今朝鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候、尤此内願出置候南

村江郡見廻役相立度趣、御記奉行調願通不被仰付筋申

出有之様子ニ而、御家老座吟味六ヶ數段承ニ付、御家

老座書役有馬次郎右衛門江今朝喜平太頼遣内意申込、

尚又於 御殿御家老衆嶋津豊後殿江拙者より直ニ内意

申込候処、内実は昨日御取揚無之旨御用人座迄相下居

候得とも未拙者承知不致候付、御家老座江取返ニ而今

一往御吟味有之との趣承知いたし候事、

一七ツ後仁禮善左衛門殿入来、大鐘過迄相咄被帰候事、

一有川藤左衛門殿より此内大坂江鎧箱革覆頼越被呉候処

今日相届候事、

一七ツ時分鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候事、

二月十四日、晴、庚子 今朝雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供岩

元良之助ニ而候事、

二月十五日、晴、辛丑、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太入来ニ而候事、

一今朝出勤跡、永山清兵衛入来ニ而候事、

二月十六日、曇、壬寅、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一暮時分より和田中太夫殿入来、夫より上村半兵衛殿ニ

茂入来、酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

二月十七日、雨、癸卯、

一今日はちと無抛儀有之得出勤不致、月番宮之原主計殿

方へ頼遣候事、

但星は別勤之筋ニ而候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来、

夜入内江も被通酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一家内江ちと病人有之前田圓心殿江申遣、四ツ後見廻ニ

而候、御か様ニも御薬用被成候事、

一鳴津清大夫殿妻夕方より被参泊被居候事、

二月十八日、晴、甲辰、

一四ツ時早目出勤、四ツ後御暇ニ而演武館冷木彌藤次・

篠崎七郎左衛門流義不時見分として嶋津權五郎殿同道

出席九ツ時帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一八ツ後より相良清兵衛殿入来同道いたし、桂内記殿江

立寄相誘頼娃織部殿江立寄相誘、外ニ鎌田喜平太殿・

福田七左衛門殿同道、市見物として差越役人濱田休左

衛門ニも召列候、左候而大鐘過帰掛織部殿宅江又々參、

夜入四ツ前帰家、供川畑源之助、後岩元良之助ニ而候

事、

一嶋津清太夫殿妻今夕被帰候事、

二月十九日、晴、乙巳 朝立少雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後退出より嶋津豊後殿江南村郡

見役願通今日被成御免候付、右礼として納殿迄參り帰

家、供角野喜左衛門ニ而候事、

但留守故納殿迄參り候事、

一今日豊後殿より宮之原主計取次ニ而左之通承知いたし
候、

鎌田刑部

右は持切在大始良南村之儀、先祖代より家来共余多召
置其内庄屋役申付置候処、此節勸農方之儀分而被仰渡
候付而は、庄屋迄ニ而は行届兼候付郡見廻役老人家来
之内より被仰付、牛馬役兼務被仰付被下度旨内意被申
出、無抛趣ニ付所仕向之儀何篇是迄之通ニ而願之通被
仰付候条、專勸農方御趣意通行届候様可被取計候、左
候而扶持米・筆紙墨代は自分計郡見廻勤年数七ヶ年程
ニ而代役可被申付候、此旨可申渡候、

二月豊後

一今朝相良清兵衛殿拙者出勤跡入来、尤明日より他行ニ
而暇乞ニ而候事、

一大鐘前より堀直四郎殿入来、且役所江鎌田喜平太殿被
參居夜入内江被通、酒肴一通振廻、四ツ過比迄相咄両
人共被帰候事、

二月廿日、曇、丙午 夜入雨

一四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供岩元良之助ニ而候事、

一七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通

候事、

一大鐘前より小野甚五左衛門殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

二月廿一日、雨、丁未、

一四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇ニ而帰家、供山次左

衛門ニ而候事、

一番所詰岩元良之助代肥後平左衛門昨夕出府之届申出、

土産物差出候事、

但良之助義は未六拾日之都合不相成候へとも、内々

差支之旨断申出候付、代右平左衛門江申付候事、

一岩元良之助招呼、南村年若之者共稽古事等之義一向セ

話いたし引立候様申付候事、

二月廿二日、晴、戊申、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より梅田勘十郎殿江祖父先日永死ニ付悔として玄喚迄参り、左候而帰

家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一七ツ時分より桂六郎次郎殿入来、夫より和田中太夫殿

・桂内記殿追々入来、酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一大鐘時分娘出生いたし平産ニ而候、右付医師前田圓齋見廻ニ而候事、

一鳴津清太夫殿妻、桂家御祖母様入来ニ而候事、

一今日鎌倉流稽古遠馬吹聴有之候得共不差越候事、

二月廿三日、晴、己酉、

一今日より産穢之届申遣出勤不致候事、

一七ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一夕方いし前田圓齋見廻ニ而候事、

一今朝よりちと目之煩いたし候事、

一岩元良之助今日暇申出相帰候付紙包一ツ被取候事、

二月廿四日、曇、庚戌、

一今日も昨日同断出勤不致候事、

一七ツ後より堀四郎左衛門殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通候事、

二月廿五日、曇、辛亥、

一今日茂昨日同断出勤不致候事、

一拙者事産穢ニ而候得共御用差支候間明日より出勤可致旨、豊後殿より嶋津藤十郎取次を以申来候事、

二月廿六日、曇、壬子、

一昨日穢御免有之候得共、目煩ニ而得出勤不致病氣之届

申出候事、

一八ツ後飯牟禮八郎殿入来ニ而候得とも目煩ニ而対面不

致、御か様被成御逢候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一夕方前田圓心殿見廻ニ而、拙者眼病療治も相頼候事、

一去ル十九日郡見廻役願通被仰付候付、即南村役人江喜平太より御用申越被置候処、今日岩元助太夫出府之届申出候、且郡見廻森田勘左衛門江申付候筋ニ而是又御用申越被置候処、同断出府之届申出候事、

二月廿七日、曇、癸丑、

一昨日同断ニ付出勤不致候事、

一夕方仁禮善左衛門殿一刻入来、御か様被成御逢候事、

二月廿八日、曇、甲寅、

一出勤昨日同断ニ而候事、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂被通候事、

一南村森田勘左衛門江於役所ニ、喜平太より郡見廻牛馬

役兼務被申付誓詞血判被見届、且此節郡見廻願通被仰
付候御書付之写、并ニ尚又万端之義添書を以助太夫江
被申渡候事、

但勘左衛門より郡見廻役御受礼として両種料三百文
差出候事、

一 此節出生之娘産弓役人濱田休左衛門於書院相勤、名久
と相付、左候而家内中心祝いたし候事、

一 大崎郷士末家鎌田源五左衛門役所迄参り土産物差出候
拙者目之煩故不致対面候事、

二月廿九日、曇、乙卯、

一出勤昨日同断ニ而候事、

一 森田勘左衛門江郡見廻牛馬役兼務申付候届、郡方御殿

御代官所江用頼鎌田喜平太殿より被申出、右御座江当
人御受御礼として罷出候事、

一 夕方役所江喜平太殿入来、内江も被通候事、

一 南村役人并ニ家中在中より三女出生之祝義として両種

料差出候、且助太夫・勘左衛門より拙者目之煩伺機嫌
として肴料差出候事、

一 村橋彦九郎殿近日琉球渡海之筈ニ而（錢）残別として肴一折
相送候事、

三月朔日、晴、丙辰、

一出勤昨日同断ニ而候事、

一 今朝嶋津清太夫殿一刻入来ニ而候事、

一 今朝岩元助太夫・森田勘左衛門招呼南村中万端之義諸

下知申付、左候而暇為取候事、

一 今日吉野并ニ諸々御馬追御用掛被仰付、同役新納主税
殿名代被承候由ニ而相達候、御書付左之通、

鎌田刑部

右は吉野并ニ諸々御馬追御用掛被仰付候条可申渡候

三月 多門

一 八ッ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

三月二日、曇、丁巳、

一出勤昨日同断、今日より目之煩快相成候事、

一今朝上村源七殿江申遣入来ニ付、昨日御馬追掛被仰付

候付、出勤迄之間宜相頼候旨同役中江頼遣候事、

一飯牟禮八郎殿娘初節句ニ付肴一折相送候事、

一夕方役所へ鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

三月三日、晴、戊午、

一出勤昨日同断ニ而候事、

一今日之祝義として入来之人、桂岩次郎殿・鎌田政十郎

殿・同氏吉左衛門殿・町田平八殿・永山清兵衛殿・鎌

田圓窓殿・同姓新助殿・上村半兵衛殿・同源七殿・鎌

田喜平太殿ニ而候事、

一久事初ひなニ而候得共目之煩故家内中迄心祝いたし、

桂家御祖母様御入来ニ而候事、

三月四日、曇、己未、

一昨日同断出勤不致候事、

一夕方より桂内記殿・同六郎次郎殿・和田中太夫殿入来、

吸物・酒肴一通振廻候而九ツ時分被帰候事、

三月五日、雨、庚申、

一昨日同断出勤不致候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈・飯牟禮八郎殿・和田源太兵衛

殿追々入来、七ツ後追々被帰、毛利氏は大鐘比被帰候

事、

一八ツ前仁禮與兵次殿一刻入来ニ而候、尤御勘定所書役

助セ話いたし置候処、今日被仰付候由礼ニ而候事、

三月六日、曇、辛酉 間々雨

一昨日同断出勤不致候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈一刻入来ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一雪誕生日ニ付家内中心祝いたし候事、

三月七日、曇、壬戌 夕方より雨、

一出勤昨日同断ニ而候事、

一七ツ後堀直四郎殿入来、大鐘過迄相咄被帰候事、

一七ツ後より鎌田筑左衛門殿入来、五ツ過被帰候、尤酒

肴一通振廻候事、

三月八日、晴、癸亥、

一今日も昨日同断出勤不致候事、

一今日は南林寺下新場ニ而馬寄有之乗馬差出候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候也、

三月九日、雨、甲子、

一昨日同断出勤不致候事、

一夕方役所へ鎌田喜平太殿入来、夜入内江被通酒肴一通

振廻、五ツ過被帰候事、

一甲子祭ニ付濱田本覺院参り候事、

三月十日、雨、乙丑、

一昨日同断出勤不致候事、

一暫は出勤不致候付、同役中御座江弁当差出候事、

但六之汁鍋式ツ、飯式拾人前差出候事、

一雪ちと不快ニ而医師前田圓心殿江申遣、二男圓節見廻ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

三月十一日、曇、丙寅 少々雨、

一今日より目之煩も愈快候付四ツ時早目出勤いたし、御

殿江若年寄衆多門殿御下り有之、九ツ過より相勤八ツ

前 御殿之様相帰り、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供肥後平左衛門ニ而候事、

一留主ニ村橋左膳殿入来之由候、尤近日琉球渡海ニ付暇

乞ニ而候事、

一当月は福昌寺・興国寺墓所江未代参不為致候付、今日

両所共代参山次左衛門江申付候事、

一夕方より役所江上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、夜入内江被通四ツ時分迄相咄被帰、酒肴一通振廻候事、

三月十二日、晴、丁卯、

一 今日は於宅、高隈組頭宗門方掛誓詞ニ而五ツ半比御目付種子嶋次郎右衛門出席、書役助辻直太郎・八木新兵衛相勤候事、

一 高章院様・高穩院様御忌日ニ付、山次左衛門江代参申付候事、

一 四ツ後村橋左膳殿江近日琉球渡海之由候付暇乞として

一刻参候、供肥後平左衛門ニ而候事、

一 九ツ時分より馬ニ而伊敷別業江参、左候而大鐘過帰家、

供肥後平左衛門ニ而候事、

一 暮前より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一 御家老座書役有馬次郎右衛門殿江此内郡見廻願之節セ話相成候礼として鯉節一連差遣候、且永田新八郎殿江

南村之事セ話相成候付同断遣候、使役人濱田休左衛門ニ而候事、

三月十三日、晴、戊辰 朝立少雨、四ツ後より晴、

一 四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 南村垂蠟支配人荒卷善兵衛近日琉球渡海ニ付、煙草并ニ肴一折被取候事、

三月十四日、雨、己巳、

一 四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 大鐘時分より有川藤左衛門殿入来、且桂内記殿ニも跡より入来、鎌田喜平太殿ニ茂入来、藤左衛門殿・喜平太殿は役所之様被参、高綱一件セ話いたし被呉、左候而又々内江被通四ツ半比内記殿一所ニ被帰候、尤酒肴一通振廻候事、

三月十五日、曇、庚午、朝立雨、
昼より晴

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供肥
後平左衛門ニ而候事、

一南村庄屋申付候竹之内平之進今朝御受御礼として出府
之届申出候事、

一南村神主永山近江私用ニ付参候由、土産物等差出候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一大鐘時分より鎌田筑左衛門殿入来、暮前被帰候事、

三月十六日、雨、辛未、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通

候事、

一南村庄屋誓詞血判申付、於役所喜平太被見届、左候而
礼として兩種料三百文差出候事、

一是迄役目申付候礼、兩種料不同有之候付、此節より左

之通役人濱田休左衛門より南村役人方へ為申渡候、

一兩種料壹貫文、右役人申付候礼、

一右同五百文、右与頭申付候礼、

一右同三百文、右横目以下申付候礼、

右之通ニ而以来役目申付候節は早速出府、礼申出候様
且此節より目錄江相認、姓名并実名迄も書載差出候様
申付候事、

三月十七日、雨、壬申、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一八ツ過永田新八郎殿一刻入来ニ而候、尤明後日方より

受込郷江被差越様子候付、南村之義尚又万端相頼置候
事、

一八ツ過より桂六郎次郎殿・和田中太夫殿追々入来、且
役所江鎌田喜平太殿被参居、内江も被通候而酒肴一通

振廻、四ツ過比何れも被帰候事、

一 今日高出米綱相濟候段役人休左衛門より届申出候事、

一 南村庄屋竹之内平之進江申付候届郡方御代官所江鎌田

喜平太より被申出、当人御受御礼迄も相濟候事、

三月十八日、雨、癸酉、

一 今日は誓詞別勤ニ而五ツ過御目付岩下矢之助出席、御

用人座書役助辻直太郎・野津藤左衛門相勤候、誓詞人

鹿兒島郡吉田郡見廻牛馬役兼務宗門方掛ニ而候事、

一 八ツ過桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、

一 大鐘時分より右岩次郎殿宅江参り、桂内記殿ニも被参

左候而四ツ時分帰家、且酒井ニ取肴持参いたし候、供

山次左衛門、後肥後平左衛門ニ而候事、

三月十九日、雨、甲戌、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供肥

後平左衛門ニ而候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一 今ばん和田中大夫殿入来ニ而候得共、ちと草臥居候付

相断候事、

一 川畑源之助暇申出櫻島ふるさと湯治江差越候、尤当分

嶋津清太夫殿被差越候付、右宿江被召置度旨頼遣候事、

三月廿日、雨、乙亥

四ツ後止曇、夕方より又雨、

一 四ツ時早目出勤、八ツ星御暇申出四ツ後退出帰家、供

山次左衛門ニ而候事、

一 八ツ後市來十左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 大鐘前より鎌田愛太夫殿入来、大鐘過迄相咄被帰候、

尤内意事ニ付被参候事、

一 大鐘過より堀直四郎殿入来、四ツ前比迄相咄被帰候、

酒肴一通振廻候事、

一 鎌田喜平太殿今日より南村江頼遣候、尤永田新八郎殿

同道ニ而被参、兩人共万端之義委細相頼置候事、

三月廿一日、雨、丙子 八ツ後止曇、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

衛門出席、御用人座書役助上村源七・野津藤左衛門相勤候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈入来、七ツ過被帰候也、
一七ツ後より桂内記殿・同六郎次郎殿・和田中大夫殿追々入来、暮時分より同氏源太兵衛殿ニも入来、酒肴一通振廻、四ツ過比被帰、内記殿ニは被泊候事、

一今朝藤野小兵衛・同役東郷孫八、藏方内意ニ付一刻入来ニ而候事、
一八ツ後桂岩次郎殿宅江毛利理右衛門丈来会、講釈日ニ付参り、左候而七ツ後帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、
一八ツ後小野甚五左衛門殿拙者出掛候処玄喚迄入来ニ而候事、

三月廿二日、曇、丁丑 八ツ後より雨、

候事、

一今朝内記殿被帰候事、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供肥

三月廿四日、雨、己卯 四ツ後暫止、

後平左衛門ニ而候事、

一今日は別勤之筋相頼置候付出勤不致候事、

一南村楯楮掛園田六郎左衛門楮上納ニ付、昨日出府之届申出土産物差出候事、

一八ツ後より桂六郎次郎殿・和田中大夫殿追々入来、酒肴一通振廻、夜入上村半兵衛殿ニも入来、左候而四ツ過比被帰候事、

一今晚役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

三月廿三日、雨、戊寅、

三月廿五日、雨、庚辰、
四ツ時分より止又降、

一今日は牛馬役誓詞別勤ニ而五ツ過御目付種子嶋次郎右

一今日四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇いたし、御家老

衆菱刈安房殿病死ニ付悔として玄喚迄見廻、夫より倉

山作太夫殿江同断ニ付見廻、左候而帰家、供肥後平左

衛門ニ而候事、

一今朝於谷山御仕置有之候事、

一八ツ前青山善助殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後小野甚五左衛門殿入来ニ而候得共、風呂央ニ而

候付其段相断候処夫形被帰候事、

一菱刈安房殿今晚葬式ニ付見立差遣候事、

一泰心院様御忌日ニ付、南林寺墓所江肥後平左衛門代参
(鎌田正方)

申付候事、

三月廿六日、雨、辛巳

四ツ後暫止、
夫より間々降、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆方御下より帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

一清水會於郡中宿家中相中八木深性院参り、年頭之祝義

として種代差出候事、

一七ツ後鎌田筑左衛門殿入来、大鐘過被帰候事、

三月廿七日、晴、壬午、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ星別勤ニ而演武館、田代新

右衛門、東次郎左衛門流義不時見分として、鳴津久馬

殿相共出席、九ツ前帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一九ツ後赤松氏下ニ而馬ニ乗候事、

三月廿八日、晴、癸未、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供肥後平左衛門

ニ而候事、

一大鐘過より桂岩次郎殿宅江参り、当分和田源太兵衛師

所内稽古桂家ニ而有之候付、右之場江出席、夜入毛利

理右衛門丈入来ニ而論語会いたし、左候而四ツ前比帰

家、供肥後平左衛門、後山次左衛門ニ而候事、

但会読此内拙者宅ニ而九々之八ツ後ニいたし来候処

去春より取止置候付、此節より八々之夜桂家ニ而い

たし候筋申談ニ而今晚より相初候事、

一拙者留主ニ上村半兵衛殿一刻入来之由候事、

三月廿九日、晴、甲申 暮前より雨、

一 今朝山野郡見廻、宗門方掛、下町年行司右同断誓詞ニ付、別勤ニ而五ツ過御日付岩下矢之助出席、御用人座書役助上井甚兵衛・上村源七相勤候事、

一 昨夜鎌田喜平太殿南村より被帰候由、今朝入来ニ而候事、

一 四ツ後より桂内記殿入来、同道いたし伊敷別業江参り、跡より鎌田筑左衛門殿・同氏喜平太殿追々被参、左候而暮前打立六ツ半比帰家、供山次左衛門ニ而候事、

三月晦日、雨、乙酉 暁より雷鳴、

一 今日は洪水ニ付月番伊集院喜左衛門殿江頼遣出勤不致候事、

一 七ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、
一 夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

四月朔日、晴、丙戌、

一 今日より月番ニ而四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供肥後平左衛門ニ而候事、

但御条書弘方有之候事、

一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江代参肥後平左衛門江(鎌田政近)申付候事、

一 今日是有川設樂之介所ニ而稽古能有之、棧敷付置候付

八ツ半比より見物として参七ツ過相済帰家、供肥後平左衛門ニ而候、尤(鎌田正純女子)御か様鼎・雪御列、朝より御見物被成御出候事、

一 今朝桂内記殿一刻入来ニ而候事、

一 能より帰掛桂内記殿・穎娃織部殿・稻田七左衛門殿入来、且和田中太夫殿・毛利理右衛門殿追々入来ニ而吸物・酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一 能見物ニ参候途中千眼寺手前中道通ニ而、種子嶋彈正殿家中三人江行逢候処、別而不敬之体ニ而罷通候ニ付、其場叱付置候処右断として役所迄参、役人濱田休左衛門を以断申出候事、

一 当年諏訪御神事ニ付、居頭役・附役、川上家・鎌田家
勤前ニ而候付何某相勤候旨可申出、伊織殿御差図之趣
御用人新納主税より承知いたし候事、

四月二日、曇、丁亥、

一 今日も四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供山次左衛門ニ而候事、

但鳴津老岐殿宅江逼塞申渡有之候へとも山田助左衛
門殿江相頼候事、

一 昨日失礼いたし候種子(嶋脱之)家来、川上龍衛殿、種子嶋殿頼

入御用人之事ニ茂候間、向後之処屹と為申聞被置候様
組方出勤人数江も申談之上、龍衛殿江口合置候事、

一 八ツ後蒲生郷士末家鎌田三左衛門役所迄参土産差出候
付飯為差出候、急敷様子候付対面不致候事、

一 昨日種子嶋家家来失礼いたし候付、彈正殿より留主居
を以挨拶申来候付、為入御念段厚御答役人濱田休左衛
門を以申述候事、

一 七ツ後東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

四月三日、晴、戊子、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供角野喜左衛門ニ而候事、

但昨日種子嶋家より留守居使参候ニ付而、川上龍衛
殿江於 御殿右之趣口合、種子嶋家江も龍衛殿より

可然申述置給度旨相達置候事、

一 四ツ後より御か(鎌田正純女子)様鼎・雪御列、伊敷別業江被成御出候
事、

一 七ツ時分鳴津主税殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一 夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候、且今晚喜平太殿
妻ニも初而被参候事、

一 暮時分より仁禮善左衛門殿・和田源太兵衛殿入来、四
ツ時分迄相咄被帰候事、

但善左衛門殿義は鹿屋表締方江被参居中戻ニ而、又

々三日之内より被參等候、尤南村辺迄受込之事候付、

和田氏劍術指南等相頼候含ニ而、鹿屋表之義拙者よ

りセ話いたし置候付、先日も一度は南村江差入被呉、

尚又近日差入之筈ニ候、右ニ付都而誓詞等為致、左

候而岩元助大夫・森田宗四郎兩人江中取次引渡致置、

以来は誓詞等右兩人より取計候様可申付旨、源太兵

衛殿より承候付別而仕合之事候間弥其通相頼候段、

源太兵衛殿・善左衛門殿江申入置候事、

一日當山年寄濱崎覺左衛門御用向ニ付、出府いたし居候

由、役所迄参り為伺機嫌兩種料差出候事、

(四カ)
三月四日、晴、己丑、

一日は於穎娃織部殿宅一番組御条書弘いたし、鳴津久

馬殿亭主、拙者四ツ時より出席、弘人伊藤清之丞、左

候而四ツ後相濟帰家、供肥後平左衛門ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一日當山与頭最勝寺宗之丞御用向ニ付出府之由役所迄参

り、為機嫌伺兩種料差出候事、

一大鐘過より二階堂主計殿宅江参り候様との事ニ而参り

外ニ川上式部殿・同氏龍衛殿ニ而九ツ時分迄相咄帰家、

供肥後平左衛門、後山次左衛門ニ而候事、

一川畑源之助湯治元櫻嶋江親與八今一夜差越候付、嶋津

清太夫殿江為見廻酒一樽・漬物一重相送候事、

四月五日、晴、庚寅、

一日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

一大鐘時分より桂岩次郎殿宅江参り、和田氏劍術場江出

席暮時分帰家、供山次左衛門ニ而候、尤和田中大夫

殿申談出席いたし候事、

一久事初而山王宮江参詣為致候付、家内中心祝いたし候

事、

一大鐘前より鎌田筑左衛門殿入来、拙者出跡迄相咄被帰

候事、

一夜入五ツ前出火之旨相騒候付、南泉院下迄出張候処、
最早相鎮り候付引返し候、供山次左衛門・肥後平左
衛門ニ而候事、

但上海老原宗之丞宅馬屋之由候事、

四月六日、晴、辛卯、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供角野喜左衛門ニ而候事、

一今朝森川孫八郎殿入来ニ而候、尤田舎より中戻之由候
事、

一七ツ後より和田中太夫殿入来、役所江鎌田喜平太殿被
参居、是も内江被通候而酒肴一通振廻、五ツ過被帰候
事、

四月七日、曇、壬辰、
五ツ時分より間々雨、
夫より終日雨、

一今日四ツ時早目出勤、於評定所ニ御家老衆御再聞ニ付
四ツ打切御暇いたし直ニ出席、四ツ半比相濟帰家、供

肥後平左衛門ニ而候事、

(鎌田政宣)

一月船様御忌日ニ付、興国寺墓所江代参山次左衛門江
申付候事、

四月八日、晴、癸巳、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供山次左衛門ニ而候事、

一七ツ時分より小野甚五左衛門殿入来、大鐘過迄相咄被
帰候事、

一大鐘過より堀四郎左衛門殿入来、五ツ過迄相咄被帰候、
尤酒肴一通振廻候事、

一今晚桂岩次郎殿宅論語会読式夜ニ而候へとも前件ニ付
断申遣候事、

四月九日、晴、甲午、

一今日四ツ時早目出勤、八ツより嶋津右岐殿宅江逼塞赦
免申渡候付参七ツ前帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一七ツ時より桂内記殿・同五百鶴殿召列入来ニ而、夫より和田中大夫殿・西田次郎太殿追々入来、酒肴一通振廻、四ッ過比被帰候事、

一雪ちと不快ニ付前田圓心殿江申遣、嫡子圓齋、拙者出勤跡見廻ニ而候事、

四月十日、雨、乙未 夕方より止、

一今日四ツ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、

供肥後平左衛門ニ而候事、

一八ッ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通

候事、

一当年諏方御神事ニ付居頭役鎌田家勤前ニ付、小番鎌田彦左衛門嫡子鎌田平左衛門江今日八ッ後於使者間ニ喜平太より被申達受合ニ而候事、

但附役之義は蒲生郷士・伊作郷士末家共并ニ家来は吉野・花棚・吉田之者共江申付候、左候而追而届之

義は被申出答候事、

四月十一日、曇、丙申 間々雨、

一今日四ツ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

但御座江すし二桶差出候而同席方へ振廻候事、

一七ッ後より鎌田佳藤太殿入来、且役所江鎌田喜平太殿ニ茂被参居、内江も被通酒肴一通振廻、四ッ過比被帰候事、

四月十二日、晴、丁酉、

一今日四ツ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、

供角野喜左衛門ニ而候事、

一高章院様・高穩院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参山次左衛門江申付候事、

一七ッ後薬師ばゝニ而馬ニ乗候事、

一暮時分より和田源太兵衛殿・堀直四郎殿・森川孫八郎殿入来、四ッ過迄相咄被帰候、尤酒肴一通振廻候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

四月十三日、曇、戊戌 六ツ過より雨、

- 一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
- 一 供肥後平左衛門ニ而候、左候而直ニ打立、有川設樂之助所江稽古能有之候付見物ニ参り、途中より西田次郎太・平山源八相誘参り、先江参り居人数頼娃織部殿・桂内記殿・鎌田吉左衛門・同氏喜平太ニ而候、暮過相濟帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、
- 一 一番所詰肥後平左衛門代り神田六郎今日出府之届申出、土産差出候事、

四月十四日、曇、己亥、

- 一 今日四ツ時早目出勤、昨夜より疝癩氣ニ付、合月番江頼合御暇申候而四ツ後帰家、供山次左衛門ニ而候事、
- 一 川畑源之助湯治先櫻嶋江親與八為見廻暇申出差越候事
- 一 拙者不快ニ付前田圓心殿江申遣夕方二男圓節見廻、療治相頼薬用いたし候、且針医師山本蘇仙ニも見廻針いたし候事、

一 肥後平左衛門今日南村之様相帰候付、二才共諸稽古事等之義尚又出精いたし候様申付置候事、

一 夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

四月十五日、晴、庚子、

- 一 今日疝癩未快候付、合月番新納主税殿宅江頼遣候事、
- 一 今日朝桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、
- 一 今日拙者誕生日ニ付 山王宮江角野喜左衛門上下着用ニ而代参申付候、左候而家内中心祝いたし候事、
- 一 今日前田圓心殿江申遣置七ツ後見廻ニ而候、且山本蘇仙ニも夕方見廻針いたし候事、
- 一 大鐘過鎌田筑左衛門殿入来、夜入過被帰候、川井田清右衛門ニも参り候、而筑左衛門殿一所ニ相帰候、酒肴一通振廻、御か様御亭主振ニ而候事、
- 一 今日川畑源之助親子湯治より相帰候事、

四月十六日、晴、辛丑、

一今日は余程快候へとも肌持寒、月代出来兼候付合月番
江頼遣候事、

一今日仁雄院様御正忌日ニ付、川畑與八上下着用代参申
(鎌田正長)
付候事、

一仁雄院様御位牌江拙者上下着用向香拝礼いたし候事、

一七ツ時分より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被
通候事、

一日當山柵掛高直、屋敷直願ニ付役所迄参、土産物差出
候事、

四月十七日、晴、壬寅、

一今日は快候付四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下よ
り帰家、供神田六郎ニ而候事、

一今朝森川孫八郎殿明日より旅行之由、外迄入来之旨取
次を以承候事、

一夕方桂家御祖母様被成御出候事、

一今晚山本蘇仙見廻、御か様御頼氣ニ付被成御針候事、

一川畑源之助事足之痛ニ付、勝目恭庵と申医師相頼候様
申付今日より相頼候事、

一馬乗家村平六殿江肴一折相送候事、

四月十八日、曇、癸卯、間々雨、夕方より強降、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供山次左衛門ニ而候事、

一嶋津清太夫殿、川畑源之助江湯治先ニ而段々セ話いた
し被呉候礼として、使川畑與八差遣煙草包壹斤相送候、

且堀直四郎殿江先日南村より雉子到来いたし候付相送
候事、

一今晚桂岩次郎殿宅論語会説式夜ニ而候処、未疔頼平快
無之候付断申遣候事、

四月十九日、雨、甲辰、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ少前頼合御暇ニ而帰家、尤

八ツ後於宅逼塞赦免申渡兩人有之、御目付益満新之丞、

席詰書役伊東清之丞相勤候事、

但今日供角野喜左衛門ニ而候事、

一大鐘過より和田中太夫殿入来、且役所江鎌田喜平太殿

被參居、夜入内江被通酒肴一通振廻、九ツ時分兩人共

被歸候事、

但南村家中共弓術、東郷左太夫殿江為致入門度旨、

和田氏を以相頼置候処即申入被具候由、大始良麓郷

士川上清左衛門と申者、東郷氏取次ニ而候付、右清

左衛門江相付誓詞等いたし宜旨今晚中太夫殿より返

答承候付、右之趣南村江被申越候様喜平大江相達置

候事、

四月廿日、晴、乙巳、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供神田六郎ニ而候事、

一留主ニ小森八左衛門殿入来之由候事、

一七ツ後より桂内記殿入来、少跡より堀直四郎殿入来、

且役所江鎌田喜平太被參居、内江も被通候而四ツ半比
被歸候、尤酒肴一通振廻候事、

但内記殿ニは孫達召列入来ニ而候、左候而孫達は早
目被相歸、内記殿は被泊候事、

四月廿一日、晴、丙午 八ツ時より雨、
雷鳴

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供山次左衛門、後神田六郎ニ而候事、

一山次左衛門ニは青山善助殿大砲稽古ニ付谷山江差越

候事、

一七ツ時分より中村仲右衛門殿入来、暫候而同道いたし、

二階堂主計殿宅江參り、合客川上式部殿・川上龍衛殿

・樺山四郎左衛門殿・竹之内勇藏殿ニ而候、左候而夜

入四ツ過迄相咄帰家、供角野喜左衛門ニ而候、後神田

六郎ニ而候事、

一御か様初家内中八ツ前より墓參、并ニ南林寺參詣、且

鳴津清太夫殿宅江差越方有之候事、

一 夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

四月廿二日、晴、丁未 朝立曇、

一 今日四ツ時出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 仁禮善左衛門殿此内より鹿屋表江為締方被差越、此節

南村江差入ニ而、和田氏劍術中取次岩元助太夫・森田

宗四郎江引渡被致、左候而誓詞不致者共都而誓詞善左

衛門殿見届ニ而、以来は助太夫・宗四郎見届之上和田

氏江首尾申出候様被相達、起請文被渡置候旨届申越候

段、役人休左衛門より首尾申出候事、

一 七ツ時分より役所江鎌田喜平太殿入来ニ而内江も被通

候事、

四月廿三日、晴、戊申、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ少早目頼合御暇いたし、尤

逼塞赦免老人於宅申渡有之、御目付益滿新之丞、書役

上村正兵衛相勤候事、

但 供山次左衛門、後神田六郎ニ而候事、

一 七ツ後中山才之丞殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一 夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一 八ツ半過御家老座書役岩切八兵衛、御広敷役所書役神

崎傳左衛門、

（島津奇興）
太守様去ル二日江戸御參府ニ付急ニ而着之届承時付相

受取候事、

四月廿四日、曇、己酉 八ツ過より少雨、漸々降

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後未御家老衆御下無之内頼

合帰家、供神田六郎ニ而候事、

一 八ツ過役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一 濱田本覺院為看経参り候事、

四月廿五日、雨、庚戌 間々止、間々降

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供角野喜左衛門ニ而候事、

一今日は青山善助殿大砲、御家老衆見分有之、家来山次
左衛門ニも昨日より差越候事、

一今日是有川設樂之助所江稽古能有之、御か様鼎御列被
成置候、拙者ニは不差越候事、

一近隣日置半兵衛殿母忌中ニ而引入被居候由、右ニ付為
忌問饅頭一せいろ相送候事、

一能より帰り掛暮時分鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後大河平彦六殿一刻入来ニ而候事、

四月廿六日、雨、辛亥、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ前御家老衆老岐殿より大雨

洪水ニ付、川近辺之者御暇被下候旨被仰渡候付、即御

暇いたし帰家、供神田六郎、後山次左衛門ニ而候、

尤帰候節迄共新上橋辺随分歩行渡り出来候丈ニ有之候

事、

但今日去ル二日 (島津齊興) 太守様被遊御参府候御祝義有之候

事、

四月廿七日、晴、壬子、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より同役川
上龍^(衛)□殿宅江参り候様承、新納主税殿・いせ雅樂殿

同道にて、拙者ニは此内仁禮與兵次御勘定書役助鳴津
親負殿江相頼願置いたし候礼として玄喚迄見廻、夫よ

り差越、跡より宮之原主計殿ニも被参、其外段々合客
有之夜入五ツ時分帰家、供山次左衛門、後神田六郎

ニ而候事、

但主計殿・雅樂殿拙者相中より着一折相送候事、

一役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

四月廿八日、曇、癸丑 九ツ時分より雨、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供角野喜左衛門ニ而候事、

一去ル正月廿六日月番之節、牢死者向々帳面消之首尾相

洩候を氣不相付、書役助平田直之介首尾ニ而何れ差扣

不相伺候而は不相済との事ニ而、拙者并ニ直之介、御

家老書役川上仲左衛門今日右之形行を以差扣相伺、

勤方之義茂相伺候処、不及遠慮ニ旨豊後殿より新納主

稅取次ニ而承知いたし候事、

一 泰光院様御正忌日ニ付、上下着用ニ而御位牌江向香拜

礼いたし候事、

一 七ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被通且暮

前より上村半兵衛殿ニ茂被参、酒肴一通振廻、四ツ前

比兩人共被帰候事、

一 南村抱地杉山売払、四百五拾貫文余ニ相成候首尾今日

承候事、

一 今晚桂岩次郎殿宅へ毛利理右衛門丈来会之論語講之前

ニ而候へとも、前件通客人ニ付断申遣候事、

四月廿九日、曇、甲寅 四ツ前少雨、

一 今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供神田六郎ニ而候事、

一 留主ニ鎌田甚助殿入来之由候事、

一 昨日泰光院様御正忌日ニ付直参之含候処、雨天ニ而代

参迄も不相調候付、今日山次左衛門江上下着用代参

申付候事、

一 八ツ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通

候事、

一 暮時分より鎌田彦左衛門殿嫡子平左衛門殿召列初而緩

々入来ニ付吸物・酒肴一通振廻、左候而五ツ前被帰候

事、

但彦左衛門殿(鎌田正昌)は御親父様代ニは折々為被参由候へと

も、拙者代ニは初而入来、尤嫡子平左衛門殿初而之

事ニ付兩種持参ニ而候事、

五月朔日、曇、乙卯、

一 今日四ツ時早目出勤、御礼後頼合御暇いたし、鳴津權

五郎殿江祖父登殿、先日死去ニ付右之悔として玄喚迄

見廻帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一留主ニ嶋津清太夫殿入来之由候事、

一今日は八ッ後より月番跡月相仕廻候祝旁として書役共相招、入来之人数、葛西四郎太・園田貞助・大久保倫左衛門・湯地甚之丞・相良休右衛門・財部傳左衛門・平田直之助・和田龍左衛門・上村源七ニ而候、亭主振桂内記殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太ニ而吸物式ツ・酒肴・茶漬迄種々振廻、夜入過何れも退座ニ而候事、一鎌田筑左衛門殿・同藤之助殿一刻ツ、入来ニ而候事、

一今日は八ッ後より二階堂主計殿宅江参候様承候へとも先日より不塩梅未平快無之候付成行を以断置候、尤同役之内五六輩参候様ニとの趣ニ候間、外之人数は被参候事、

五月二日、晴、丙辰、

一今晚和田源太兵衛殿入来ニ而候得共、不塩梅平快無之

一今日四ッ時早目出勤、四ッ後頼娃織部殿同道、演武館

相休居候付断候事、

東郷孫十郎・小野甚五左衛門剣術不時見分として出席四ッ半比帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一上村半兵衛殿二男初舞候付着一折・車人形一ッ相送候事、

一今朝湯地甚之丞一刻入来ニ而候事、

一八ッ後より桂内記殿・頼娃織部殿・和田中太夫殿・西

五月四日、晴、戊午、

田次郎太殿同道、伊しき別業江参り夜入五時分帰家、

一今日四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、

供神田六郎ニ而候事、

供山次左衛門ニ而候事、

一 嶋津豊後殿嫡孫初舞候付明日節句祝ニ参候様昨日申来候付、兩種并ニ車人形一ツ今日差遣候、使角野喜左衛門ニ而候事、

一 明節句ニ付福昌寺・興国寺墓所江神田六郎、南林寺墓所角野喜左衛門祝物上として為参候事、

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通候事、

一 今朝上村源七殿一刻入来ニ而候事、

一 暮過嶋津清太夫殿入来、暫は相咄候而被帰候事、

五月五日、晴、己未、

一 今日は吉野御馬追ニ付掛ニ而六ツ半比より出馬いたし

御棧敷江相勤大鐘時分相濟、引取ニ而日入時分帰家、

供角野喜左衛門・山次左左衛門・神田六郎、鑓・挟箱

・合羽籠・沓籠為持候事、

但乗馬乗合不宜ニ付御殿より御借馬いたし候事、

一 今日節句之祝義として入来之人数、市來清十郎殿・永山清兵衛殿・小森八左衛門殿・鎌田吉左衛門殿・同氏

藤之丞殿・同諸右衛門殿・同氏喜平太殿・同氏筑左衛門殿・志和地源兵衛殿・堀直四郎殿・上村半兵衛殿・東郷孫八殿・桂岩次郎殿・水間清右衛門殿ニ而候由、外迄入来之人数は略し候事、

五月六日、晴、庚申、

一 今日四ツ時早目、嶋津豊後殿嫡子藤十郎殿江参り、昨日初舞祝ニ付而参筈候処、御馬追歸り遅得不参候付、

右断申述、豊後殿方へは藤十郎殿より宜申述給候様相

頼置、夫より末川久馬殿昨日大目付より若年寄江軛役、

御家老御用も取扱、大目付方へも被掛置候旨被蒙仰候

由、右祝義として玄喚迄見廻、左候而出勤、八ツ後御

家老衆御下より帰家、供神田六郎ニ而候事、

一 役所迄夕方鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一 留主ニ鎌田甚助殿入来之由候事、

一 暮前より和田中太夫殿入来、少跡より青山善助殿ニ茂入来、酒肴一通振廻候而四ツ過比被帰候事、

五月七日、雨、辛酉 八ツ前より晴、

一今四ツ時支配下小組一番より三番迄之二才共召呼、容貌見分并ニ教諭いたし、進達掛相良一郎左衛門、席詰書役藤野小兵衛相勤候事、

但容貌見分人数拾壹人出候、尤右ニ付別勤ニ而候事、

一八ツ後上并甚兵衛殿一刻入来ニ而候、尤一昨日御馬追

ニ乗馬借用ニ付右礼ニ而候事、

一月船様御忌日ニ付、興国寺墓所へ神田六郎代参申付候

事、

五月八日、晴、壬戌 大鐘過少雨、

一此内より追々 仰出有之候質素(節之)□儉之義、尚又笑左衛

門殿江い細及度々ニ御沙汰被為在、先般於江戸申渡相

成候由、先日御家老衆より御口達書を以御達有之候付、

支配下江は小与一組より小与頭老人ツ、宅江召出し相

達候筋ニ而今四ツ時召出し相達候、尤小与頭山口彦次

郎・税所徳之助罷出候、水間良右衛門ニ茂御用申渡有

之候処、間違ニ而不罷出候付徳之助名代承候、書役藤

野小兵衛相勤候、右ニ付拙者ニは別勤ニ而候事、

一九ツ前より桂内記殿入来ニ而同道、和田中大夫殿ニも

相誘谷山皇徳寺参詣いたし、先江頼娃織部殿被参居、左

候而寺近辺之手塚鐵太郎と申足軽宅江立寄弁当相開、

大鐘時分打立暮過帰り掛桂岩次郎殿宅江論語会読式日

ニ付参候処、毛利理右衛門丈不被参候付五ツ時分帰家、

供角野喜左衛門、後神田六郎ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来之由事、

五月九日、晴、癸亥、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ前頼合御暇ニ而帰家、供神

田六郎ニ而候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈一刻入来ニ而候事、

一七ツ後より桂内記殿・頼娃織部殿・和田中大夫殿追々

入来、吸物・酒肴一通振廻、且役所江鎌田喜平太殿被

参居夜入内江被通、左候而四ツ時分より追々被帰候、

其内中山才之丞殿ニ茂暫入来ニ而候事、

五月十日、曇、甲子 間々雨、

一 今四時早目出勤、八ツ後御家老來御下より帰家、

供角野喜左衛門ニ而候事、

一 隆香様御忌日ニ付福昌寺墓所江神田六郎代參申付候事

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通候事、

一 大鐘前より鎌田佳藤太殿入来、酒肴一通振廻、九ツ時

分被帰候事、

五月十一日、曇、乙丑 間々雨、夕方より晴、

一 今朝飯牟禮八郎殿一刻入来ニ而候事、

一 今四時早目出勤、八ツ後御家老來御下より帰家、

供神田六郎ニ而候事、

一 暮前より追々樺山四郎左衛門殿・小野郷右衛門殿・飯

牟禮八郎殿・堀直四郎殿・小森八左衛門殿入来、且役

所江鎌田喜平太殿被參居、是も内江被通、尤吸物一ツ・

酒肴・茶漬一通振廻、九ツ半比被帰候事、

一 鎌田藤之丞殿より肴一折被送候、尤先日嫡子諸右衛門勤方セ話いたし具候様被頼置候付、右礼ニ而候事、

五月十二日、晴、丙寅、

一 今朝鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

一 今日は講堂江別勤ニ而四ツ時より出席、夫より南林寺

墓所江

高章院様・高穂院様御忌日ニ付參詣、左候而鳴津清太

夫殿宅江參八ツ前帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 暮前より大河平小左衛門殿入来、夜入過迄相咄被帰候

事、

五月十三日、晴、丁卯、

一 今四時時出勤、四ツ後頼合御暇いたし帰家、供角野

喜左衛門ニ而候事、

一 今朝和田源太兵衛殿一刻入来ニ而候、尤今日より旅行

之由、右ニ付煙草一包・肴一折相送候事、

五月十五日、雨、己巳、

一大鐘時分より桂内記殿・和田中太夫殿・市來清十郎殿
・桂六郎次郎殿追々入来、酒肴一通振廻、四ッ過比被
歸候事、

一今日四ッ時出勤、八ッ少前頼合御暇ニ而歸家、供山次
左衛門ニ而候事、

五月十四日、晴、戊辰、

一今日四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より歸家、
供神田六郎ニ而候事、

一今日は質素節儉之義、尚又御家老衆老岐殿より御口達
書を以御達相成、諸御役場より兩三人宛右掛被仰付、
御小姓与番頭は市田右近・川上式部・川上矢五太夫、
御用人は嶋津權五郎・川上龍衛・倉山作太夫ニ而候、
右外御役場掛之人數略候事、

一今朝五ッ半比小森八左衛門殿入来ニ而候、左候而四ッ
前同道出勤いたし候事、

一七ッ時分より小野甚五左衛門殿宅江刀目利企有之參、

一今日は七ッ時分より穎娃織部殿宅江可參との事ニ而參
外ニ桂内記殿・和田中太夫殿等ニ而夜入五ッ時分歸家、
供角野喜左衛門、後神田六郎ニ而候事、

外ニ人數樺山四郎左衛門殿・小森八左衛門殿・永田新

五月十六日、雨、庚午 五ッ時分止、後
晴

八郎殿・堀直四郎殿ニ而候、左候而種々振廻等有之、
夜入四ッ前歸家、供角野喜左衛門、後山次左衛門ニ
而候事、

一今日四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より歸家、
供角野喜左衛門ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も為被通由候事、

一大鐘時分鎌田筑左衛門殿入来、暫相咄被歸候事、

五月十七日、晴、辛未、

一今日四ツ時早目出勤、左候而喜入多門殿御殿江御下有之、右江相詰四ツ後相濟、夫より直ニ帰家、供神田六郎ニ而候事、

一今日より大目付以上日勤ニ乗物之仰渡有之、何れも乗物ニ相成候、左候而日覆は不相成筋、尤台輪之義は日覆具座、桐油裏付ニ而相調候様との仰渡ニ而候事、
一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

五月十八日、曇、壬申、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供山次左衛門ニ而候事、

一八ツ時分鎌田權右衛門殿入来ニ而暫相咄被帰候事、
一今晚は桂岩次郎殿宅江毛利理右衛門丈入来之会読式夜ニ而候得共毛利氏差支候事、
一今朝鎌田愛太夫殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ時分鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後小森八左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ前山本蘇仙御か様御針ニ参り候事、
一夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一鼎誕生祝ニ付家内中打寄盃いたし、桂家御祖母様被成御出、且鎌田喜平太殿ニ茂内江被通、吸物一ツ・酒肴一通ニ而五ツ過被帰候事、

五月十九日、曇、癸酉 八ツ前より晴、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、
供角野喜左衛門ニ而候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈一刻入来ニ而候事、
一八ツ半比永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一此節質素節儉饗応振之義、尚又屹と仰渡通相守候様先達而壹岐殿より御達相成候付、御当地中宿之家来共今日役所江召出右之趣相達候様役人休左衛門江申付去ル辰年被仰渡候、郷士以下饗応振之ケ条書写候而銘々江為相渡候、且南村并ニ吉野花棚家来共ニ茂追々右之趣

相達候様申付置候事、

五月廿二日、晴、丙子 朝立雨、

一七ツ過より役所江鎌田喜平太殿入来ニ而内江茂一刻被
通候事、

一四ツ時早目出勤、去月十五日

五月廿日、晴、甲戌、

一今朝東郷孫八用向ニ付入来ニ而候事、

太守様御参府之御礼被為濟候御祝義惣出仕有之、且御
改革、質素節儉御取締向、且風俗改政、海岸防禦等之
手当旁之仰出於敷舞台拝聞有之、左候而八ツ後御家老
衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今日四ツ時早目出勤、四ツ後喜入多門殿御殿江被相下
候付、右江相勤四ツ半時分夫より直ニ帰家、供神田六
郎ニ而候事、

仰出書付は別紙写置候付、細略し候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

五月廿一日、雨、乙亥、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

一南村役人森田十郎左衛門、此内南村抱地山弘相成候付、
右代銀を以南村家中共預居候高之内式拾九石程取返候
賦ニ而御用申越有之候処、昨夕出府之届申出土産物差
出候事、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、

一七ツ時分相良休右衛門殿一刻入来ニ而候、尤今日御用
人座書役助より横目助江勤代ニ付右礼ニ而候事、

一七ツ後上井甚七殿玄喚迄見廻ニ而候、尤昨日江戸より
着之由、今日雨天ニ而ぬれられ候由、夫故内江は不被

一暮前より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ時分
被帰候事、

通候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙今晚見廻候事、

五月廿三日、曇、丁丑、

一四ツ時早目出勤、八ッ少前頼合桂内記殿宅江用向ニ付

一刻参り帰家、供神田六郎ニ而候事、

一八ッ後より役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通

候事、

一南村家来共預居候高之内式拾石、老石ニ付式拾貫文ツ

、ニ而、先日抱地松山弘相成候代銀六拾五兩之内を以

取返し引結今日相濟、且拙者手元銀八拾貫文を以四石

取返、都合式拾四石取返候首尾相成、右之祝として森

田十郎左衛門より兩種料差出候事、

一森田十郎左衛門用向相濟暇申出候付招呼、南村之義尚

又万端巨細之義迄も取扱行届候様申付置、且去月十九

日南村家中共、東郷左太夫殿弓術入門之義、和田中太

夫殿を以頼入置候処、大始良郷士川上清左衛門方へ入

門いたし可然段承、其段即鎌田喜平太より被申越置候

処、先日川上清左衛門父子南村江参り、都合二十人入

門等相濟候届申出ニ付、右礼として明朝東郷家江兩種

差遣、十郎左衛門差越候而厚礼申述候様申付候事、

但兩種之義は拙者より之礼として相送候事、

五月廿四日、曇、戊寅 朝間々雨、
八ッ後より強降、

一四ツ時早目出勤掛中山次左衛門殿、先日江戸より着ニ

付右祝義として一刻参、夫より出勤、八ッ後御家老衆

御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一上井甚七殿先日江戸より着之祝義として肴一折相送候

事、

五月廿五日、雨、己卯 五ッ時分より止、
後晴

一四ツ時早目白尾金左衛門鎗術大番頭組方見分ニ付、顯

娃織部殿、拙者出席、左候而四ツ半比相濟帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一 (鎌田正方) 泰心院様御忌日ニ付、南林寺墓所江代参川畑源之助江

申付候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一暮時分より上村半兵衛殿入来、五ツ半比迄相咄被帰候事、

五月廿六日、晴、庚辰、

一今日は去ル廿二日之 仰出一番組中江於顯娃織部殿宅弘方いたし四ツ時より出席、弘人伊東清之丞、河野祐右衛門相勤候、左候而四ツ後帰家、供神田六郎ニ而候事、

一今朝鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

五月廿七日、曇、辛巳 間々雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御用無之、御座は退出ニ而帰家、供山次左衛門ニ而候事、

但此節異国船式艘琉球江来着之由ニ而、昨日飛舟参候由、右ニ付若哉地方江来着も候ハ、依様子は御小姓組番頭之場ニ而被差遣義茂可有之候間、拙者其格護ニ而罷在候様八ツ前豊後殿より御内沙汰承知い

たし候事、

一留守ニ鎌田十五殿入来之由候事、

一大鐘時分より桂内記殿入来、夫より和田中大夫殿ニ茂入来、且役所江鎌田喜平太殿被参居、内江茂被通候而酒肴一通振廻、四ツ過比三人共被帰候事、

一太守様御参府之御礼被為濟候為御祝義、日當山組頭園(島津奇興)

田越右衛門出府、今日役所迄参り両種料差出候、且先達而国分新田築ニ付塩留之節破損所有之、即日當山之者共加勢として駆付候由、右ニ付当座ニ御褒美頂戴いたし候由、右礼として両種料別段差出候、尤土産物も毎之通差出候事、

五月廿八日、曇、壬午 間々雨、

一四ツ時早目、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一昨日御内沙汰承知いたし候異国船漂来之節依様子は御小姓組番頭之場ニ而被差遣義も可有之との事ニ付、今

日七ツ後より有川藤左衛門殿・小森八左衛門殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿相招、手当等之義内評いたし候、左候而酒肴・茶漬一通振廻、四ツ過比何れも被帰候事、

但二階堂主計殿先年山川江異国舟漂来之節出張有之候折之帳留借用いたし、右ニ依諸手当向之義共内定いたし置候事、

一今晚桂岩次郎殿宅会説式夜ニ而候へとも前件ニ付得不得不参候事、

五月廿九日、曇、癸未 間々雨 夏至

一四ツ時早目出勤、八ツ後御用無之御座は退出ニ付帰家、供神田六郎ニ而候事、

一今朝用事ニ付鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一七ツ後より右同人役所江被参内江も一刻被通候事、

一去ル廿二日之 仰出地頭所日當山組頭園田越右衛門先

日 御参府之御礼被為濟候御祝義ニ参り候を留置、今

日拙者対面之上拝聞為致候筋を以、取次喜平太より於使者間被相渡、於地頭飯屋ニ一統江拝聞為致候様被申渡候、且此内国分塩留之節早速駆付御褒美頂戴いたし候旨先日申出候付、寄特之心入ニ而候間、尚又右体之義万端心掛罷在候様喜平太より被褒置候旨相達候事、

但本文ニ付両種料差出候事、

一七ツ後鎌田新助殿入来日入前被帰候、尤此節異国舟江出張之御内沙汰承知ニ付、段々武器取繕方相頼度右ニ付申遣入来ニ而候事、

五月晦日、曇、甲申 間々雨

一四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、夜入内江も被通酒肴一通振廻、五ツ半比被帰候事、

一七ツ後鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ過進達掛相良一郎左衛門殿御用向之義ニ付一刻入

来ニ而候事、

閏五月朔日、曇、乙酉 後晴、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一八ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ後中山次左衛門殿内玄喚迄見廻ニ而候、尤拙者帰り涯ニ付内迄は不被通段被相断候事、

一八ツ後より山澤甚五右衛門殿入来、七ツ比迄相咄被帰候事、

一玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所へ代參神田六郎江申付候事、

一大鐘過より鎌田筑左衛門殿、鎌田權右衛門殿・上村半兵衛殿追々入来、酒肴一通振廻、四ツ時分皆々被帰候事、

一役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一昨夜入來院平馬殿屋敷掛ニ而隈城町人江為手負候者有

之、切手不相知御詮義相成、右ニ付家来下人等行先糺有之、此方家来共ニ茂相糺可申出旨会所より承知之由ニ而、今晚四ツ過迄役所ニ而用頼役人より相糺首尾被致候事、

閏五月二日、晴、丙戌、

一四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供神田六郎ニ而候事、
一今朝鎌田曾兵衛殿入来ニ而候事、

一今日組中之人数一昨夜隈城町人江為手負候者不相知候付行先糺大目付衆より被相達、八ツ後より於頼娃織部殿宅ニ一番組中は糺方いたし、拙者ニは頼合置七ツ後より出席、左候而夜入九ツ前都而糺方相濟候付九ツ時帰家、供角野喜左衛門、後神田六郎ニ而候事、

閏五月三日、曇、丁亥、

一今日は別勤之筋頼合置出勤不致候事、
一大鐘過より和田中太夫殿・長谷場六郎殿入来、跡より

中山才之丞殿ニ茂入来、且役所江鎌田喜平太殿被参居、是も内江被通酒肴一通振廻、四ツ時分何れも被帰候事、一八ツ後より桂岩次郎殿江毛利理右衛門丈来会之講義式

日ニ付参り、七ツ後帰家、供神田六郎ニ而候事、

閏五月四日、晴、戊子、

一四ツ時より出勤、八ツ少前頼合御暇ニ而帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一去月晦日隈城町人江為手負候者有之不相知候付、組中五人組証文為差出候様大目付二階堂主計殿より被相達一番組中は於此方ニ証文為差出、同組頼娃織部殿出会、進達掛肝付郷右衛門・相良市郎左衛門・大山清太夫、書役東郷孫八・藤野小兵衛出席ニ而暁大鐘過漸々証文相揃候付、織部殿・進達掛・書役引取ニ而候、尤茶菓子・茶漬等差出候、且触番老人招呼置候付右江茂茶菓子・茶漬等為取候事、

但同組嶋津久馬殿は不快之由不被参候事、

一役所江鎌田喜平太被参居、家来共ニも組合証文為差出候様との趣会所より達有之候由ニ而喜平太より首尾被致候事、

一今朝永田新八郎殿一刻入来ニ而候事、

閏五月五日、晴、己丑、

一四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一昨夜組中証文為差出候ニ付而五人組合江不入者一番組中江五人有之候付、右は形行を以組方月番より大目付主計殿江届有之候事、

一大鐘時分桂六郎次郎殿入来、暮前被帰候事、

閏五月六日、晴、庚寅 間々曇
出梅

一四ツ時早目出勤、八ツ前頼合御暇ニ而帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一七ツ後より桂六郎次郎殿入来、夫より和田中太夫殿ニ

茂入来、且役所江鎌田喜平太殿被参居、是も内江被通候而酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈入来、七ツ時分被帰候事、

閏五月七日、曇、辛卯 間々晴、夜中過雨、

一今日は拙者支配宅容貌見分式日前ニ付、四ツ時見分いたし、学文武芸等万端之義申聞、進達掛相良一郎左衛門、席詰書役東郷孫八相勤候、右ニ付今日は終日別勤

ニ而候事、

一月船様御忌日ニ付、興国寺墓所江山次左衛門代参申付候事、

一七ツ後仁禮善左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一役所迄鎌田喜平太殿夕方入来ニ而候事、

閏五月八日、曇、壬辰 間々晴、夜中過雨、

一四ツ時より出勤いたし、八ツ後御家老衆御下より帰家、

供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ後よりちと不快有之候付医師前田圓節相頼、大鐘時分入来ニ而薬用いたし候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一上井甚七殿より江戸土産被送候事、

閏五月九日、晴、癸巳 今五ツ前少雨、夜中雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一七ツ後より桂六郎次郎殿・和田中太夫殿追々入来、酒肴一通振廻、役所江鎌田喜平太殿ニ茂被参居候付、内

江被通且九ツ時分樺山四郎左衛門殿脇方より帰之由ニ而被立寄、左候而九ツ過比追々被帰候事、

閏五月十日、曇、甲午 間々晴、

一四ツ時早目出勤、八ツより帰家、供神田六郎ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一七ツ後仁禮善左衛門殿入来、大鐘過迄相咄候而被帰候、

大鐘前より鎌田筑左衛門殿ニ茂入来、日入前被帰候事、

閏五月十一日、曇、乙未 早朝雨、夫より追々降、

一四ツ時早目出勤、四ツ半比頼合御暇いたし帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

但拙者支配下容貌見分前ニ而右相仕廻御暇いたし候

事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂被通候事、

一大鐘前より仁禮善左衛門殿・上井甚七殿追々入来、酒

肴一通振廻、九ツ過迄相咄被帰候事、

閏五月十二日、雨、丙申 三尺位洪水

一今日は頼合候而出勤不致候事、

一七ツ半比より小野甚五左衛門殿入来、日入前比被帰候、

大鐘過より桂内記殿入来、酒肴一通振廻、九ツ過比被

帰候事、

(鎌田正昌)
一高章院様・高穂院様御忌日ニ付、南林寺墓所へ神田六

郎代参申付候事、

閏五月十三日、曇、丁酉 間々雨、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一今朝上井甚七殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後より桂六郎次郎殿入来、且役所江鎌田喜平太殿

被参居、是も内江被通酒肴一通振廻、四ツ過被帰候事、

閏五月十四日、曇、戊戌 今晚小暑入、
間々雨、後晴、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供神

田六郎ニ而候事、

閏五月十五日、晴、己亥、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一大鐘過より和田中太夫殿・樺山四郎左衛門殿・上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿追々入来、酒肴一通振廻九ツ時分皆々被帰候事、

閏五月十六日、晴、庚子、

一四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ過桂六郎次郎殿一刻入来ニ而候事、

一番所詰神田六郎代川枝袈裟吉今日出府之届申出候、尤

親源左衛門召列參候由、父子より土産差出候事、

一右袈裟事源七郎と改名願、役人休左衛門を以申出候付、

願通申付右札として中紙、老束料物を以差出候事、

閏五月十七日、曇、辛丑、

一今日は終日別勤之筋頼合候而出勤不致候事、

一四ツ後より桂内記殿・頼娃織部殿・和田中太夫殿・鎌

田喜平太殿・同吉左衛門殿入来伊敷別業江参り、跡よ

り桂六郎次郎殿ニ茂被参、左候而暮前打立五ツ前帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一仁禮善左衛門殿より肴一折被送候事、

一今晚大河平彦六殿入来ニ而候得とも、伊敷より帰り涯湯掛央ニ付相断候事、

一神田六郎今日暇申出南村之様相帰候付、着下り上下一通為取候事、

閏五月十八日、曇、壬寅 間々雨、

一四ツ時早日出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一寶鏡院様御病氣之処極々御大切被遊御座候付、御一門

方より御役人限詰衆迄 (島津齊興) 太守様 (島津齊彬) 少将様江今日伺御機

嫌有之候事、

一今朝鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

閏五月十九日、晴、癸卯、

一四ツ時より出勤、八ッ少前頼合候而御暇いたし帰家、
供川枝源七郎ニ而候事、

一寶鏡院様今卯刻御卒去之段御弘有之、御一門方無役大
身分迄今日 太守様・少将様江伺御機嫌有之候、諸士
・諸組与力・寺院・琉球人は明日伺 御機嫌、諸郷は
明日より先罷越候次第伺 御機嫌申上管候事、

一今日より日数十五日鳴物并ニ遊興ケ間敷義御停止、其
外山野之殺生日数十五日、普請等日数五日、浜狐日数
三日被差留候、且
太守様御忌五十日、御服十三ヶ月被遊御受候へとも、

月代之義は御側廻り迄日数五日相立、表方之義は月代
立候ニ不及段被仰渡候事、
一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通候事、

閏五月廿日、晴、甲辰、

一四ツ時早目出勤懸二階堂主計殿宅江参り、夫より出勤、

八ッ後御家老衆御下より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一今朝出勤跡桂岩次郎殿入来之由候事、
一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一暮時分より鎌田^(内カ)遠窓^(新カ)殿入来入来、酒肴一通振廻、九ッ
時分被帰候事、

閏五月廿一日、晴、乙巳、

一四ツ時より出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、供山
次左衛門ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而内江も一刻被通候事
閏五月廿二日、晴、丙午、

一四ツ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、供角
野喜左衛門ニ而候事、

一蒲生郷士末家鎌田左兵衛外迄見廻土産物差出候事、
一今晚上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、四ッ前比被帰

候事、

閏五月廿三日、晴、丁未、

一今朝より不快有之、尤今日は別働之筋頼置候付出勤不致候事、

一朝四ツ前嶋津主税殿相談事ニ付入来、尤彼方へ参り呉候様清太夫殿より伝言之趣も承候へとも、不快故其段は相断候事、

一不快ニ付いし松山三騰江申遣九ツ時分入来ニ而薬用いたし候、ねつ気強骨節痛今日中は別而難義いたし候へとも、夜入少は快方ニ候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈外迄入来ニ而、拙者不快故内迄は不被通候事、

一七ツ時分桂六郎次郎殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江茂一刻被通候事、

閏五月廿四日、晴、戊申、

一今朝東郷孫八御用向ニ付招呼一刻入来ニ而候事、

一今日は余程快候へとも暫は出勤之気分合等無之候付、

孫八を以頼遣候事、

一今朝鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候、夕方も同人役所迄入来ニ而候事、

一いし松山三騰江申遣七ツ後見廻ニ而候事、

一今晚青山善助殿外迄入来ニ而、拙者不快ニ付内迄は不被通候事、

一仁禮善左衛門殿入来ニ而候へとも、同断ニ付内迄は不被通候事、

一濱田本覺院看経ニ参り候事、

閏五月廿五日、晴、己酉、
夜五ツ過より雨、

一今日も昨日同断出勤不致候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一寶鏡院様御卒去ニ付為
(島津喜興母)

御機嫌日當山年寄濱崎覺左衛門、組頭最勝寺宗之丞罷越、七ツ後役所迄参り饅頭酒代并土産物差出候事、

一今晚堀四郎左衛門殿入来、五ツ時分被帰候事、

一寶鏡院様御卒去ニ付、御忌掛之御人数しらべニ付調違有之、月番之御用人は勿論其節出勤人数迄も差扣可相伺との趣ニ付、今日差扣相成候段月番島津要人殿より問合有之候事、

閏五月廿六日、晴、庚戌、

一今日も昨日同断出勤不致候事、
一夕方中村仲右衛門殿一刻入来ニ而拙者不快故御か様被成御逢候事、

閏五月廿七日、晴、辛亥、
四ッ過少雨、今暁土雨入、七ッ過雷、大雨、

一今日も昨日同断出勤不致候事、
一医師松山三騰江申遣夕方見廻ニ而候事、
一夕方役所江鎌田喜平太殿入来ニ而内江茂一刻被通候事
一暮前嶋津主税殿相談事ニ付一刻入来ニ而候事、
一昼八ッ後毛利理右衛門丈一刻入来ニ而候事、

閏五月廿八日、晴、壬子、
四ッ前雷大雨、夫より降通し、

一今日茂昨日同断出勤不致候事、
一今朝湯地甚之丞殿一刻入来ニ而候事、
一今朝仁禮善左衛門殿外迄入来ニ而候、拙者不快故内江は不被通候事、
一八ッ時分有馬一郎老、嶋津主税殿相談事ニ付入来、暫候而被帰候事、
一七ッ後赤山鞆負殿・嶋津清太夫殿宅一件之相談ニ付一刻入来ニ而候事、
一大鐘時分桂内記殿入来、暫候而被帰候事、
一菱刈本之介殿江弓式挺先日貰受候付、右礼として饗節一連・酒一樽差遣候事、

閏五月廿九日、雨、癸丑、

一今日も昨日同断出勤不致候事、
一今朝東郷孫八殿御用向ニ付一刻入来ニ而候事、
一昼時分有馬一郎老沖の村一件ニ付一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、喜平太殿内江一刻被通候事、

但相良氏は当春より他行ニ而一昨日被帰候由、

一 昼過小野甚五左衛門殿外迄入来、拙者不気故内迄は不被通候事、

六月朔日、雨、甲寅 後止、
八ツ後大暮入、

一 今日茂昨日同断出勤不致候事、

一 八ツ後永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ後嶋津主税殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿・上村半兵衛殿入来、夜入追々内江も被通、拙者ニは病氣故早相休ミ、御子様等亭主振ニ而酒肴一通振廻、四ツ過比被帰候事、

一 医師松山三騰江申遣四ツ後見廻ニ而候事、

一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江代參申付山次左衛門相勤候事、

一 志和地源兵衛殿外迄入来ニ而拙者病氣ニ付内迄は不被通候事、

一 今朝桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、

六月二日、晴、乙卯、

一 今日も昨日同断出勤不致候、併今日は余程快候事、

一 今朝森川孫八郎殿・日置半兵衛殿外迄入来、拙者不快ニ付内迄は不被通候事、

一 四ツ後森川孫八郎殿再一刻入来ニ而候、尤昨日他行より中戻之由候事、

一 夕方鎌田曾兵衛殿外迄入来ニ而候、拙者病氣故内江は不被通候事、

一 堀直四郎殿母方祖母病死ニ付先日より引入之由承候付為忌問野菜一折差遣候事、

六月三日、晴、丙辰、

一 今日も昨日同断出勤不致候事、

一今朝飯牟禮八郎殿一刻入来ニ而候事、

六月五日、晴、戊午、

一今朝東郷孫八殿外迄入来、内迄は不被通候事、

一今朝鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

一弓台其外旅道具取繕方として鎌田圓窓殿養子新助殿兩

但藤之丞殿より三日跡暑氣中尋として送物被致候事

人江相頼置候処、昨朝より今朝ニ掛出来候事、

一鳴津豊後殿昨日来未年

一昼過和田源太兵衛殿・仁禮善左衛門殿外迄入来、拙者

御留主詰被蒙 仰候旨吹聴有之候付、為祝義着一折今

不快ニ付内迄は不被通候事、

朝相送候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一木村休太郎殿より素麵一台暑氣中尋として被送候事、

一医師松山三騰江申遣八ッ後見廻ニ而候、尤昨日方より

六月四日、晴、丁巳、

尚又快候事、

一今朝上井甚七殿外迄入来、不快故内迄は不被通候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候事、

一鏑拵方いたし今夕出来ニ而候事、

一龍吟院様御正忌日ニ付、南林寺墓所江山次左衛門上

下着用ニ而代参申付候事、

六月六日、晴、己未、

一今晚青山善助殿入来ニ而、拙者不快故内迄は不被通候

一今朝東郷孫八殿御用向ニ付一刻入来ニ而候事、

事、

一四ッ後仁禮善左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一八ッ後毛利理右衛門丈一刻入来ニ而候事、

一役所迄鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候事、

一日當山組頭鶴丸宅右衛門暑氣中ニ付参り、經節・素麵

・酒・料物を以差出、且生子死除家督等之礼として煙

草一包差出候事、

一大鐘比より柱内記殿・和田中太夫殿追々入来、且役所

へ相良清兵衛殿被参居内江も被通、酒肴一通振廻、九

ツ時分被帰候、拙者ニは未全快無之候付其内相休ミ候事、

六月七日、晴、庚申、

一今日迄も未全快無之候付出勤見合、併余程快候付月代

いたし候事、

一月船様御忌日ニ付、奥国寺墓所江代参川枝源七郎江申

付候事、

一四ツ後堀四郎左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一無参和尚先日京都より下国ニ付、今日外迄見廻ニ而土

産物被送候事、

一役所江相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来ニ而、喜平太

殿内迄一刻被通候事、

六月八日、晴、辛酉 四ツ後少雨、

一今日迄も見合出勤不致候事、

一八ツ後倉山作太夫殿用向ニ付一刻入来ニ而候事、

一七ツ後上井甚七殿入来、暫相咄候而被帰候事、

六月九日、晴、壬戌 夕方雨雷、

一今日迄茂昨日同断出勤不致候事、

一大鐘時分より和田中太夫殿入来、且役所江相良清兵衛

殿入来ニ而内江も被通、酒肴一通振廻、九ツ時分被帰

候事、

六月十日、晴、癸亥 夕方少雨、

一今日四ツ時早目出勤掛嶋津豊後殿江暑氣中尋、且先日

江戸御留主詰被蒙 仰之祝義旁として参り内江相通り

夫より出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川枝源

七郎ニ而候事、

(鎌田政虎)

一 隆香様御忌日ニ付、福昌寺墓所へ角野喜左衛門代参申

付候事、

一 七ツ後より桂六郎次郎殿入来酒肴一通振廻、九ツ時分

被帰候事、

一 役所迄夕方相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 八ツ半時分高崎五郎右衛門殿入来、七ツ後迄相咄候而

被帰候事、

一 召仕之きせ事病氣ニ有之、老体之事ニも候間、今日看

病暇ニ而相下り候事、

六月十一日、晴、甲子 夕方少雨、

一 今朝中山次左衛門殿入来ニ而候事、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下りより帰家、供

山次左衛門ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、喜平太

殿一刻内江被通候事、

一 甲子祭ニ付濱田本覺院参り候事、

六月十二日、晴、乙丑 夕方雷雨、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下りより帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一 高章院様・高穂院様御忌日ニ付、角野喜左衛門代参申

付候事、

一 大鐘時分より桂六郎次郎殿・和田中太夫殿追々入来、

且役所江相良清兵衛殿被参居、内江も被通酒肴一通振

廻、九ツ時分被帰候事、

一 八ツ後小野郷右衛門殿入来、七ツ過迄相咄被帰候事、

六月十三日、晴、丙寅、

一 四ツ時早目出勤、左候而四ツ後より演武館東郷藤兵衛

・小野郷右衛門・平田平六・田代新右衛門、武術不時

見分として差越九ツ前帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 七ツ過森川孫八郎殿入来、大鐘比迄相咄被帰候事、

一大鐘比より二階堂主計殿宅江参り、外ニ川上式部殿・

六月十五日、晴、戊辰、

同氏龍衛殿ニ而候、左候而九ツ時分迄相咄帰家、供川
畑源之助、後川枝源七郎ニ而候事、

但三人相中より西瓜式ツ相送候事、

一夕方留主ニ鎌田愛太夫殿入来之由候事、

一今朝四ツ時早目出掛嶋津中務殿江暑中尋として内玄喚
迄参り、桂岩次郎殿江同断ニ付内迄参り、夫より出勤、
七ツ後未御家老衆御下無之候へとも頼合御暇いたし、
嶋津和泉殿江暑中尋として納殿迄参り、夫より 正源(鎌田正源)

一夕方役所迄鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来ニ而候事、

院様御正忌日ニ付南林寺墓所江参詣、左候而嶋津清太
夫殿江暑中尋旁ニ付参り日入過帰家、供川枝源七郎ニ
而候事、

六月十四日、晴、丁卯 七ツ後雨、

一四ツ時早目出掛嶋津老岐殿江為暑中尋見廻内江相通リ

一正源院様御忌日ニ付、御位牌所江今朝向香拝礼いたし
候事、

夫より末川久馬殿江同断ニ付玄喚迄見廻、左候而出勤、

八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候

一留主ニ有川藤左衛門殿入来之由候事、

事、

一此内琉球江異国舟渡来ニ付 (島津齊彬) 少将様御事、依御願去ル

候事、

六日江戸 御免駕被遊管候旨、今日御到来之段向々江

被仰渡候事、

六月十六日、晴、己巳、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一四ツ前川上龍衛殿入来同道ニ而出勤、八ツ後御家老衆

御下より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ後毛利理右衛門丈入来、大鐘過迄相咄被帰候事、

一七ツ後より堀四郎左衛門殿入来、日入比被帰候事、

一有川藤左衛門殿・上村半兵衛殿・永田新八郎殿江暑中尋として西瓜一ツツ、相送候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一御か様御風邪氣ニ付医師前田圓心江申遣、嫡子圓齋見廻ニ而候事、

六月十七日、晴、庚午 今朝立秋、七ツ過雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一四ツ前桂岩次郎殿入来ニ而候事、

一八ツ後相帰居候処嶋津權五郎より只今御用申来候付即

罷出候処、同人取次ニ而左之通承知いたし候、

御奉行
鎌田刑部
御小姓組番頭

右は当四月琉球江嘆咭喇国船壹艘来着、異国人等五人

残置、本船出帆且佛郎西船三艘来着ニ付、大頭石見殿

江被仰付、一備之人數御預ニ而山川迄出張時宜次第渡海被仰付候付、兼而被仰渡置候御手当帳之通可被相勤候、

右可申渡候、

但被差立候日限之儀は追而可申渡候、

六月 豊後

一右ニ付大鐘時分より桂内記殿・同六郎次郎殿・堀直四

郎殿・和田中太夫殿追々入来、尤相良清兵衛殿・鎌田

喜平太殿ニは即より被参諸手当等被致候、左候而酒肴

一通振廻、八ツ時分迄相咄被帰候事、

一前件ニ付即諸手当等申付、南村家家来共江も役人岩元

助太夫人数三四人召列早々差越候様申越候事、

六月十八日、雨、辛未 雷鳴、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ時過出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次
左衛門ニ而候事、

一八ツ過より毛利理右衛門丈・鎌田藤之丞殿、森川孫八
郎殿・上井甚七殿追々入来ニ而、七ツ後迄之間追々被
帰候事、

一御か様御風邪氣ニ付、鍼醫師山本蘇仙江申遣七ツ後見
廻ニ而事、

一役所江八ツ後より鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来、
喜平太殿内迄被通候、且今朝も清兵衛殿ニは入来ニ而
候事、

六月十九日、曇、壬申 八ツ過少雨、

一四ツ時早目出勤、九ツ半過頼合御暇いたし、嶋津石見
殿一昨日江戸より着之祝義として内玄喚迄参、且嶋津
内藏殿ニ茂石見殿一所ニ着、左候而昨日当番頭江御役
替ニ付、右祝義として玄喚迄参り八ツ過帰家、供川枝
源七郎ニ而候事、

一嶋津石見殿一昨日着ニ而今日四ツ時山川之様出張有之
御備組之義は追而立日限可被仰渡との事故、拙者共出
張之義は未程合不相分候事、

但石見殿江見廻候折は最早山川江出立跡ニ而候事、
一今日も御か様御針ニ山本蘇仙八ツ後参り候事、

一医師前田圓心殿江申遣、二男圓節見廻ニ而候事、
一七ツ後大河平彦六殿一刻入来ニ而候事、

一夕方より役所江相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿・上村半
兵衛殿入来ニ付、役所江酒肴等為差出候事、
一今朝出勤前磯永孫四郎殿一刻入来ニ而候事、

六月廿日、曇、癸酉 問々晴、又
は問々雨

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山
次左衛門ニ而候事、

但今日は寶鏡院様(嶋津斎興母)百ヶ日御法事昨日相濟候ニ付而太
守様江之伺御機嫌有之候事、
一御か様御鍼ニ山本蘇仙参り候事、

一 夕方より桂家御祖母様被成御入来候事、
一 七ツ後相良一郎左衛門殿一刻入来ニ而候事、

六月廿一日、曇、甲戌、

一 今朝四ツ時早目出勤掛二階堂主計殿宅江参り、夫より
出勤、八ツ後御家老衆御下より同席宮之原主計殿近日
江戸立、倉山作太夫殿琉球渡海ニ付、知覧浜屋敷ニ而
同席中(樓)残別企有之参り、左候而夜入時分相立五ツ前帰
家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿入来ニ而候事、
一 御か様未御快気無之候付、前田圓節見廻ニ而候事、
一 南村より役人岩元助太夫与頭森田十左衛門、其外肥後
平左衛門・森田喜三右衛門・迫田次兵衛異国船御手当
ニ付、供方として今夕出府之届申出候事、

六月廿二日、晴、乙亥、

一 今朝樺山四郎左衛門殿・毛利理右衛門殿入来ニ而候事、

一 出勤跡上村半兵衛殿・相良清兵衛殿入来ニ而候事、
一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川枝源
七郎ニ而候事、

一 昨夕山川沖江異国船老艘相見得候届追々届有之、拙者
ニ茂内々出張之用意いたし候、右ニ付八ツ後より鎌田
權右衛門殿・堀四郎左衛門殿・鎌田眞助殿・同圓窓殿・
和田中太夫殿・上村半兵衛殿・相良清兵衛殿・鎌田喜
平太殿・川井田清右衛門追々入来、左候而追々被帰、
和田氏・上村氏両用頼は寛々被相残セ話被致候、尤酒
肴一通振廻、八ツ時分被帰候事、

一 日當山郡見廻狩夫銀上納として役所迄参り土産物差出
候事、

一 東郷郷士鎌田民右衛門倅直助と申者、異国船御手当ニ
付供相願候旨相良氏より承候付可召列旨申達置候事、
一 御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

六月廿三日、晴、丙子、

一 今早朝上村半兵衛殿入来、五ッ過被帰候、尤未異国船之程合不相分候付見廻ニ而候事、

一 五ッ過迫田甚五左衛門殿入来、弓台うつぼ結仕掛方等相頼候、且小森八左衛門殿・鎌田四郎右衛門殿ニも一刻入来ニ而候事、

一 四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、供肥後平左衛門ニ而候事、

一 異国船帆影等不相見得届四ッ時有之無事相成候事、

一 川井田清右衛門早朝より参り加勢いたし候事、

一 役所江鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿七ッ時分より入来

ニ而候事、

一 御か様御不快、拙者ニ茂風邪氣ニ付、前田圓節七ッ時

分見廻ニ而候事、

一 濱田本覺院召呼、異国船出張ニ付手当之道具等加持為

致候事、

六月廿四日、曇、丁丑 後晴

一 今日は風邪氣ニ而頼遣出勤不致候事、

一 南村役人岩元助太夫・組頭森田十左衛門召呼、此節早速駆付候段褒置、且南村中二才共稽古事等は勿論、一統勸農方之義無油断精勤いたし候様申付置候事、

一 夕方役所迄鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 御か様御鍼ニ山本蘇仙参り候事、

一 看経ニ付濱田本覺院参り候事、

六月廿五日、晴、戊寅、

一 今日も昨日同断出勤不致候事、

一 今朝小森八左衛門殿・相良清兵衛殿入来ニ而候、尤相

良氏は旅行之由暇乞ニ而候事、

一 泰心院様御正忌日ニ付、上下着用ニ而御位牌所江向香(鎌田正方)

拝礼いたし候、且南林寺墓所江角野喜左衛門代参申付

候事、

一 拙者未快氣不致候付、いし前田圓節江申遣七ッ時分見

廻ニ而候事、

一梅田勘十郎殿鎗術江家来共入門為致度、和田中太夫殿

を以此内頼入置候処、中太夫殿取次誓詞血判見届之答

ニ而、今日七ツ後中太夫殿此方へ入来、於使者間誓詞

血判相濟候人数、南村より參逢候岩元助太夫・森田十

左衛門・同喜三右衛門・肥後平左衛門・川枝源七郎、此

方へ詰居候人数山次左衛門・川畑源之助ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一倉山作太夫殿江明後日琉球渡海ニ付出立被致答候間、

肴一折、百田紙二束惣残別として相送候事、

一夕方鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候事、

六月廿六日、曇、己卯 夜中より雨、

一今日茂昨日同断出勤不致候事、

一今朝小野郷右衛門殿・樺山正圓殿古鑑見として使者之

間迄入来ニ而候へとも、拙者不快故内迄は不被通候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一今晚柘山四郎左衛門殿入来ニ而候へとも不快故相断候

事、

一今朝四ツ時永山清兵衛殿入来ニ而候事、

一今朝南村役人岩元助太夫并外四人之者共、拙者出張之

程合も未不相分候付一先暇為取差返候事、

六月廿七日、雨、庚辰 昼晴、暮前より雨

一今日茂昨日同断出勤不致候事、

一七ツ後小森新之丞殿一刻入来ニ而候事、

一暮前より桂内記殿入来、且役所江鎌田喜平太殿被參居

内江被通、酒肴一通振廻、拙者ニは不快故相断休ミ候

而、四ツ時分兩人共被帰候事、

一七ツ後鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

六月廿八日、晴、辛巳、

一今日も昨日同断出勤不致候事、

一今朝桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ過毛利右衛門丈入来ニ而、大鐘前迄相咄被帰候

事、

七月朔日、晴、甲申、

一 いし前田圓心江申遣、二男圓節八ツ後見廻ニ而候事、

一 今日迄茂未見合出勤不致候事、

六月廿九日、晴、壬午、

一 今日は平快ニ付月代いたし候事、

一 今日は余程快候へとも未月代等不致候付出勤不致候事

一 夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一 七ツ後森川孫八郎殿入来ニ而暫相咄被歸候、尤明日より他行之由候事、

一 御か様ちと御不快ニ付前田圓心江申遣、夕方二男圓節并ニ弟子宍人同道ニ而見廻ニ而候事、

一 夕方和田中太夫殿入来ニ而候得共、未不快ニ付相断候

一 七ツ後和田六郎殿一刻入来ニ而候、尤当月より源太兵衛殿宅、劍術稽古星帳見届之筋ニ而被差出候故見届、

事、

尚又出精有之候様相達置候事、

一 暮過前田圓節見廻ニ而候事、

七月二日、晴、乙酉 今夜少々風吹

六月晦日、曇、癸未 七ツ後雨、

一 今朝青山善助殿一刻入来ニ而候事、

一 今日迄茂未月代不相調候付出勤不致候事、

一 今日より平快ニ付四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 暮前鎌田愛太夫殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

一 夕方より役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候

一 今日老岐殿より伊集院喜左衛門取次ニ而左之通被仰付

事、

候、

宗門方掛鎌田刑部、右掛倉山作太夫琉球在番跡掛寄被
仰付候条可申渡候、

七月 杓岐

七月三日、雨、丙戌 九ツ時分より止、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角
野喜左衛門ニ而候事、

一大鐘時分より桂六郎次郎殿入来、且役所江鎌田喜平太
殿被參居、内へも被通酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候
事、

七月四日、晴、丁亥、

一四ツ時より出勤、四ツ後演武館東郷藤兵衛・梅田勘十
郎・小野郷右衛門流義不時見分として、嶋津權五郎殿
同道出席、九ツ時分帰家、供川枝源七郎ニ而候事、
一九ツ時分より小野郷右衛門殿入来、暫相咄被帰候事、
一留主ニ堀四郎左衛門殿入来之由候事、

一今日施我鬼ニ付延寿堂へ役人濱田休左衛門相勤候事、
一今日御暇跡喜入多門殿より取次伊勢雅樂ニ而左之通被
仰付、名代小笠原轍被承具候旨相達候、鎌田刑部右者

福山井ニ諸々御馬追御用掛被仰付候条可申渡候、

七月 多門

一七ツ後稅所源左衛門殿入来、大鐘過迄相咄被帰候事、
一日入時分より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ
時分被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙參り候事、

七月五日、雨、戊子 四ツ後より止、晴、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川
畑源之助ニ而候事、
一今朝青山善助殿一刻入来ニ而候事、
一御か様御不快ニ付、いし前田圓心殿江申遣八ツ後見廻
ニ而候事、
一夕方鎌田喜平太殿入来内江も一刻被通候事、